

# 益子町既存施設改修及び図書館建設工事

## 実施設計図

2026年3月10日

三上建築事務所

# 目次

## 図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)
一	表紙・目次	NON		《詳細図》			《ディテールシート》			《家具》	
	《特記仕様書》		A-S-01	断面詳細図(1)	1/100	A-D-01	ディテールシート(1) 屋根・開口部詳細図1	1/20	A-F-01	家具キープラン・リスト	1/200
A-特-01	特記仕様書(その1)	NON	A-S-02	断面詳細図(2)	1/100	A-D-02	ディテールシート(2) 屋根・開口部詳細図2	1/20	A-F-02	家具図(1)	1/40
A-特-02	特記仕様書(その2)	NON	A-S-03	断面詳細図(3)	1/100	A-D-03	ディテールシート(3) 屋根・開口部詳細図3	1/20	A-F-03	家具図(2)	1/40
A-特-03	特記仕様書(その3)	NON	A-S-04	断面詳細図(4)	1/100	A-D-04	ディテールシート(4) 屋根・開口部詳細図4	1/20	A-F-04	家具図(3)	1/40
A-特-04	特記仕様書(その4)	NON	A-S-05	断面詳細図(5)	1/100	A-D-05	ディテールシート(5) 屋根・開口部詳細図5	1/20	A-F-05	家具図(4)	1/40
A-特-05	特記仕様書(その5)	NON	A-S-06	断面詳細図(6)	1/100	A-D-06	ディテールシート(6) 屋根・開口部詳細図6	1/20	A-F-06	家具図(5)	1/40
A-特-06	特記仕様書(その6)	NON	A-S-07	断面詳細図(7)	1/100	A-D-07	ディテールシート(7) 風除室2詳細図	1/40	A-F-07	家具図(6)	1/40
A-特-07	特記仕様書(その7)	NON	A-S-08	断面詳細図(8)	1/100	A-D-08	ディテールシート(8) サイレントスペース詳細図	1/20	A-F-08	家具図(7)	1/40
			A-S-09	1階平面詳細図(1)	1/100	A-D-09	ディテールシート(9) 益子の作家コーナー詳細図	1/20	A-F-09	家具図(8)	1/40
	《一般図》		A-S-10	1階平面詳細図(2)	1/100	A-D-10	ディテールシート(10) 外部手摺詳細図1	1/10	A-F-10	家具図(9)	1/40
A-01	測量図	1/400	A-S-11	1階平面詳細図(3)	1/100	A-D-11	ディテールシート(11) 外部手摺詳細図2	1/10	A-Fs-01	家具(据置)キープラン・リスト	1/200
A-02	配置図・付近見取図	1/400	A-S-12	2階平面詳細図(1)	1/100	A-D-12	ディテールシート(12) 内部建具詳細図1	1/20	A-Fs-02	家具図(据置)	1/40
A-03	仮設計画図	1/400	A-S-13	2階平面詳細図(2)	1/100	A-D-13	ディテールシート(13) 内部建具詳細図2	1/20	A-C-01	ロールスクリーン・ブラインド キープラン・リスト	1/200
A-04	求積図・求積表(敷地面積)	1/400	A-S-14	2階平面詳細図(3)	1/100	A-D-14	ディテールシート(14) 雑詳細図1	1/20			
A-05	求積図・求積表(建築面積・床面積)	1/400	A-S-15	階段詳細図	1/100	A-D-15	ディテールシート(15) 雑詳細図2	1/20		《サイン》	
A-06	仕上表(1)	NON	A-S-16	展開図(1) 風除室1・通路・掃除用倉庫	1/100	A-D-16	ディテールシート(16) 雑詳細図3	1/20	A-Si-01	サインキープラン	1/200,1000
A-07	仕上表(2)	NON	A-S-17	展開図(2) 事務室	1/100	A-D-17	ディテールシート(17) 雑詳細図4	1/20	A-Si-02	サインリスト	NON
A-08	1階平面図 兼 ピット図	1/200	A-S-18	展開図(3) 閉架書庫・BM車庫	1/100	A-D-18	ディテールシート(18) 雑詳細図5	1/40	A-Si-03	サイン詳細図(1)	1/40
A-09	2階平面図	1/200	A-S-19	展開図(4) 倉庫1・倉庫2・更衣室1・更衣室2	1/100	A-D-19	ディテールシート(19) 駐輪場詳細図	1/100	A-Si-04	サイン詳細図(2)	1/40
A-10	2階上部平面図	1/200	A-S-20	展開図(5) 風除室2・サイレントスペース	1/100				A-Si-05	サイン詳細図(3)	1/40
A-11	屋根伏図 兼 瓦割付図	1/200	A-S-21	展開図(6) 一般開架	1/100		《エレベーター》				
A-12	型枠割付図	1/200	A-S-22	展開図(7) 一般開架	1/100	A-E-01	エレベーター詳細図(1)	1/40・100		《外構》	
A-13	立面図(1)	1/200	A-S-23	展開図(8) 一般開架	1/100	A-E-02	エレベーター詳細図(2)	1/20・40	A-L-01	外構図(1) 付設物	1/400
A-14	立面図(2)	1/200	A-S-24	展開図(9) 一般開架	1/100				A-L-02	外構図(2) 敷地レベル・舗装	1/400
A-15	断面図	1/200	A-S-25	展開図(10) 一般開架	1/100		《書架》		A-L-03	外構図(3) 雨水排水	1/400
A-16	1階天井伏図	1/200	A-S-26	展開図(11) 男子WC・機械室	1/100	A-B-01	書架キープラン	1/200	A-L-04	外構詳細図(1) 舗装・縁石他	1/20・40
A-17	2階天井伏図	1/200	A-S-27	展開図(12) 女子WC・多目的WC	1/100	A-B-02	書架リスト	NON	A-L-05	外構詳細図(2) ベンチ	1/20・40
A-18	その他天井伏図	1/200				A-B-03	木製書架 標準詳細図(1)	1/20	A-L-06	外構詳細図(3) 雨水排水1	1/20・40
A-19	天井詳細図	1/10		《建具》		A-B-04	木製書架 標準詳細図(2)	1/20	A-L-07	外構詳細図(4) 雨水排水2	1/20・40
			A-T-01	建具表キープラン	1/200	A-B-05	木製書架 姿図	1/100	A-L-08	外構詳細図(5) 地下貯留浸透槽	1/20・40
			A-T-02	建具表(1)	1/100				A-L-09	外構詳細図(6) 砕石浸透槽	1/20・40
			A-T-03	建具表(2)	1/100				A-P-01	植栽計画図・植栽リスト	1/200
			A-T-04	建具表(3)	1/100				A-P-02	植栽詳細図	1/20
			A-T-05	建具表(4)	1/100				A-P-03	蛇籠詳細図	1/20
			A-T-06	建具表(5)	1/100						
			A-T-07	建具表(6)	1/100					《解体図》	
									A-K-01	解体図	1/400
									A-K-02	解体・移設物写真(1)	NON
									A-K-03	解体・移設物写真(2)	NON
									A-K-04	解体・移設物写真(3)	NON
									A-K-05	移設先 位置図	NON
									A-K-06	移設先 新設基礎・土台詳細図	1/20



# 目次

図面リスト											
図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)
	《電気設備図》						《機械設備図》				
E-特-01	特記仕様書(その1)	-	E-40	町民会館 幹線・コンセント設備 1階平面図(改修図)	1/300	M-特-01	特記仕様書(その1)	-	M-41	町民会館 給排水衛生設備 機器表(改修)	-
E-特-02	特記仕様書(その2)	-	E-41	町民会館 空調・換気配線設備 1階平面図(改修図)	1/300	M-特-02	特記仕様書(その2)	-	M-42	町民会館 給排水衛生設備 衛生器具表(改修)	-
E-特-03	特記仕様書(その3)	-	E-42	町民会館 電灯設備 地下1階平面図(改修図) 電灯・動力盤結線図	1/300	M-特-03	特記仕様書(その3)	-	M-43	町民会館 給排水衛生設備 1階平面図(改修)	1/300
E-01	配置図・付近見取図	1/400	E-43	町民会館 電灯設備 1階平面図(改修図)	1/300	M-01	配置図・付近見取図	-	M-44	町民会館 給排水衛生設備 2階平面図(改修)	1/300
E-02	屋外配線設備図	1/400	E-44	町民会館 電灯設備 2階平面図(改修図)	1/300	M-02	凡例	-	M-45	町民会館 給排水衛生設備 1階平面詳細図(改修)	1/100
E-03	受変電設備単線結線図(第5変電所)・屋外型キュービクル姿図	-	E-45	町民会館 非常照明・誘導灯設備 地下1階平面図(改修図)	1/300	M-03	図書館 空調換気設備 機器表(1)	-	M-46	町民会館 給排水衛生設備 1階平面図(撤去)	1/300
E-04	既設受変電設備単線結線図・平面詳細図(改修図)	-	E-46	町民会館 非常照明・誘導灯設備 1階平面図(改修図)	1/300	M-04	図書館 空調換気設備 機器表(2)	-	M-47	町民会館 給排水衛生設備 2階平面図(撤去)	1/300
E-05	電灯・動力幹線設備 系統図	-	E-47	町民会館 非常照明・誘導灯設備 2階平面図(改修図)	1/300	M-05	図書館 空調換気設備 制気口リスト	-	M-48	施工要領図(1)	-
E-06	電灯・動力盤結線図(1)	-	E-48	町民会館 照明器具姿図	-	M-06	図書館 空調換気設備 ダクト系統図	-	M-49	施工要領図(2)	-
E-07	電灯・動力盤結線図(2)	-	E-49	町民会館 拡声・テレビ共同・誘導支援設備 1階平面図(改修図)	1/200	M-07	図書館 空調換気設備 1階ダクト平面図	1/200			
E-08	幹線・コンセント設備 1階平面図	1/200	E-50	町民会館 情報通信網配線・構内交換配管設備 1階平面図(改修図)	1/200	M-08	図書館 空調換気設備 2階ダクト平面図	1/200			
E-09	幹線・コンセント設備 2階平面図	1/200	E-51	町民会館 自動火災報知設備 1階平面図(改修図)	1/200	M-09	図書館 空調換気設備 2階上部ダクト平面図	1/200			
E-10	幹線・コンセント設備 2階上部平面図	1/200	E-52	町民会館 監視カメラ・機械警備配管設備 1階平面図(改修図)	1/200	M-10	図書館 空調換気設備 2階ダクト平面詳細図	1/100			
E-11	空調・換気配線設備 1階平面図	1/200	E-53	屋外配線設備図(撤去図)	1/600	M-11	図書館 空調換気設備 2階ダクト断面詳細図	1/100			
E-12	空調・換気配線設備 2階平面図	1/200	E-54	町民会館 コンセント設備 1階平面図(撤去図)	1/300	M-12	図書館 空調換気設備 配管系統図	-			
E-13	空調・換気配線設備 2階上部平面図	1/200	E-55	町民会館 電灯設備 地下1階平面図(撤去図)	1/300	M-13	図書館 空調換気設備 1階配管平面図	1/200			
E-14	電灯設備 1階平面図	1/200	E-56	町民会館 電灯設備 1階平面図(撤去図)	1/300	M-14	図書館 空調換気設備 2階配管平面図	1/200			
E-15	電灯設備 2階平面図	1/200	E-57	町民会館 電灯設備 2階平面図(撤去図)	1/300	M-15	図書館 空調換気設備 2階配管上部平面図	1/200			
E-16	電灯設備 2階上部平面図	1/200	E-58	町民会館 非常照明・誘導灯設備 地下1階平面図(撤去図)	1/300	M-16	図書館 計装設備 系統図	-			
E-17	照明器具姿図	-	E-59	町民会館 非常照明・誘導灯設備 1階平面図(撤去図)	1/300	M-17	図書館 計装設備 1階平面図	1/200			
E-18	情報通信網配線・構内交換配管設備 系統図	-	E-60	町民会館 非常照明・誘導灯設備 2階平面図(撤去図)	1/300	M-18	図書館 計装設備 2階平面図	1/200			
E-19	情報通信網配線・構内交換配管設備 1階平面図	1/200	E-61	町民会館 情報通信設備 1階平面図(撤去図)	1/300	M-19	図書館 計装設備 2階上部平面図	1/200			
E-20	情報通信網配線・構内交換配管設備 2階平面図	1/200	E-62	町民会館 自動火災報知設備 1階平面図(撤去図)	1/300	M-20	図書館 給排水衛生設備 機器表	-			
E-21	情報通信網配線・構内交換配管設備 2階上部平面図	1/200				M-21	図書館 給排水衛生設備 衛生器具表	-			
E-22	拡声・テレビ共同・誘導支援設備 系統図	-				M-22	図書館 給排水衛生設備 系統図	-			
E-23	拡声・テレビ共同・誘導支援設備 1階平面図	1/200				M-23	図書館 給排水衛生設備 配置図	1/400			
E-24	拡声・テレビ共同・誘導支援設備 2階平面図	1/200				M-24	図書館 給排水衛生設備 1階平面図	1/200			
E-25	拡声・テレビ共同・誘導支援設備 2階上部平面図	1/200				M-25	図書館 給排水衛生設備 2階平面図	1/200			
E-26	情報通信設備 機器姿図(1)	-				M-26	図書館 給排水衛生設備 2階平面詳細図	1/100			
E-27	情報通信設備 機器姿図(2)	-				M-27	町民会館 空調換気設備 機器表(改修)	-			
E-28	自動火災報知設備 系統図	-				M-28	町民会館 空調換気設備 制気口リスト(改修)	-			
E-29	自動火災報知設備 1階平面図	1/200				M-29	町民会館 空調換気設備 ダクト系統図(改修)	-			
E-30	自動火災報知設備 2階平面図	1/200				M-30	町民会館 空調換気設備 1階ダクト平面図(改修)	1/300			
E-31	自動火災報知設備 2階上部平面図	1/200				M-31	町民会館 空調換気設備 2階ダクト平面図(改修)	1/300			
E-32	誘導灯・非常照明器具設備 1階平面図・姿図	1/200				M-32	町民会館 空調換気設備 1階ダクト平面図(撤去)	1/300			
E-33	誘導灯・非常照明器具設備 2階平面図	1/200				M-33	町民会館 空調換気設備 1階ダクト平面詳細図(撤去)	1/100			
E-34	誘導灯・非常照明器具設備 2階上部平面図	1/200				M-34	町民会館 空調換気設備 2階ダクト平面図(撤去)	1/300			
E-35	監視カメラ設備 系統図・機器姿図	-				M-35	町民会館 空調換気設備 配管系統図(改修)	-			
E-36	監視カメラ・機械警備配管設備 1階平面図	1/200				M-36	町民会館 空調換気設備 1階配管平面図(改修)	1/300			
E-37	監視カメラ・機械警備配管設備 2階平面図	1/200				M-37	町民会館 空調換気設備 1階配管平面図(撤去)	1/300			
E-38	監視カメラ・機械警備配管設備 2階上部平面図	1/200				M-38	町民会館 空調換気設備 1階配管平面詳細図(撤去)	1/100			
E-39	電気設備 詳細図	-				M-39	町民会館 計装設備 系統図(改修)	-			
						M-40	町民会館 計装設備 1階平面図(改修)	1/300			

## 益子町既存施設改修及び図書館建設工事 特記仕様書

I 工事概要				
1. 工事場所	栃木県芳賀郡益子町益子 3667-3			
2. 敷地面積	5,294.65㎡			
3. 用途地域その他の地域	第一種住居地域			
4. 工事種目				
建築物名称	工事種別	構造概要	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)
図書館	新築	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2階建	1,280.20㎡	1,360.21㎡
益子町民会館	改修	鉄筋コンクリート造 地上2階 地下1階建	2,848.56㎡	4,371.46㎡
5. 指定部分	・有	◎無		
	対象部分( )			

### II 建築工事仕様

#### 1. 共通仕様

設計書、図面、特記仕様書及び現場説明書（質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）(令和7年版)」(以下「**仕様**」という。)に準拠するものとし、優先順位は次による。

- 質問回答書（(2)から(5)に対するもの)
- 現場説明書(入札条件書(特記事項)含む)
- 特記仕様書
- 図面及び設計書
- 標仕

また、公営住宅工事においては、設計書、図面、特記仕様書及び現場説明書（質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて、公共住宅事業者等連絡協議会編集の「公共住宅建設工事共通仕様書（令和4年度版）」(以下、「**公仕**」という。)に準拠するものとし、優先順位は次による。

- 質問回答書（(2)から(6)に対するもの)
- 現場説明書(入札条件書(特記事項)含む)
- 特記仕様書
- 図面及び設計書
- 標仕
- 機材の品質・性能基準（令和4年度版）(以下、「**品質・性能基準**」という。)

#### 2. 特記仕様

- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項で●印、◎印、・印のある場合の適用は下記による。
  - 印の付いた仕様は全て適用する。
  - ◎印の付かない場合は、◎印の付いた仕様を適用する。
  - ・印のみの仕様は適用しない。
- 特記事項に記載の（. . .）内表示番号は、標仕（公営住宅工事の場合は公仕仕）の当該項目、当該図または表を示す。
- 特記事項に記載の（公仕仕. . .）内表示番号は、公仕仕の当該項目、当該図または表を示す。
- 特記事項に記載の（参. . .）は「各部配筋 参考図」当該項目を示す。
- 製造所名は五十音順とし、「株式会社」等の記載は省略する。また、（ ）内は製品名を示す。
  - [G]印は、「栃木県グリーン調達推進方針」の特定調達品目を示す。

## 1章 一般共通事項

#### 01-1 適用基準等

◎建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定(令和4年版)
◎敷地調査共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定(令和4年版)
◎工事写真撮影ガイドブック（建築工事編及び解体工事編） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和5年版)
◎建築物におけるコンクリートの品質管理実施要領 栃木県土木部技術管理課(平成14年12月)
◎建設工事に伴う騒音振動対策技術指針 建設省大臣官房技術参事官通達（昭和62年3月改正）
◎手すり先行工法に関するガイドライン 厚生労働省（令和5年12月改正）

#### 01-2 工事実績情報システム(GORINS)への登録(1.1.4)

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金が500万円以上の工事について、工事実績情報を作成し監督職員の確認を受けた上、登録機関へ登録申請を行う。

#### 01-3 発生材の処理等

【発生土】
・構内指示の場所に敷均し
・構外指示の場所にたい積
・構内指示の場所にたい積 たい積場所（ ）
◎構外搬出適切処理（処理場所は入札条件書(特記事項)による）

【発生土以外の発生材】
・引渡しを要するもの
・有 名称（ ） ◎無
・特別管理型産業廃棄物
・有 名称（ ） ◎無
処理方法（ ）
・再利用及び再資源化を図るもの
・有 名称（ ） ◎無

◎上記に指定されていないものは、標仕1.3.11(2)(a)及び「建設廃棄物処理指針」（平成22年版）によるほか、下記により構外に搬出し適切に処理する。

- 建設副産物実態調査要領に基づき、本工事に係る再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出するとともに、法令等に基づき、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げること。また、工事完成後速やかに上記計画書の実施状況について、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成・提出し、これらの記録を工事完成後1年間保存しておくこと。なお、「建設混合廃棄物の現場分別」については、【現場分別マニュアル】も参考に分別の徹底に取り組むこと。
関東地方整備局 HP > 技術情報 > その他 > 建設リサイクル
https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000094.html
- 建設副産物の処理に先立ち、あらかじめ監督職員に確認を受けた「建設副産物処理承認申請書」を提出すること。
- 建設副産物の処分にあたって、提出事業者（元請業者）は処理業者と建設副産物処理委託契約を締結し、その契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業者を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、その契約書の写しを提出すること。
- 建設副産物処理完了後速やかに「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に提出するとともに、実際に要した処理等を証明する資料（受け入れ伝票、写真、位置図、経路図等）を提示し確認を受けること。
- 建設廃棄物については、産業廃棄物処理における「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」の交付されたもの及び回収した各票を監督職員に提示し確認を受けること。なお、回収したマニフェストについては、廃棄物の処理及び清掃に関する法を踏まえて適切に保存すること。

#### 01-4 品質計画(1.2.2)

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
◎風圧力
風速（Vo＝30m/s）
地面相粗度区分（・Ⅰ ・Ⅱ ◎Ⅲ ・Ⅳ）
◎積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号別表（ ）

#### 01-5 電気保安技術者の配置(1.3.3)

◎要 ・不要

#### 01-6 施工条件明示(1.3.5)

工事用車両の駐車場所 ◎敷地内 ・敷地外（ ）
資機材の置場所 ◎敷地内 ・敷地外（ ）

#### 01-7 材料の検査に伴う試験(1.4.5)

構造体コンクリートの強度試験及び鉄筋のガス圧接部の引張り試験は下記の機関による。
(1) (公財)とちぎ建設技術センター
(2) 足利大学
(3) (株)中研コンサルタント関東技術センター
(4) 栃木県中央生コンクリート協同組合栃木県生コンクリート技術センター

#### 01-8 建築材料の品質等(1.4.2)

本工事に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有するものとしJ I S及びJ A Sマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の項目を満たすものとし、証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写真等）を監督職員に提出して承諾を受ける。

- 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
- 生産施設及び品質の管理が適切に行なわれていること。
- 安定的な供給が可能であること。
- 法令等で定める許可、認可、認定、または免許等を取得していること。
- 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。
- 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

また、本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された材料は、設計図面に規定するものまたは同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、同等品等使用願を監督職員に提出して承諾を受ける。

なお、同等品の中で、一般社団法人公共建築協会編集「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」(以下、「**評価名簿**」という。)に記載されている製造所の材料を選定した場合は、設計図面に規定するものと同等と取り扱い、主要資材使用通知書により監督職員に通知する。

#### 01-9 再生骨材の品質確保について

本工事に再生骨材を利用する場合は、「再生クラッシャーランの品質確保に関する当面の措置について」(平成15年9月16日栃木県土木整備部技術管理課)により、現場搬入時に目視確認を行い、「再生クラッシャーラン(RC材)品質確認状況報告書」を作成の上、速やかに監督職員に提出するものとする。

#### 01-10 化学物質を発散する建築材料等(1.5.9)

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、

- (1)から(5)を満たすものとする。
  - 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
  - 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
  - 接着剤は可塑剤（フタル酸ジエーノールブチル及びフタル酸ジエー２エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていないものを使用する。
  - 接着剤及び塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
  - (1)。(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。

また、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」と発議の1又は2に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

- ① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
- 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
- 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
- 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

#### 01-11 特殊な材料の工法

標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。

#### 01-12 技能士(1.5.2)

適用工事種別	技能検定の種別
仮設工事	・とび作業
鉄筋工事	◎鉄筋組立作業
コンクリート工事	◎型枠工事業業 ◎コンクリート圧送工事業業
鉄骨工事	◎構造物鉄工作业 ◎とび作業
コングレトボク・ALCバ 柵 押出成形せト板工事	・コンクリートブロック工事業業 <p>・ALCパネル工事業業</p>
防水工事	・アスファルト防水工事業業 <p>・ウレタンゴム系塗膜防水工事業業</p> <p>・アクリルゴム系塗膜防水工事業業</p> <p>・合成ゴム系シート防水作業</p> <p>・塩化ビニル系シート防水工事業業</p> <p>・メメント系防水工事業業</p> <p>・シーリング防水工事業業</p> <p>・改質アスファルトシートーーチ工法防水工事業業</p> <p>・FRP防水工事業業</p>
石工事	・石張り作業
タイル工事	・タイル張り作業
木工事	・大工工事業業
屋根及びとい工事	◎内外装板金作業 ・スレート工事業業
金属工事	・鋼製下地工事業業 ・内外装板金作業
左官工事	・左官作業
建具工事	◎ビル用サッシ施工作业 ・ガラス工事業業 <p>・自動ドア施工作业</p>
カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事業業 <p>・ビル用サッシ施工作业 ・ガラス工事業業</p>
塗装工事	◎建築塗装作業

内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事業業 <p>・カーペット系床仕上げ工事業業 ・壁装作業</p> <p>◎ボード仕上げ工事業業</p>
排水工事	・建築配管作業
舗装工事	・溶融べントブルマーカー工事業業 <p>・加熱べントシマーカー工事業業</p>
植栽工事	・造園工事業業

#### 01-13 化学物質の濃度測定(1.5.10)

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。

測定方法 ◎パッシブ型 ・アクティブ型
着工前の測定 ◎行わない ・行う
測定対象室 ・図示 ◎一般開架、サイレントスペース、事務室
測定箇所数 ・図示 ◎一般開架(4箇所)、サイレントスペース(1箇所)、事務室(1箇所)
（住宅工事の場合は1住戸当たり2室以上）
報告の様式等については監督職員の指示による

#### 01-14 完成図等(1.7.2.3)

◎作成する ・作成しない
◎完成図 ◎製本 提出部数 ◎2部 ・部
複写2つ折り製本、製本サイズは監督員の指示による。
◎C D-R 提出部数( 2 )部
◎施工図 提出部数 ◎2部 ・部
◎保全に関する資料 提出部数 ◎2部 ・部

#### 01-15 施工図等の取り扱い(1.7.2)

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用权は、発注者に移譲するものとする。

#### 01-16 完成写真

下記のものを監督職員に提出する。

分類・規格	提出部数	画素数、画質等
◎カラーキャビネ版	◎2	◎428万画素以上
◎アルムム綴じ（黒表紙金文字入り）		◎30カット
・べた焼き（他に外観正面1から5枚(カラー+白)版)提出		
・カラーパネル324×400mm	◎2	◎428万画素以上
◎電子データ	◎2	◎350dpi以上
電子データはJPEG形式とLCD-Rにて提出する。撮影箇所は監督職員との協議による。 撮影業者 ◎（有）新写真工房 堀内 広治 東京都中央区月島1-14-13-907 tel/fax 03-5547-8001		

#### 01-17 他工事との取り合い

別表一による他工事との取り合いについては、設備機器の位置、取り合い等の検討のできる施工図を支障のきたさない時期までに提出して、監督職員の承諾を受ける。

#### 01-18 設計図

監督職員の指示による。

#### 01-19 調査試験に対する協力

- 受注者は、発注者が自らまたは発注者が指定する第三者が行う調査及び試験に対して、監督職員の指示によりこれに協力しなければならない。
- 受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。

ア 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。

イ 調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象となった場合には、その実施に協力しなければならない。

ウ 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。

エ 対象工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請負工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

#### 01-20 火災保険等

火災保険、建設工事保険、組立保険または土木工事保険等のうち1以上に加する。契約期間の始期は、材料（仮設、型枠材を除く）搬入時以前とし、終期は、工事目的物（分属発注に於いては、引き渡しが最後となる工事目的物）の引き渡しの翌日までとする。
保険契約の締結後、その証券又はこれに代わるものを発注者に提示し、確認を受けること。

#### 01-21 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
保険契約の締結後、その証券又はこれに代わるものを発注者に提示し、確認を受けること。

#### 01-22 下請負人の選定及び工事材料の選定

◎受注者は、下請負契約を締結する場合、当該契約の相手方を県内または町内に本店を有する者の中から選定するよう努めること。
◎受注者は、県内または町内で産出、生産または製造される資材等の規格品質等が本設計の仕様と適合すると認められる場合は、優先して使用するよう努めること。

#### 01-23 電子納品

◎適用基準は「電子納品運用に関するガイドライン(第11版)」とする。
設計CADデータの貸与 ・無 ◎有（著作権者 ◎設計者 ・その他（ ））
◎貸与するCADデータを該当工事における施工図または完成図の作成のため以外には使用してはならない。
◎書面における署名及び捺印の取り扱いは、監督職員との協議による。

#### 01-24 交通安全管理(1.3.8)

受注者は、栃木県公安委員会が定める路線（令和5年11月30日栃木県公安委員会告示第61号）の交通誘導を行う場合は、その現場ごとに交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員または二級検定合格警備員を1人以上配置しなければならない。

#### 01-25 環境対策(1.3.10)

(1) 騒音・振動対策
受注者は、工事の施工にあたり建設機械を使用する場合は、「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成13年4月9日国交省告示第487号）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。
ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議するものとする。
(2) 排出ガス対策
受注者は、工事の施工にあたり「建設機械に関する技術指針」別表第3に掲げる建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経発第249号)」に基づき指定さ

れた排出ガス対策型建設機械または同等の建設機械を使用するものとする。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議するものとする。

(3) グリーン購入法
受注者は、資材、工法、建設機械または目的物の使用にあたっては、事業毎の特性を踏まえ、必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号。『グリーン購入法』という。）」第10条及び「栃木県生活環境の保全等に関する条例」第63条で定めた「栃木県グリーン調達推進方針」に定められた特定調達品目の使用を推進するものとする。

#### 01-26 埋設物の調査等

給排水管、ガス管、ケーブル等の埋設が予想される場合は、調査を行うこと。なお、給排水管等を掘り当てた場合は、損傷しないように注意し、必要に応じて、応急処置を行い、監督職員及び関係者と協議すること。また、工事に支障となる障害物を発見した場合は、監督職員と協議すること。ただし、容易に取り除ける障害物はこの限りではない。

#### 01-27 事故報告

受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に報告するとともに、監督職員が指示する様式（工事事故報告書）で指示する期日までに提出しなければならない。
[工事事故等が発生した場合の早期報告の徹底について]
万が一事故等が発生した場合、被災者の救護・現場の安全確保を最優先のうえ、警察・消防・労働基準監督署等関係機関への通報と合わせ、直ちに発注機関へ通報すること。
工事事故等が発生した場合、事故の大小を問わず、直ちに監督職員へ通報すること。
なお、事故発生時の速報においては、休日、時間外を問わず行うこととし、資料の有無は問わない。
また、本指示内容については、下請けを含む作業員や資機材運搬業者、交通誘導員等の工事関係者全てに行き届くよう周知徹底すること。

#### 01-28 不正軽油使用の防止対策

- 本工事は、地方税法(昭和25年法律第226号)及び特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成17年5月25日法律第51号)を遵守すること。
- 本工事で使用しまたは使用させる軽油使用の車両(資機材等の搬出入車両を含む)並びに建設機械等の燃料には規格(J I S)に合った軽油を使用すること。また、県が使用燃料の抜き取り調査を行う場合には、現場代理人がこれに立ち会うなど協力を行うこと。

#### 01-29 過積載対策

- ダンプトラック等による過積載等の防止については、次のとおりとする。
- 積載重量制限を超過して工用資材を積み込まず、また積み込ませないこと。
  - 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
  - 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材等の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入者の利益を不当に害することのないようにすること。
  - さし枠装着車、物品積載装置の不法改造をしたダンプカー及び不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。
  - 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
  - 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、またはさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。
  - 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
  - 下請契約の相手方は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者または業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故が発生させたものを排除すること。
  - (1)～(8)のことにつき、下請業者における受注者を指導すること。

#### 01-30 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置

- 益子町が発注する建設工事（以下「発注工事」という。）において、暴力団員等による不当要求または工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
(1)により警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。
- 発注工事において、暴力団員等により不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じるなどの被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。

#### 01-31 工事の一時中止

- 契約書第21条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。なお、基本計画書には、中止時期における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。
(1)により警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。

#### 01-32 住宅瑕疵担保履行法への対応

受注者は、『特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律』（平成19年法律第66号）に基づき、保険への加入または保証金の供託を行うものとする。

#### ・1-33 塗落制止用器具の着用

「労働安全衛生法施行令第13条第3項第28号」における塗落制止用器具の着用は、「塗落制止用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）による塗落制止用器具（フルハーネス型塗落制止用器具）とする。

工事名称	益子町既存施設改修及び図書館建設工事	
図面名称／縮尺	特記仕様書（その1）	図面番号
設計年月日	2026年2月	A-特-01
設計者	株式会社 三上建築事務所	
発注者	益子町	



## 益子町既存施設改修及び図書館建設工事 特記仕様書

<b>○7-9 溶接部の試験 (7.6.12)</b>
平 12 建告第 1464 号第二号に関する外観試験方法等 <ul style="list-style-type: none"><li>◎「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による <ul style="list-style-type: none"><li>抜き取り検査①</li> <li>抜き取り検査②</li></ul></li></ul> <p>JASS6 付則 6〔鉄骨精度検査基準〕の付表 3「溶接」に関する試験方法等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◎JASS 6 10.4〔受入検査〕e.溶接部の外観検査 (1) から (5) までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の採取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標丈 7.6.12 による補修を行い、再試験する。</li></ul> <p>完全溶込み溶接部の超音波探傷試</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◎行う ・行わない</li></ul> <p>◎工場溶接の場合</p> <p>A O Q L ・4.0% ◎2.5%</p> <p>検査水準 ・第 6 水準 ◎第 1 水準</p> <p>・工事現場溶接の場合</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◎全致</li></ul> <p>その他の試験</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・試験方法 ( ) ・試験箇所 ( )</li></ul>

<b>○7-10 鉄鋼面の素地ごしらえ (7.8.3)</b>
種別 ・A 種 ・B 種 ◎C 種

<b>○7-11 鉄鋼面の錆止め塗料塗り (7.8.2.4)</b>
塗料の範囲
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
塗装種別 ◎A 種 (グレー色) ・B 種
工程種別 ◎A 種 ・B 種

<b>・7-12 耐火被覆 (7.9.2~8)</b>	
種別	所要性能及び適用構造区分
・ラス張りモルタル塗り	
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール
	・半乾式吹付けロックウール
	・湿式ロックウール
	・
	・耐火板張り

<b>○7-13 アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.10.3)</b>
◎構造用アンカーボルト
材質 ・SNR400B ◎SNR490B ◎SS400
埋込み工法 ◎図示
◎建方用アンカーボルト
材質 ・SS400
埋込み工法 ・A 種 ◎B 種

<b>○7-14 柱底均しモルタル (7.2.9)</b>		
<b>○7-15 溶融亜鉛メッキ (7.12.1~4)</b>		
亜鉛めっきの種類	材料	適用部位
A 種 (HDZ177)	最小板厚 6mm 以上の形鋼、鋼板類	外部露出部
B 種 (HDZ163)	最小板厚 3.2~6mm の形鋼、鋼板類	
C 種 (HDZ149)	最小板厚 1.6~3.2mm の形鋼、鋼板類普通ボルト、アンカーボルト	
	素地ごしらは、JIS H 9124 溶融亜鉛めっき作業指針による。	

<b>○7-16 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (7.12.5)</b>
摩擦面の処理
◎プラスト処理
・プラスト以外の特別な処理 ( )
耐力確認方法 ( )

<b>8 章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事</b>					
<b>・8-1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2~5) (表 8.2.1)</b>					
ブロックの種類等 (8.2.2)					
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm)	化粧の有無	適用箇所	備考
長さ	高さ				
・空洞ブロック C(16)			・無 ・有		
・			・無 ・有		
モルタルの割合 (容積比)					
・セメント ( ) : 砂 ( )					
各部の配筋 ◎図示					
<b>・8-2 コンクリートブロック幅壁及び壁 (8.3.2~4)</b>					
ブロックの種類等					
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm)	化粧の有無	適用箇所	備考
長さ	高さ				
・空洞ブロック C(16)			・無 ・有		
・型枠状ブロック 20			・無 ・有		
・			・無 ・有		
壁に用いるブロックの正味厚さ ( )					
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状					◎図示
各部の配筋 ◎図示					
<b>・8-3 ALCパネル (8.4.2~5)</b>					

種類	単位荷重 (N/m <sup>2</sup> )	厚さ (mm)	構造の種類
・外壁パネル	・1180・1960	◎100	・A 種・B 種
・間仕切り壁パネル		◎100	・C 種・D 種・E 種
・屋根パネル	・980	◎100	・F 種
・床パネル	・2350・3530	・100・150	
パネルの相互の接合部に充填する耐火目地材 ( )			
外壁、屋根パネルの工法			
・建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の耐風圧性能に対応した工法			
・耐震性能 設計用水平震度 (・1.0 ・ ) 設計用鉛直震度 (・0.5 ・ )			
層間変形角 (・1/100 ・1/200 ・ )			
・耐火性能 (・1 時間 ・2 時間)			

・外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合ならびにパネルと他部材との取合い部の目地幅 (mm)	・10~20		
・伸縮目地への耐火目地材の充填	・適用する	・適用しない	
・パネル幅の最小限度を 300mm 未満とする場合 ( )			

<b>・8-4 押出成形セメント板 (ECP) (8.5.2~5)</b>				
・厚物(厚さ 50mm 以上)				
パネルの種類	形状	厚さ (mm)	工法種別	耐火性能
・外壁パネル	・ F (フランク 種)	・50 ・60	・ A 種	・有 ( )
	・ D (デザイン 種)	・50 ・60	・ B 種	・無
	・ T (タイム 種)	・60		
・間仕切り壁パネル	・ F (フランク 種)	・50 ・60	・ B 種	・有 ( )
	・ D (デザイン 種)	・50 ・60	・ C 種	・無
	・ T (タイム 種)	・60		
・薄物 (厚さ 50mm 未満)				
施工箇所	形状	厚さ (mm)	耐火性能	
	・ F (フランク 種)		・無	
	・ D (デザイン 種) (図示)		・有	

やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。

		開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに開口を設ける場合	短辺	図示	図示
	長辺	図示	図示
パネルを切り欠く場合	短辺	図示	図示
	長辺	図示	図示

外壁パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の耐風圧性能に対応した工法
耐震性能 設計用水平震度 (・1.0 ・ ) 設計用鉛直震度 (・0.5 ・ )
層間変形角 (・1/100 ・1/200 ・ )
耐火構造以外の目地及び隙間の処理
・パネル製造所の仕様

<b>9 章 防水工事</b>				
<b>・9-1 アスファルト防水 (9.2.2~5) (表 9.2.3~9)</b>				
屋根保護防水				
種別	施工箇所	断熱材 [G]	絶縁用シート	立上り部保護
・ A-1			・ポリスレンフィルム	・乾式保護材
・ A-2			厚さ 0.15mm 以上	・コンクリート押え
・ A-3			・フライトン加	
・ B-1			70g/m <sup>2</sup> 程度	
・ B-2			・	
・ AI-1		[材質]	・フライトン取	
・ AI-2		◎標丈 9.2.2(8) (スチ層付き)	70g/m <sup>2</sup> 程度	
・ AI-3		[厚さ]	・	
・ BI-1		◎25mm		
・ BI-2				
屋根露出防水				
種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用 [G]
種類			種類	使用量
・ D-1			・製造所の指定による	・
・ D-2			・	・
・ DI-1		[材質]	・	・
・ DI-2		◎標丈 9.2.2(9) (スチ層付き)	・	・
		[厚さ]	・	・
		◎25mm	・	・

屋内防水			
種別	施工箇所	種別	施工箇所
・ E-1		・ E-2	
保護層	・設ける	・設けない	
屋上排水溝	・設ける	・設けない	

<b>・9-2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2.3) (表 9.3.1~3)</b>					
防水層の種類					
種別	施工箇所	断熱材 [G]	防湿層	仕上塗料	高日射反射率防水の適用 [G]
種類				種類	使用量
・ AS-T1				・	・
・ AS-T2				・製造所の指定による	・
・ AS-T3				・製造所の指定による	・
・ AS-T4				・	・
・ AS-J1				・	・
・ AS1-T1		[材質]	・設ける (改質アスファルト製造所の使用による)	・	・
・ AS1-J1		[厚さ]	・	・	・
		25mm	・	・	・

固定用金具の材質及び寸法形状
・厚さ 0.4mm 以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面または両面に樹脂を積層加工した鋼板
・

防水層の種類			
種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・屋根保護防水密着工法(トーチ工法)		◎公仕仕 9.3.2(3) (イ)	◎公仕仕 9.3.2(3) (イ)
・屋根保護防水密着断熱工法(トーチ工法)		◎公仕仕 9.3.2(3) (イ)	◎公仕仕 9.3.2(3) (イ)

<b>・9-3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2~4) (表 9.4.1~3)</b>						
種別	可塑剤移行防止シート	断熱材 [G]	厚さ (mm)	仕上塗料	使用分類	施工箇所
・ S-F1	◎発砲ポリエチレンシート		◎1.2	・カラー・シルバー	◎非歩	
・ S-F2	・		◎2.0	・	・軽歩行	
・ S-M1			◎1.5	・カラー・シルバー		

・ S-M2				・1.5	
・ SI-F1	・発砲ポリエチレンシート	[材質]	・標仕	・1.2	・カラー・シルバー
・ SI-F2	・	9.4.2(3) (イ) による	・	・2.0	
		[厚さ]	・		
		25mm	・		
・ SI-M1		[材質]	・標仕	・1.5	・カラー・シルバー
・ SI-M2	・発砲ポリエチレンシート	9.4.2(3) (イ) (a) による	・	・1.5	
		[厚さ]	・		
		25mm	・		

屋内防水防水層の種類						
種別	施工箇所	保護層	平場のモルタル塗り	立上り部の保護モルタル塗り厚さ		
			塗り厚さ	床張り工法	下地モルタル塗り	
・ S-C 1			・標仕 15.3.5(2) (イ) 及び(イ)に準ずる	・標仕 15.3.5(4) (ア) に準ずる		・7mm 以下

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

<b>○9-4 塗膜防水 (9.5.3) (表 9.5.1,2)</b>				
種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	高日射反射率防水 [G]
・ X-1		・カラー・シルバー		・
◎X-2	◎図示	◎カラー・シルバー		
・ Y-1				・
・ Y-2			・適用する	・適用しない

<b>・9-5 ケイ酸質系塗布防水 (9.6.3) (表 9.6.1)</b>			
種別	施工箇所	種別	施工箇所
◎C-SUI		・C-SUP	

<b>・9-6 脱気装置</b>		
種別	種類	設置数量
・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	◎アスファルト・フィク <sup>®</sup> 類製造所の仕様による	◎アスファルト・フィク <sup>®</sup> 類製造所の仕様による
・DI-1 ・DI-2 ・AS-T3		
・AS-T4 ・AS-J1		
・AS1-T1 ・AS1-J1		
・X-1	・防水層の主材料の製造所の仕様による	・防水層の主材料の製造所の仕様による

<b>○9-7 シーリング (9.7.2.3) (表 9.7.1)</b>		
下表以外は、標丈表 9.7.1 による。		
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)	
打継目地・化粧目地	ポリサルファイド系 (PS-2)	
水切取合部、建具廻り	変形シリコーン系 (MS-2)	
床見切り部、床目地部	ポリウレタン系 (土間目地専用シーリング材)	
ライニング甲板・洗面化粧台廻り	シリコーン系	

接着試験	
◎簡易接着性試験	・引張接着性試験

<b>○9-8 保証書</b>			
責任施工の保証書を完了後速やかに提出する。(受注者、専門施工業者及び材料製造者の連名による) 保証年限は下記による。			
種別	保証年限	種別	保証年限
・アスファルト防水	10 年	◎塗膜防水	10 年
・改質アスファルト防水	10 年	・リン酸質系塗布防水	年
・合成高分子系ルーフィングシート防水	10 年		

<b>10 章 石工事</b>				
<b>・10-1 花こう岩及び大理石張り (10.2.1.3) (表 10.2.1~3)</b>				
石の種類・表面仕上げ				
施工箇所	品質	種類・産地・名称	厚さ (mm)	仕上げの種類

<b>○10-2 大谷石及び芦野石</b>				
石の種類 ・表面仕上げ				
施工箇所	品質	種類・産地・名称	厚さ (mm)	仕上げの種類
WC		大谷石・栃木県	◎30、150	水磨き

<b>・10-3 テラゾ張り (10.2.1) (表 10.2.2)</b>
種石の種類 ◎大理石
表面仕上げ ◎本磨き
形状 ・寸法 ◎図示

<b>○10-4 壁の石張り工法 (10.2.2.3) (10.3.2.3) (10.4.2.3)</b>	
外壁石張り工法	
・外壁湿式工法 ( ・流し筋工法 ( ) )	
・乾式工法 ( ・建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)	
・行わない	・行う (小口共)
・行わない	・行う (一般目地目地幅)
・ステンレス (SUS304)	・
シーリング材	・6mm 以上
伸縮調整目地位置	・適用する
目地寸法	・適用しない
	◎標丈 11.1.1 による
	◎図示
	◎標丈 9.7.3(1) (イ) による
	◎図示

内壁石張り工法	◎内壁空積工法	◎あと施工アンカー横筋流し工法
		・あと施工アンカー工法)
	◎乾式工法	( ・建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)
浸透性吸水防止剤	◎行わない	・行う
石表面処理	◎行わない	・行う (小口共)
裏打ち処理	◎行わない	・行う
目地	一般目地目地幅	◎6mm 以上
	シーリング材	・適用する
	伸縮調整目地位置	・適用しない
	目地寸法	◎標丈 11.1.1 による
		◎図示
		◎標丈 9.7.3(1) (イ) による
		◎図示

<b>・10-5 床及び階段の石張り (10.6.2.3)</b>		
石の厚さ (mm)	・行わない	・行う
床石張りの石表面処理	・行わない	・行う
階段張りの石表面処理	・行わない	・行う
屋内のワックス掛け	・行う	・行わない
目地	一般目地	目地幅
		・図示
		・屋外 4mm 以上
		・屋内 3~6mm
	伸縮調整目地	シーリング材
		・適用する
		・適用しない
		◎標丈 10.6.2(5) (イ) による
		◎図示
		◎標丈 9.7.3(1) (イ) による
		◎図示

<b>・10-6 特殊部位</b>
・標丈第 10 章第 7 節による

<b>11 章 タイル工事</b>		
<b>○11-1 伸縮調整目地及びびび割れ誘発目地 (11.1.3) (表 11.1.1)</b>		
◎位置 (◎図示	・	) ・寸法 ( )

<b>・11-2 見本焼、試験施工 (11.1.4)</b>		
タイルの見本焼き	・行わない	・行う ( ・外壁タイル
タイルの試験張り	・行わない	・行う ( ・外壁タイル

<b>○11-3 セメントモルタルによるタイル張り (11.2.2)</b>									
タイルの形状、寸法等									
施工箇所	形状寸法 (mm)	吸水率による区分	うわ薬	役物	色	再生材の有無	耐凍害性	耐滑り性	備考
I 類	II 類	III 類	無釉	施釉	有	無	標準	特注	
WC	浴×浴	・◎	・	◎	・	◎	◎	・	・
一階床	浴×浴	・◎	・	◎	・	◎	◎	・	・
外部床	浴×浴	・	◎	◎	・	◎	◎	◎	・

役物：標準的な曲がり (小口、標準、二丁、屏風) の役物は一体成形とする。
躯体表面の処理
・行う ( ・MCR工法

壁タイル張りの工法
内装タイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り
外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り
◎セメントモルタルには白華防止混和剤を入れること。

## 益子町既存施設改修及び図書館建設工事 特記仕様書

○12-2 造作用集成材[G] (12.2.1)						
ホルムアルデヒド放散量 ◎規制対象外 ・第三種						
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材						
施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の等級		間伐材等の適用	
			・1等	・2等		
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材						
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用
					・1等	・2等
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材						
施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用	
				・A種	・B種	
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材						
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
						・A種
						・B種

・12-3 造作用単板積層材[G] (12.2.1)						
ホルムアルデヒド放散量 ◎規制対象外 ・第三種						
・JAS 0701 (単板積層材) による造作用単板積層材						
施工箇所	厚さ(mm)	防虫処理	表面の化粧加工	含水率	間伐材等の適用	
		・適用する	・有(加工)			
		・適用しない	・無(等級)			
・JAS 0701 (単板積層材) 以外の造作用単板積層材						
施工箇所	厚さ(mm)	防虫処理	表面の化粧加工	含水率	間伐材等の適用	
		・適用する	・有(加工)	・14%以下		
		・適用しない	・無(等級)			
・JAS 3079 (直文集成板) によるCLT (直文集成板) [G]						
施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)

○12-4 合板等 (12.6.1)						
ホルムアルデヒド放散量 ◎規制対象外 ・第三種						
◎「合板の日本農林規格」による普通合板[G]						
施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
壁下地	◎5.5	ラウン	◎1類	広葉樹	・適用する	・適用
壁仕上	◎6.5	シナ	・2類	◎2等以上	◎適用しない	
作業コーナー	◎4.0	シナ		◎1等以上針葉樹		
				◎C-D以上		
◎「合板の日本農林規格」による構造用合板[G]						
施工箇所	厚さ(mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断係数比
下地	◎9	◎2級以上		◎1類	◎C-D以上	
	◎12	◎1級		・特類		
				・特類		
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板[G]						
施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用	
			・1類			
・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板[G]						
施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用	
			・1類	・適用する		
			・2類	( )		
・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板[G]						
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・1類			・適用する	
		・2類			( )	
・パーティクルボード[G]						
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)	
		◎13タイプ	◎PまたはM			◎15
・構造用パネル						
施工箇所	厚さ(mm)					
	・1級・2級・3級・4級					
・MDF[G]						
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用

○12-5 接着剤 (12.2.2.3)						
接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていないものとする。						
ホルムアルデヒド放散量 ◎規制対象外 ・第三種						
・12-6 防蟻・防蟻処理 (12.3.1.2)						
・防蟻、防蟻処理を省略できる樹種による製材						
適用部位:( )						
・薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理						
適用部材	保存処理性能区分					
	・K2 ・K3 ・K4					
	・K2 ・K3 ・K4					
・薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理						
適用部材	処理の方法	薬剤の種類				
・薬剤の接着材への混入による防蟻・防蟻処理						
適用部位:( )						

13章 屋根及びとい工事			
○13-1 長尺金属葺葺 (13.2.2.3) (表13.2.1)			
屋根葺き形式	長尺金属葺葺の種類	塗装の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	板厚(mm)
◎横葺	◎JIS G 3322(塗装溶融55%Zn-亜鉛合金めっき鋼板及び銅帯)		◎0.4
屋根葺き工法 ◎図示			
◎建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法			
下葺き材料 ・アスファルトルーフィング940			
◎改質アスファルトルーフィング下葺材(・一般 ・複層材 ・粘着層付 ◎モラサン2号)			
横葺の場合のくれば納め(・つかみ込み納め ・くれば包み納め)			

・13-2 折板葺 (13.2.2) (13.3.2.3) (表13.2.1)			
形式	◎重ね形 ・はげ絡め形 ・かん合形		
形状(mm)	山高( ) 山ピッチ( ) 板厚	◎0.6	・0.8
材料(規格等)	◎標仕表13.2.1による( )		
耐力			
軒先面戸板	・有 ・無		
断熱材	・有(種別:厚さ)		
耐火性能	・有(30分耐火) ・無		
塗装の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号			
タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理(標仕表14.2.2による ・E種 ・F種)			
屋根葺き工法			
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法			

○13-3 粘土瓦葺 (13.4.2.3)			
種類	◎釉薬瓦 ◎いぶし瓦 (八郷いぶし瓦 五三判 桜井瓦工業)		
形状	◎J型		
寸法	◎53A		
瓦緊結用釘及びねじ	◎2021年改訂版 瓦屋根標準設計・施工ガイドラインによる		
役付瓦	◎有( 図示 ) ・無		
JIS A 5208に基づく凍害試験等			
◎行わない ・行う			
瓦棧木 材質	◎すぎまはひのき		
寸法	◎幅21×高さ15(mm)		
金物等材質、形状、寸法及び留付け方法	◎図示		
棟補強用心材 材質	・すぎまはひのき ◎図示		
寸法	◎幅40×高さ30(mm)		
椽木の留付工法	◎図示		
屋根葺き工法			
・建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法			
風圧力または地震力に対応した瓦の緊結方法			
◎図示による			

○13-4 とい (13.5.2.3) (表13.5.1)			
◎軒どい			
材質	・着色亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 ◎図示		
・硬質塩化ビニル(・前高角型 ・折板用角型)			
◎縦どい			
材質	・配管用銅管 ・硬質塩化ビニル管 ◎図示		
・着色亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板			
鋼管製といの防露 ◎標仕表13.5.4による			
防露材のホルムアルデヒドの放散量	◎規制対象外 ・第三種		
掃除	◎有(図示) ・無		

○13-5 罫止め			
◎有 ・無			
14章 金属工事			
・14-1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) (表14.2.1)			
◎表面処理は標仕表14.2.1による。			
種別	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)		
・AB-1種			
・AB-2種			
・AC-1種			
・AC-2種			
・BA-1種			
・BA-2種			
・BB-1種			
・BB-2種			
・BC-1種			
・BC-2種			
・C種			
陽極酸化皮膜の着色方法	◎二次電解着色 ・三次電解着色		
色合い等	・標準色		
	・アンバー ・ブロンズ		
	・ブラック系 ・ステンカラー		
	・特注色( )		

○14-2 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2) (表14.2.2)		
表面処理方法	種別	施工箇所
◎溶融亜鉛めっき	◎A種	外部手摺、設備架台
	・B種	
	・C種	
・電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

○14-3 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4) (表14.4.1)			
野縁等の種類	屋外形(◎25形 ・19形)	屋内形(◎19形 ・25形)	
・屋外の軒天井、ピロティ天井等の工法			
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法			

野縁、野縁受、吊りボルト及びびンサート及び周辺部の間隔		・図示	
補強方法			
吊りボルトの間隔(900mm超)	◎図示		
天井のふところ(1.5m以上3.0m以下)	・標仕14.4.4(8)(7)、(ｲ)による		
天井のふところ(3.0m超)	・図示		
特定天井			
特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件(平成25年国土交通省告示第771号)に基づく工法 ◎適用する ・適用しない			

○4-4 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) (表14.5.1)				
スタッドの高さによる区分に応じた種類				
高さ2.7m以下	高さ4.0m以下	高さ4.0m超、4.5m以下	高さ4.5m超、5.0m以下	5.0m超
◎65形 ◎図示	◎65形	・90形	・100形	・図示

○14-5 金属成形板張り (14.6.2.3) (表14.2.1)					
形状	製法	材質	寸法(mm)	板幅(mm)	表面処理
◎スパンドレル型	◎押出し	◎アルミニウム	◎図示	—	◎B-1種
	・ロール	◎ガルバリウム鋼板			・B-2種
・パネル型	◎プレス				・C-1種
伸縮調整継手 ◎設けない ・設ける(施工箇所は図示による)					

○14-6 アルミニウム製笠木 (14.7.2.3) (表14.2.1) (表14.7.1)				
施工箇所	笠木本体(幅)mm	役付	避雷導体用ジョイントコネクター及びアース接続アングル	付属部品
陸屋根	200、300	◎有 ・無	・有 ◎無	固定金具及びｼﾞｮｲﾝﾄ金具
		・有 ・無	・有 ・無	固定金具及びｼﾞｮｲﾝﾄ金具
		・有 ・無	・有 ・無	固定金具及びｼﾞｮｲﾝﾄ金具

表面処理 ( B-1 ) 種	
固定金具	・図示
・建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法	

15章 左官工事			
◎15-1 モルタル塗り (15.3.2.5)			
防水モルタルの防水剤	製造所	◎評価名簿による	
既製目地材	・設ける	施工箇所( )	形状( )
	・設けない		
モルタル	・現場調査材料・既調査材料( )		
床の目地	・設ける		
	(目地割り ・2㎡程度(最大目地間隔3㎡程度) )		
	(種類 ・押し目地 )		
	・設けない		

・15-2 セルフレベリング材塗り (15.5.2) (表15.5.1)	
・せつこう系 ・セメント系	

・15-3 仕上塗材仕上げ (15.6.2)		
種類	呼び名	仕上げの形状及び工法等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 Si	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材 Si	・ゆず肌状(・吹付け ・ローラー塗り)
	・外装薄塗材 E	・さざ波状
	・可とう形外装薄塗材 E	・平たん状
	・防水形外装薄塗材 E	・凹凸状(・吹付け ・こて塗り)
	・外装薄塗材 S	・着色骨材砂壁状(・吹付け ・こて塗り)
	・内装薄塗材 C	・砂壁状じゅらく
	・内装薄塗材 L	・京壁状じゅらく
	・内装薄塗材 Si	・吸放湿性 ・適用する ・適用しない
	・内装薄塗材 E	
	・内装薄塗材 W	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材 C	・吹放し ・凸部処理
	・外装厚塗材 Si	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし
	・外装厚塗材 E	
	・内装厚塗材 C	吸放湿性 ・適用する ・適用しない
	・内装厚塗材 L	上塗材 ・適用する ・適用しない
	・内装厚塗材 G	
	・内装厚塗材 Si	
	・内装厚塗材 E	
・複層仕上塗材	・複層塗材 CE	・ゆず肌状 ・凸部処理
	・可とう形複層塗材 CE	・凹凸状
	・複層塗材 RE	耐候性 ◎耐候形3種
	・複層塗材 Si	・上塗材
	・複層塗材 E	溶媒 ◎水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系
	・防水形複層塗材 CE	樹脂 ◎アクリル系
	・防水形複層塗材 RE	外観 ◎つやあり ・つやなし ・メタリック
	・防水形複層塗材 E	
	・防水形複層塗材 RS	
・軽量骨材仕上塗材	・吹付け軽量塗材	・砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	・平たん状
建築内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ◎規制対象外 ・第三種		
防火材料の指定 ・屋内の壁及び天井の仕上け材は建築基準法に基づき認定を受けた防火材料とする。		

・15-4 マステック塗材塗り (15.7.2)		
種別	・A種	・B種

・15-5 ロックウール吹付け (15.12.2.3)			
材料及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ◎規制対象外 ・第三種			
種別	色彩	厚さ(mm)	施工箇所
・一般用	・着色 ・原色	・10 ・15 ・20 ・25	

・15-6 ラス系下地 (15.2.4)		
施工箇所	・図示	
ラス系下地のホルムアルデヒド放散量 ◎規制対象外		

・15-7 こまい下地 (15.2.6)		
施工箇所	・図示	

こまい下地のホルムアルデヒド放散量	◎規制対象外
-------------------	--------

・15-8 木ずり下地 (15.2.7)		
施工箇所	・図示	

・15-9 ドロマイトプaster塗り (15.9.1)		
施工箇所	・図示	

・15-10 しっくい塗り (15.10.1)		
施工箇所	・図示	
	色しっくい	・適用する ・適用しない

○15-11 浸透性コンクリート表面強化材仕上		
施工箇所	◎図示	◎シールハード (C-21仕様)
◎コンクリート押えについては騎乗式トロウエルを使用し鏡面仕上げとする。		

16章 建具工事			
・16-1 見本の製作等 (16.1.4)			
建具見本の製作	・行う	・行わない	
特殊な建具の仮組	・行う	・行わない	
・16-2 防犯建物部品 (16.1.6)			
・適用する(・図示 )			

○16-3 アルミニウム製建具 (16.2.2,4,5) (表16.2.1)			
外部に面する建具 ※複層ガラスの引違いの場合は100とする。			
種別	枠見込(mm)	施工箇所	
・A種	◎75	・図示	
◎B種	・	◎図示	
・C種	100	・図示	
・防音ドアセット ・防音サッシ			
遮音性の等級( )			
・断熱ドアセット ・断熱サッシ[G]			
断熱性の等級( )			
・耐震ドアセット			
面内変形追随性の等級( )			
表面処理 種別		◎BB-1 ・BB-2 (・ブロン ・ブラック ・ｽﾌﾟﾝｶｰ)	
屋内建具			
表面処理 種別		◎BB-1 ・BB-2 (・ブロン ・ブラック ・ｽﾌﾟﾝｶｰ)	
結露水の処理方法			
◎図示			
水切り板、ぜん板			
◎図示			
公共住宅のアルミサッシの品質及び性能			
・「品質・性能基準」による			

種類	材質	線径	網目
・防虫網	・合成樹脂製	・0.25mm以上	・16~18メッシュ
	・ガラス繊維入り合成樹脂製	・	・
	・ステンレス(SUS316)製		
・防鳥網	ステンレス(SUS30		



## 益子町既存施設改修及び図書館建設工事 特記仕様書

<b>・19-6 ゴム床タイル (19.2.2)</b>	
種類	・単層 ・複層
色柄	( )
厚さ(mm)	・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm)	( )

**○19-7 カーペット敷きG (19.3.2.3) (表19.3.1)**

種別	バイル形状	色柄	帯電性	糸の種類	工法
・A類	・カットバイル	・無地	◎適用する	・	・ヒートボン
・B類	・ループバイル	・柄物	・適用しない		ド工法
・C類	・カット、ループ併用				
・タフテッドカーペット					

バイル形状	バイル長 (mm)	工法	帯電性	備考
・カットバイル	・5～7	・全面接着工法	・適用する	
・ループバイル	・4～6	・グリッパー工法	( )	
・カット、ループ併用	-		・適用しない	
・タイルカーペット				

バイル形状	種別	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考
◎ループバイル	◎第一種	◎500×500	◎6.5	平場 ◎市松敷き ・模様流し
・カットバイル	・第二種	・	・	階段 ◎模様流し ・市松敷き
・カット、ループ併用				

**・19-8 合成樹脂塗床 (19.4.2.3) (表19.4.4,5)**

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 (弾性ウレタン樹脂系塗床)			◎平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床)		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法	
・薄膜型塗床材 塗料のホルムルデヒド放散量	◎規制対象外		

**・19-9 フローリング張り[G] (19.5.2～6) (表19.5.1～5)**

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	備考
・フローリングボード1等	・ぶな ・なら ・さくら ・いたや	・15 ・12以上	・釘止め工法(根太張り) ・釘止め工法(直張り) ・接着工法	
・フローリングボード1等 (体育館用)				
・フローリングボード1等 複合フローリング張り		・15	・接着工法	303×303

種別	樹種	厚さ (mm)	工法	種別	種別 (住宅)
・天然木化粧複合フローリング張り	・一般用 ・住宅用	◎なら ・		・釘留め工法(根太張り) ・釘留め工法(直張り) ・発泡プラスチック系床下地張り工法 ・乾式遮音二重床下地材張り工法	・A種 ・B種 ・C種 ◎D種
	・体育館用	・18 ・27	・普通張り ◎特殊張り		
ホルムアルデヒドの発散量			◎規制対象外	・第三種	

**・19-10 畳敷き (19.6.2.3) (表19.6.1)**

下地の種類	畳の種類
標仕表12.6.1による床組	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ( )
ポリスチレンフォーム床下地	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ( )
畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする。	

**○19-11 せっこうボードその他ボード及び合板張り (19.7.2.3) (表19.7.1,3,5)**

種類	厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板	・15 ・20 ・25
・普通木毛セメント板	・15 ・20 ・25
・普通木片セメント板	・30
◎不燃木毛セメント板	◎20
◎けい酸カルシウム板	◎タイプ2(無石綿)
◎ロックウール化粧吸音板	◎フラットタイプ(◎9 ・12) (不燃) ・凸凹タイプ(・12 ・15 ・19) (不燃)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	◎フラットタイプ 9 (不燃) ・凸凹タイプ(・12 ・15) (不燃)
◎せっこうボード	◎9.5(準不燃) ◎12.5(不燃)
・不燃積層せっこうボード	・9.5(不燃) ・化粧無 (下地張り用) ・化粧有 (1/4巾・巾模様)
◎シーリングせっこうボード	◎9.5(準不燃) ◎12.5(準不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃) ・15.0(不燃)
・せっこうラスボード	・9.5
・化粧せっこうボード	・9.5(・準不燃 ・不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	・12.5(不燃)幅440程度 模様(◎柱目・板目) 専用下地材付
◎普通合板	表面の材種 生地、透明塗料塗り ◎図示 (◎ラワン程度 ・ ) 不透明塗料塗り (◎しな程度 ・ ) 板面の品質 ( ) 厚さ(mm) ( ) 接着の程度(・1類・2類) ・防虫処理
◎メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による厚さ1.2 ◎図示
・ミッドテンティンバード	・3・7・9・12
◎繊維混入石膏板 (エフジーボード)	◎6.0

・軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材	
・アクリル系シーリング材 ・ジョイントコンパウンド	
工法合板の張り付け	・A種 ◎B種
せっこうボードの目地工法	・目透し(・ペベルエッジ ・スクエアエッジ) ・突付け(・ペベルエッジ ・スクエアエッジ) ◎継目処理

合板類、縦横板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量

◎規制対象外 ・第三種

種類	JISの記号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・25
◎グラスウール吸音ボード32K	GW-B	◎25

**・19-13 壁紙張り (19.8.2.3)**

施工箇所	壁紙の種類				防火性能	備考
	紙	織維 (織物)	プラ (ビニル)	その他 (化学繊維)		
	・	・	・	・	・不燃 ・難燃	・準不燃
	・	・	・	・	・不燃 ・難燃	・準不燃
	・	・	・	・	・不燃 ・難燃	

モルタル、せっこうプラスター面の素地ごしらえ

せっこうボード面の素地ごしらえ

壁紙のホルムアルデヒドの放散量

◎規制対象外 ・第三種

**○19-14 断熱材[G] (19.9.2.3) (表18.2.4,7)**

種類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・	
◎押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	◎図示	◎30	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・	
・フェノールフォーム断熱材	・	・	
断熱材現場発泡工法			
断熱材の種類	・A種 1 ◎A種 1H		
厚さ (mm)	・25 ・30 ◎図示		
施工箇所	◎図示		

断熱材あと張り工法(S1工法等)

種類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等	種類
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材				
・押出法ポリスチレンフォーム保温材 (2種 b)				
・オム保温材 (3種 b)				
(スキンなし)				
・A種硬質ウレタンフォーム保温材				
・フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)				

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂またはメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量

・規制対象外 ・第三種

・19-15 発泡プラスチック系床下地張り工法 (公仕仕 19.10.1.2) (公仕仕様 19.10.1)	施工箇所	厚さ (mm)	下張り用合板厚さ (mm)
・発泡 (基準階以下) (洗面所・脱衣室、和室、物入、押入等を除く。)	・	◎床仕上げ高 100～140	
・発泡 (1階以下) (洗面所・脱衣室、和室、物入、押入等を除く。)		◎床仕上げ高 100～140	
・発泡 (和室以下)	・		

・19-16 乾式遮音二重床下地張り工法 (公仕仕 19.11.1) (公仕仕様 19.11.1,2)	施工箇所	下張用合板の有無	パーティクルボードの厚さ (mm)	下張り用合板厚さ (mm)
・乾式 (基準階以下) (洗面所・脱衣室、物入、押入等を除く。)	・	・有 ・無	・25 以上 ・20	・5.5 以上 ・12 以上
・乾式 (1階以下) (洗面所・脱衣室、和室、物入、押入等を除く。)	・	・有 ・無	・25 以上 ・20	・5.5 以上 ・12 以上
・乾式 (1階以下)	・	・有 ・無	・25 以上 ・20	・5.5 以上 ・12 以上

**・19-17 内装プレハブ工法 (公仕仕 19.12.2)**

内装プレハブの採用

鋼板の表面処理

20章 ユニット及びその他工事					
○20-1 フリーアクセスフロア (20.2.2)					
施工箇所	構法	設定高さ (mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能 (N/㎡)	表面仕上げ材
事務室 事務コーナー	◎パネル構法 ・溝工法	◎75 ・	・1.0G ◎0.6G	◎3,000 ・5,000	・帯電防止ビニル床タイル ◎タイルカーペット

表面仕上げ材の品質・規格等は、標仕19章内装工事による。

配線用取出しパネル 配線取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1カ力以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ◎20～30％
空調用吹き出しパネル ◎無・有 (◎固定式 ・可変式：施工箇所は図示)
製造所：評価名簿による

・20-2 可動間仕切 (20.2.3)					
構造形式	パネル部の厚さ (mm)	表面材種 厚さ (mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	・	・鋼板 (・0.6 ・0.8)	・メラミン樹脂またはアクリル樹脂焼付け	・有 ( ) ・無	・有 ・無
品質 JIS A 6512によるものまたは評価名簿による。 パネル材のホルムアルデヒド放射量					・規制対象外

・20-3 移動間仕切 (20.2.4)				
遮音性能による区分	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		・鋼板	・焼付塗装	・手動式 ・電動式

	・	・壁紙張り	・部分電動式
・遮音タイプ (36db以上)	・鋼板	・焼付塗装	・手動式 ・電動式
表面仕上げの壁紙張りの品質は標仕19章内装工事による。	・	・壁紙張り	・部分電動式
製造所：評価名簿による			

**○20-4 トイレブース (20.2.5)**

表面仕上げ材

◎メラミン樹脂系化粧板 (標準色アルミ製コーナーエッジ付き)

・ポリエステル樹脂系化粧板

足形状

◎幅木型 ・足金物型

製造所：監督職員の承諾する製造所による

パネル材のホルムアルデヒド放射量

◎規制対象外

**○20-5 手すり及びタラップ (20.2.6,12)**

◎手すり

・アルミニウム製 (表面処理 )

・ステンレス SUS304 (表面処理 )

◎鋼製 (表面処理：溶融亜鉛メッキ)

◎ステンレス SUS304

**○20-6 階段滑り止め (20.2.7)**

材種

・ステンレス (SUS304) ◎アルミ

◎ビニールタイヤ入り両端フラットエンド

◎有(◎ビニル製 ・ステンレス製) ・無

◎約35

取付工法

◎接着＋ビス留 ・埋込み工法

**○20-7 階段手すり**

種別	施工箇所
◎図示	
・ビニル製ハンドレール (幅：約40mm)	

**・20-8 黒板及びホワイトボード[G] (20.2.9)**

種類	寸法	色彩	備考
・黒板	・焼付け	・緑 ・黒	・平面 ・曲面 ・スクリーン付引分
		・緑 ・黒	・平面 ・曲面 ・スクリーン付引分
・ホワイトボード	・ほうろう	・白	・平面 ・曲面 ・スクリーン付引分
		・白	・平面 ・曲面 ・スクリーン付引分

**○20-9 鏡 (20.2.10)**

厚さ

◎5mm

**○20-10 表示 (20.2.11)**

区分	材質	取付位置
◎衝突防止表示	・ステンレス製 ◎図示	◎図示
・室名札	・アクリル板	・図示
・	・	・

誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とする。

表示標識は図示による。ただし、案内用図記号はJISZ8210による。

製造所：監督職員の承諾する製造所

**・20-11 煙突用成型ライニング材 (20.2.13)**

最高使用温度 650℃

製造所：評価名簿による

**・20-12 キャスタブル耐火材 (20.2.13)**

工法

・こて押さえ

最高使用温度

・400℃

製造所：監督職員の承諾する製造所

**・20-13 ブラインド (20.2.14)**

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス、レールの材質
・横型	・手動	・ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製G	・25 ・35	・鋼製
	・電動	—	・		
・縦型	・手動	・2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製
	・電動	—	・		

**○20-14 ロールスクリーン[G] (20.2.15)**

防火性能

◎有 ・無

操作方式

・スプリング式 ◎チェーン式 ・電動式

スクリーンの材質

◎ポリエステル ・綿

・20-15 カーテン (20.2.16)						
施工箇所	形式			開閉装置		
	シングル	ダブル	片引 引分	電動	ひも	手引

**・20-16 カーテンレール (20.2.16)**

材種

・ステンレス製 ・アルミニウム製

形式

・片開き ・引き分け (暗幕用は300mm以上の召合わせの重掛けとする)

・シングル ・ダブル

断面形状

・C型 ・D型 ・角型

**・20-17 耐震スリット**

方向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向	・完全 (全貫通型) スリット	・耐火型	・有
・水平方向		・非耐火型	・無

目地	内壁 (幅×高さ)	外壁 (幅×高さ)
・垂直方向	シーリング材 (見え掛りのみ)	シーリング材 (内外とも)
・水平方向	・20×10	・20×10
目地材の材質は標仕9.7.1による。		

<b>・20-18 止水板</b>	
形状	・据置式 ・壁張り式 ・差込式
寸法	
製造所	

**○20-19 天井点検口**

材質 アルミニウム製 (◎縦線タイプ ・目地タイプ) ◎図示

製造所：評価名簿による

**○20-20 床点検口**

材質 アルミニウム製 (受け枠 ・アルミ製 ・ステンレス製) ◎図示

製造所：評価名簿による

**○20-21 かざ箱**

市販品 形式

・30組用 ◎60組用 ・120組用 ・200組用

**・20-22 かつふきマット**

市販品 材質

・塩化ビニル製 (コイル状ステンレス製受枠)

・硬質アルミニウム製 (受枠とも)

・ビニル製 (ステンレス製受枠)

## 益子町既存施設改修及び図書館建設工事 特記仕様書

### 2 1 章 排水工事

<b>O21-1 排水管 (21. 2. 1. 2) (表 21. 2. 1. 2)</b>		
配水管用材料		
材種	管の種類	管形状 (接合方法)
・透心力鉄筋コンクリート管	・外圧管 (1種 2種)	B形 (ゴム接合)
◎硬質塩化ビニル管	◎VPVU・	
・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管	・RS-VP[G]	
車道部の配水管の敷設 ◎図示		
現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度◎18N/mm2		
現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ◎SD295		
	材質	・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層の厚さ	・図示	
凍上抑制層に用いる材料		
砂の粒度試験	・行う	◎行わない

<b>O21-2 排水柵及びふた (21. 2. 1)</b>					
鉄製製マンホールふた					
種類		適用荷重			
・水封形		・T-2用			
・簡易密閉形 (パッキン式)		・T-6用			
・密閉形 (ターバ・パッキン式)		・T-14用			
・中ふた付き密閉形 (ターバ・パッキン式)		・T-20用			
・RS-VU[G]		◎T-25用			
製造所：評価名簿による					
グレーチングふた					
材質	形式	用途	適用荷重	イ/ハ・ビ/フ	上面形状
◎鋼製	◎受枠付き	・溝ふた用	◎歩行用	◎細目	・凹凸形
・ステンレス製	・	◎柵ふた用	◎T-2用	◎普通目	◎平形
	・ボルト固定	◎かさ上げ用	・T-6用	◎細目	・
	◎無	・U字溝用	・T-14用		
	・図示		・T-20用		
			◎T-25用		
製造所：評価名簿による					

<b>O21-3 埋戻し土 (21. 2. 1)</b>	
◎B種 (標仕表 3. 2. 1)	

### 2 2 章 舗装工事

<b>O22-1 盛り土に用いる材料 (22. 2. 3)</b>			
・A種	◎B種	・C種	・D種

<b>・22-2 凍上抑制層の材料 (22. 2. 3)</b>			
・再生クラッシャーランG	・クラッシャーラン	・切込み砂利	・砂

<b>・22-3 路床安定処理材料 (22. 2. 3) (表 22. 2. 1)</b>			
・添加材料による安定処理			
種類	・普通ポルトランドセメント	・フライアッシュセメントB種	
	・生石灰 ( )	・消石灰 ( )	
添加量	・ kg/m3 (目標CBR	・5以上	・ )

<b>・22-4 試験 (22. 2. 5)</b>			
路床土の支持力比 (CBR) 試験	・行う (・乱した土	・乱さない土)	・行わない
路床締固め度の試験	・行う		・行わない
砂の粒度試験	・行う		・行わない
現場CBR試験	・行う		・行わない
セメント及びセメント系固化剤を使用した路床安定処理を行った場合の六価クロム溶出試験			
・行う 「セメント及びセメント系固化剤を使用した六価クロム溶出試験要領(案)」による。			

<b>O22-5 路盤材料 (22. 3. 2. 3, 5) (表 22. 3. 1)</b>	
◎再生クラッシャーラン (RC-40) [G]	
・クラッシャーラン鉄鋼スラグ (CS-40) [G]	
・クラッシャーラン (C-40)	
透水性アスファルト舗装に用いる場合は透水性の高いもの	

<b>O22-6 路盤の締め固め度試験 (22. 3. 5)</b>	
◎行う	

<b>O22-7 アスファルト舗装 (22. 4. 2~6) (表 22. 4. 4)</b>			
車道部の基層	◎無		
アスファルト	◎再生アスファルト[G]	・ストレートアスファルト	
・加熱アスファルト混合物の種類			
区分	・一般地域	・寒冷地域	
表層	・密粒度7.5mm混合物 (13)	・密粒度7.5mm混合物 (13F)	
	・細粒度7.5mm混合物 (13)	・細粒度7.5mm混合物 (13F)	
・アスファルト混合物の抽出試験	・行わない	・行う	

<b>22-8 コンクリート舗装 (22. 5. 2~4, 6) (表 22. 5. 1, 3)</b>			
コンクリート			
・普通コンクリート、標仕表 22. 5. 1による			
・普通コンクリートではない場合は下記による			
コンクリートの種類			
設計基準強度	・		
所定のスランブ	・ 8	・	
粗骨材の最大寸法	・		
早強ポルトランドセメント	・使用する	・使用しない	
注入目地材料	・低弾性タイプ	・高弾性タイプ	
溶接金網	・有	・無	
厚さ試験	・行わない	・行う	

<b>・22-9 カラー舗装 (22. 6. 2~4)</b>				
・加熱系カラー舗装				
材料	区分	車道部の基層 (mm)	厚さ	
・有機骨材 (焼成)	・自然石	・車道・歩道	・なし	・あり
・着色骨材 (樹脂皮膜)				
・常温系カラー舗装				
工法	・ニート工法	・塗布工法		
着色部の下部	・アスファルト舗装	・コンクリート舗装		

<b>・22-10 透水性アスファルト舗装</b>			
アスファルト混合物等の抽出試験	・行う	・行わない	

<b>・22-11 ブロック系舗装 (22. 8. 2, 3)</b>			
・コンクリート平板舗装 [G]			
種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材
・普通平板 (N)	・透水平板 (P)	・300角	・砂
・保水性平板 (M)		・60	・モルタル
クッション材 ◎砂	・空練りモルタル		
製造所：監督職員の承諾する製造所			
・インターロッキングブロック舗装 [G]			

種類	厚さ (mm)	色彩及び表面加工等
・標準ブロック (N)	車道部	◎標準品
・透水性ブロック (P)	歩道部	・60
・誘導、注意喚起用ブロック		
・植生ブロック (V)	・80	・100
・鋪石舗装 (歩行者用通路) の構成及び厚さ	・図示	

種類	厚さ (mm)	施工方法	基層
・小鋪石 (花こう岩)	・80~100	・うるこ張り	・コンクリート版
		・	・アスファルト混合物

<b>O22-12 路面標示用塗料</b>						
路面標示用塗料は JIS K 5665 による。						
種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	揮発性有機溶剤の含有率
・3種1号	溶融	粉体状	◎白	・150	◎1. 0	塗料総質量に対して5%以下
・1種[G]	常温	液状	・	◎100		
◎2種[G]	加熱					

### 2 3 章 植栽及び屋上緑化工事

<b>O23-1 樹木の植栽基礎整備 (23. 2. 2, 4)</b>				
◎行う				
樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	工法	整備範囲	
・12m以上	・100	・A種	・葉張りの範囲	
・7m超~12m未満	・80	・B種	ただし、低木は植栽範囲	
◎3m超~7m未満	◎60	◎C種	◎図示	
・3m未満	・50	・D種		
◎芝、地被類	・20	◎B種	◎植栽範囲	・図示
工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤まで補込み用土で盛土を行う。				

<b>O23-2 補込み用土 (23. 2. 3)</b>		
土壌改良材の適用		
◎適用する	・バーク堆肥[G] (50リットル/m <sup>3</sup> ) または発酵汚泥コンポスト (10リットル/m <sup>3</sup> )	
施工箇所	・植栽範囲	◎図示

<b>O23-3 支柱材 (23. 3. 2, 3)</b>		
・杉の丸太 (間伐材) [G]	・真竹 (良質な2年生以上)	◎図示

<b>・23-4 幹巻き用材料 (23. 3. 2)</b>		
材料	・幹巻き用テープ	・わら及びこも

<b>・23-5 芝張り (23. 4. 2, 3)</b>			
種類	・こうらい芝	・野芝	
工法	・目地張り	・べた張り	

<b>・23-6 屋上緑化[G] (23. 5. 2~4)</b>			
基礎及び材料			
・屋上緑化システム			
土壌層の厚さ	・図示		
排水層	・軽量骨材 (層の厚さ： )	・	・板状成型品
補込み用土	・改良土	・人工軽量土	
透水層、保水層及び排水層	・		
・屋上緑化軽量システム			
樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類等	・図示	・	
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等	・図示	・	
工法			
支柱	・設置する (形式	・図示	・ )
かん水装置	・設置する (種類	・図示	・ )

<b>・23-7 ウォール・擁壁 (公仕仕 23. 6. 2)</b>				
調査支持力試験	・行う (方法： )	・行わない		
石の種類				
施工箇所	品質	種類・産地・名称	厚さ (mm)	備考
種類	・現場打ち擁壁	・ブロック擁壁	・ブロック (張) 擁壁	
	・石積 (張) 擁壁	・その他擁壁 (・レンガウォール	・タイルウォール	・コンクリートブロックウォール)

<b>・23-8 欄 (公仕仕 23. 9. 2)</b>			
・パイ 欄			
・柵フェンス (種類・図示、寸法・図示)			
・焼丸太 (材質	◎杉	◎桧	・ )

<b>・23-9 自転車置き場ユニット (公仕仕 23. 10. 2)</b>			
公共住宅の品質及び性能 (・「品質・性能基準」による	・ )		
収容台数 (・ 台)			

<b>・23-10 物置ユニット (公仕仕 23. 10. 3)</b>				
材質	寸法	形状	備考	
	・図示	・	・図示	・

### 2 4 章 PC工法による工事

<b>・24-1 セメントの種類 (公仕仕 24. 2. 1)</b>			
・普通ポルトランドセメント	・早強ポルトランドセメント	・混合セメントのA種	・

<b>・24-2 混和材料 (公仕仕 24. 2. 4)</b>				
混和剤	・AE剤	・減水剤	・AE減水剤	・高性能減水剤
	・高性能AE減水剤	・流動化剤		
混和材	・フライアッシュ	・高炉スラグ微粉末	・シリカフーム	・膨張材

<b>・24-3 鉄筋 (公仕仕 24. 2. 5)</b>			
規格	種類の記号	使用箇所	呼び名 (mm)
鉄筋コンクリート用棒	・SD295A		・D16以下
鋼 (異形鉄筋)	・SD345		・D19以上
	・		

<b>・24-4 鋼材 (公仕仕 24. 2. 5)</b>			
種類の記号	使用箇所	規格等	
		・JIS規格による	
		・JIS規格による	

<b>・24-5 接合用金物 (公仕仕 24. 2. 6)</b>				
仕上がり形状	・図示	・寸法	・図示	・

<b>・24-6 コンクリートの種類 (公仕仕 24. 3. 2)</b>			
・普通コンクリート	・軽量コンクリート1種	・軽量コンクリート2種	
設計基準強度 Fc (N/mm2)	水セメント比	スランブ	
	・55%以下	・12cm以下	
かぶり厚さ			
非耐力壁・床・屋根 (cm)	耐力壁・柱・梁 (cm)		
・20	・30		

<b>・24-7 溶接接合 (公仕仕 24. 6. 6)</b>			
添えプレートの材質	・		
フレアグループ溶接の余盛 (mm)	・		
超音波探傷試験	・行う	・行わない	

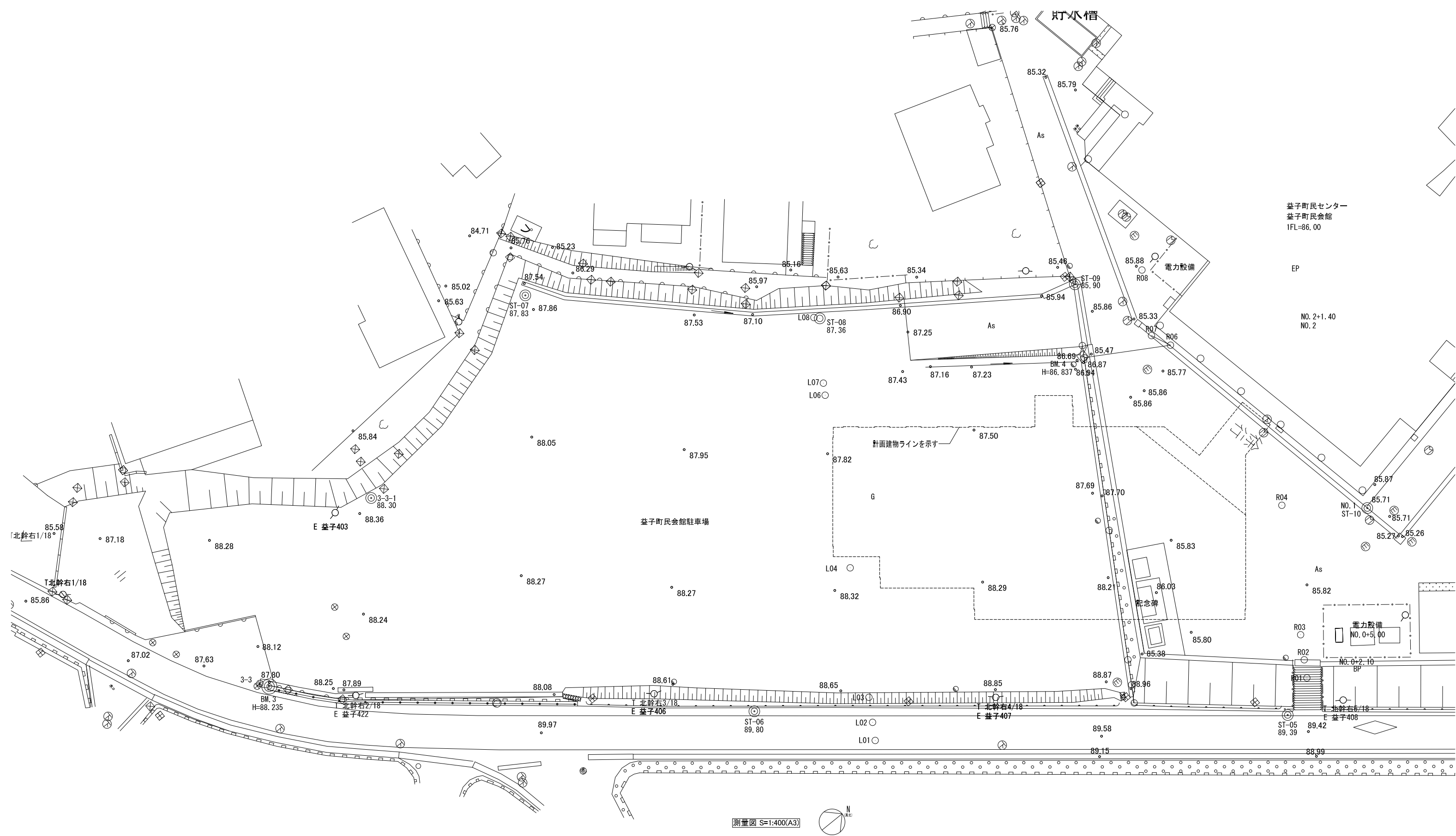
<b>・24-8 スリーブ接合 (公仕仕 24. 7. 1)</b>			
材料	・		
施工方法	・		
検査	・行う (方法： 判定基準： )	・行わない	

<b>・24-9 狭小部充填コンクリート (公仕仕 24. 9. 1)</b>			
コンクリートの設計基準強度			
Fc (N/mm2) (P C部材の設計基準強度以上とする)			

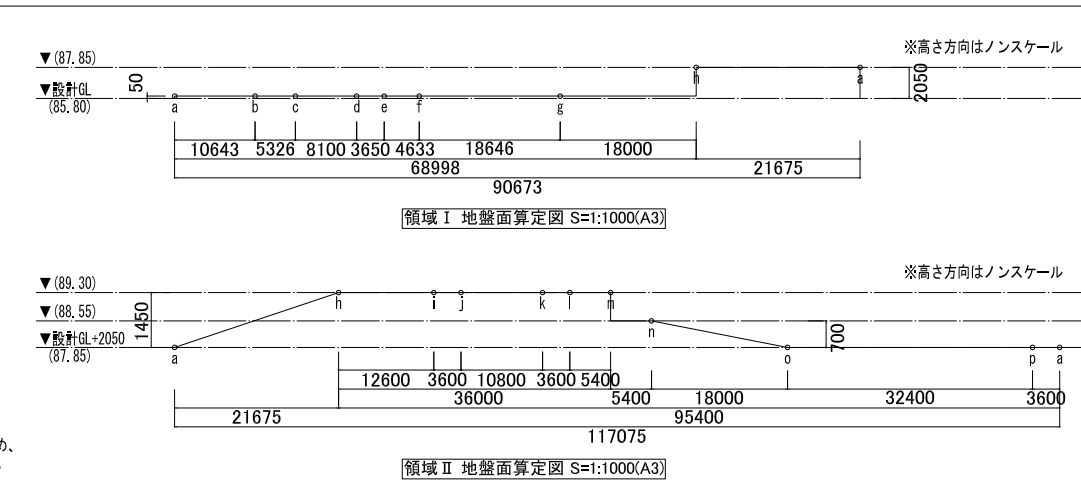
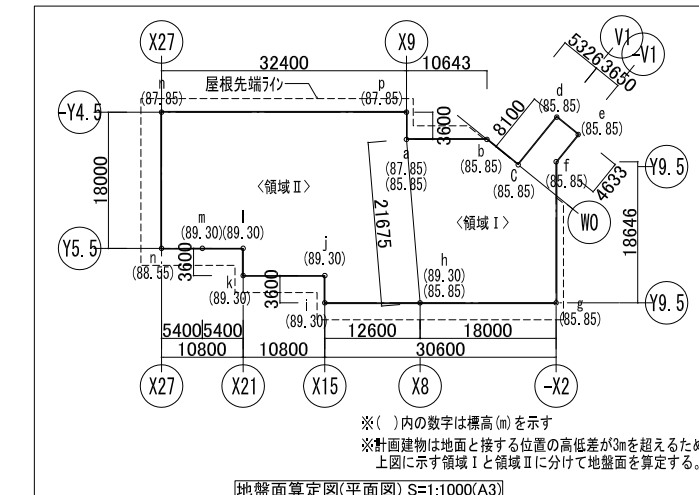
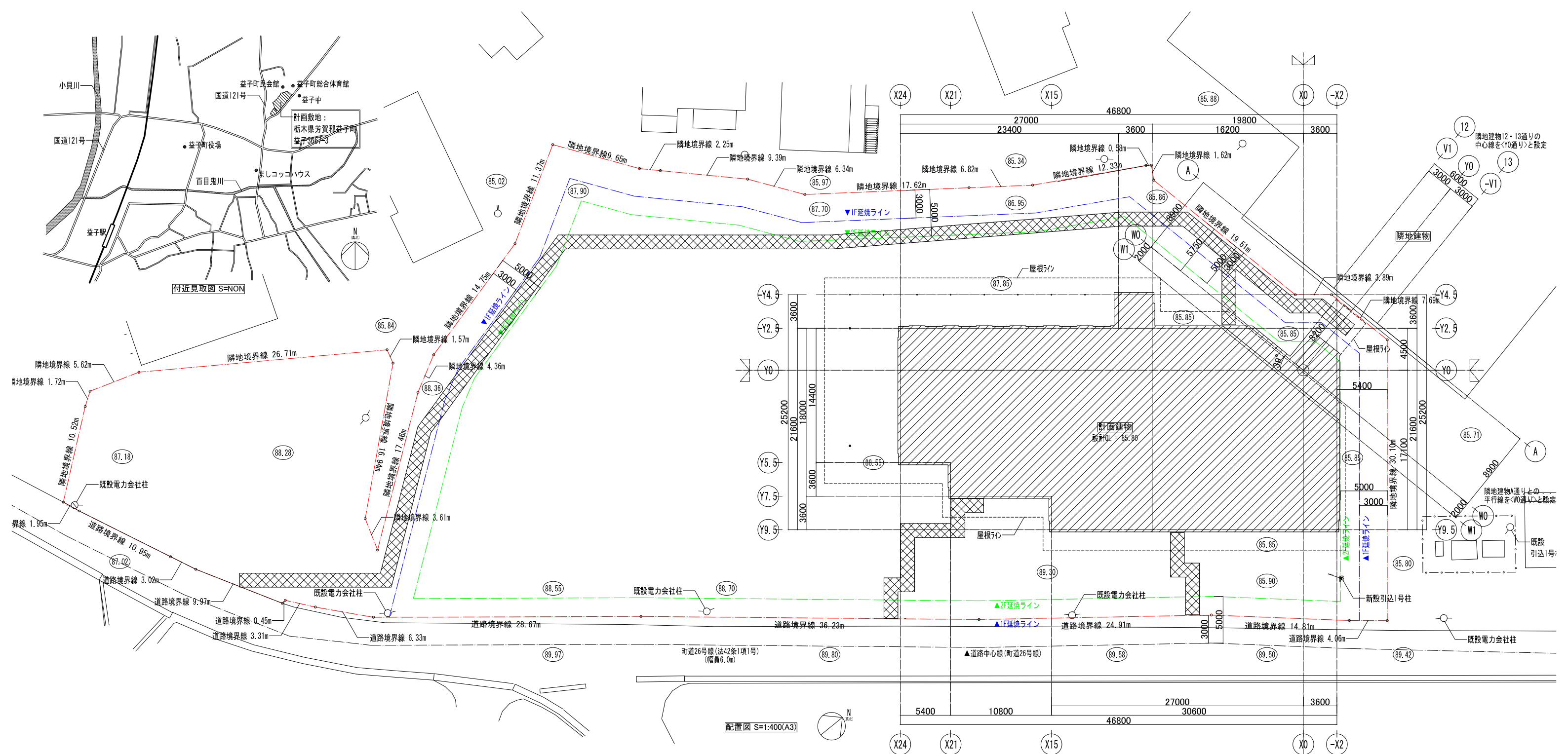
<b>・24-10 敷きモルタルの圧縮強度 (公仕仕 24. 10. 1)</b>			
敷きモルタルの圧縮強度			
Fc (N/mm2) (P C部材の設計基準強度以上とする)			

別表—1					
工事内容	建築工事	電気設備工事	機械設備工事	別途工事	●印を適用する
工事上の各種申請届出 (費用を含む)	●	●	●		
工事用電気・上下水道・電話引込工事 (負担金含む)	●	●	●		
工事用電気・上下水道・電話料金 (基本料金含む)	●	●	●		
受電通水後竣工引渡し迄の電気・上下水道使用料金	●	●	●		
同上の基本料金	●	●	●		
電話本設引込工事 (配管のみ電気設備工事)				●	
電波障害対策工事				●	
工事中の消防計画の作成	●	●	●		
梁・壁・床の開口、貫通、埋込部のスリーブ・型枠 (電気、機械の配管等)		●	●		
すべての開口、貫通、埋込部の補強	●				
屋内及び屋外に設置する機器の基礎 (電気及び機械機器)	●	●	●		
天井・壁 (軽量鉄骨下地) に付く機器の位置・墨出し		●	●		
天井・壁 (軽量鉄骨下地) に付く機器の開口部補強を要しない場合の切込み		●	●		
天井・壁 (軽量鉄骨下地) に付く機器の開口部補強を要する場合の切込み	●				
天井・壁 (軽量鉄骨下地) に付く機器の開口部補強	●				
天井換気扇の取付		●	●		
点検口の取付 (床・壁・天井・PS等)	●				
床仕上げ材の穴あけ	●	●	●		
ルーフトレイン及び縦どい (柵及び側溝までの配管)	●	●	●		
自動扉、電動排煙窓等2次側配線	●	●			
機械設備の制御、操作盤への電源供給制御		●			
機械設備の制御、操作盤の2次側配線 (配管のみ電気設備工事)		●	●		
造り付け流し台	●				
造り付け流し台排水トラップ			●		
昇降機の出入口開口の型枠	●				
昇降機の乗場ボタン、インジケーター配管用スリーブ及び型枠	●				
昇降機のビット内保守用コンセント		●			
デジタルサイネージ				●	
下水道負担金				●	
同上申請、手続き				●	
水道メーターまでの一次側水道引込工事				●	
水道加入金				●	
同上申請、手続き				●	
電力設備申請手続き		●			
情報通信引込設備工事 (配管のみ電気設備工事)			●		
構内情報通信網設備 (配線配管、HUB含む)			●		
構内交換設備工事				●	
構内交換設備工事 (配管のみ)			●		
機械整備工事				●	
機械整備工事 (配管のみ)			●		
消火器 Box	●				
消火器 (設置届含む)				●	
道路法第 24 条による工事 (道路工事施行承認申請書) ガードレール撤去	●				

部 位	メーカー：品名・品種・品番
床セラミックタイル	sangetsu セラミックタイル Norway Stone
益子焼タイル張り、陶版壁画デザイン張り	有限会社 藤原郁三陶房
軒天 (厚 S. 0 化粧スラグセッコウ板)	ニチハ株式会社 軒天 S 無孔板
軒樋 (南東側)	タニタハウジングウェア HACO GH12号 クサリトイ ensui
軒樋 (北西側)	デンカアステック株式会社 軒とい B タイプ
アルミスバンドレル	RIKEN RA-10-4
人工木デッキ	アートウッド 無垢デッキ材 Eee-Deck (イーデッキ)
浸透性コンクリート表面強化材	シーゲイト株式会社 シールハード C-21 仕様
上記部分コンクリート押え工事	フロアエージェント
アルミ入巾木	株式会社アシスト Verta H251
階段ノンスリップ (内部)	株式会社アシスト 15-GA37
鋼製グレーチング (電気ヒーター用)	株式会社中部コーポレーション 縮目 CXGHA319S-1. 5
点字紙	ナカ工業 NSH316 ステンレスタイプ(フラット) (ドットパターン)
内部床シーリング	SUNSTAR ベンギンシール PU979 土間目地専用
複層ビニル床タイル (多目的 WC)	東リ株式会社 イークリン NW-EX ナチュラルホワイトオーク
モザイクタイル	LIXIL ビケットマーブル
コンクリート打放仕上げ 撥水材塗布	エスケー化研：セラミクリート F
木材保護塗装 (内部) (木製書架)	オスモ&エーデル：オスモカラー 植物油ベース自然塗料 ウッドワックス
木材保護塗装 (外部)	大阪ガスケミカル株式会社 キシラデコール
郵便ポスト	ナスタ：KS-MW3309S0 ×D302×H590 前入前出(受付)、ステンレス HL、鍵付



 <b>株式会社 三上建築事務所</b> <small>一級建築士事務所(茨城県)知事 登録第A0100号(0504) 茨城県水戸市大町三丁目4番36号</small>	<small>一級建築士登録 234778号</small> <b>益子一彦</b> <small>当該図書の設計者 一級建築士登録 325985号</small> <b>富田 武俊</b>	<small>第18版 2023.04改訂</small>	<small>作図履歴</small> <small>日付 作成者 概要</small> 251103 建築設計グループ小堀 作図 251203 技術監理室・石井 積算前検図 260309 技術監理室・石井 出図前検図	<small>検図履歴</small> <small>日付 検図者 概要</small> 251203 技術監理室・石井 積算前検図 260309 技術監理室・石井 出図前検図	<small>承認</small> <small>部長 技術監理室室長 設計室室長 P L 担当者</small>	<small>作図</small> <small>作図担当者</small>	<small>業務No. 24-09 設計年月 2026.02</small> <small>工事名称</small> <b>益子町既存施設改修及び図書館建設工事</b> <small>図面名称</small> <b>測量図</b>	<small>図番</small> <b>確認(意匠)-01</b> <b>A-01</b>
		<small>縮尺</small> A3=1:400						



※高さ方向はノンスケール

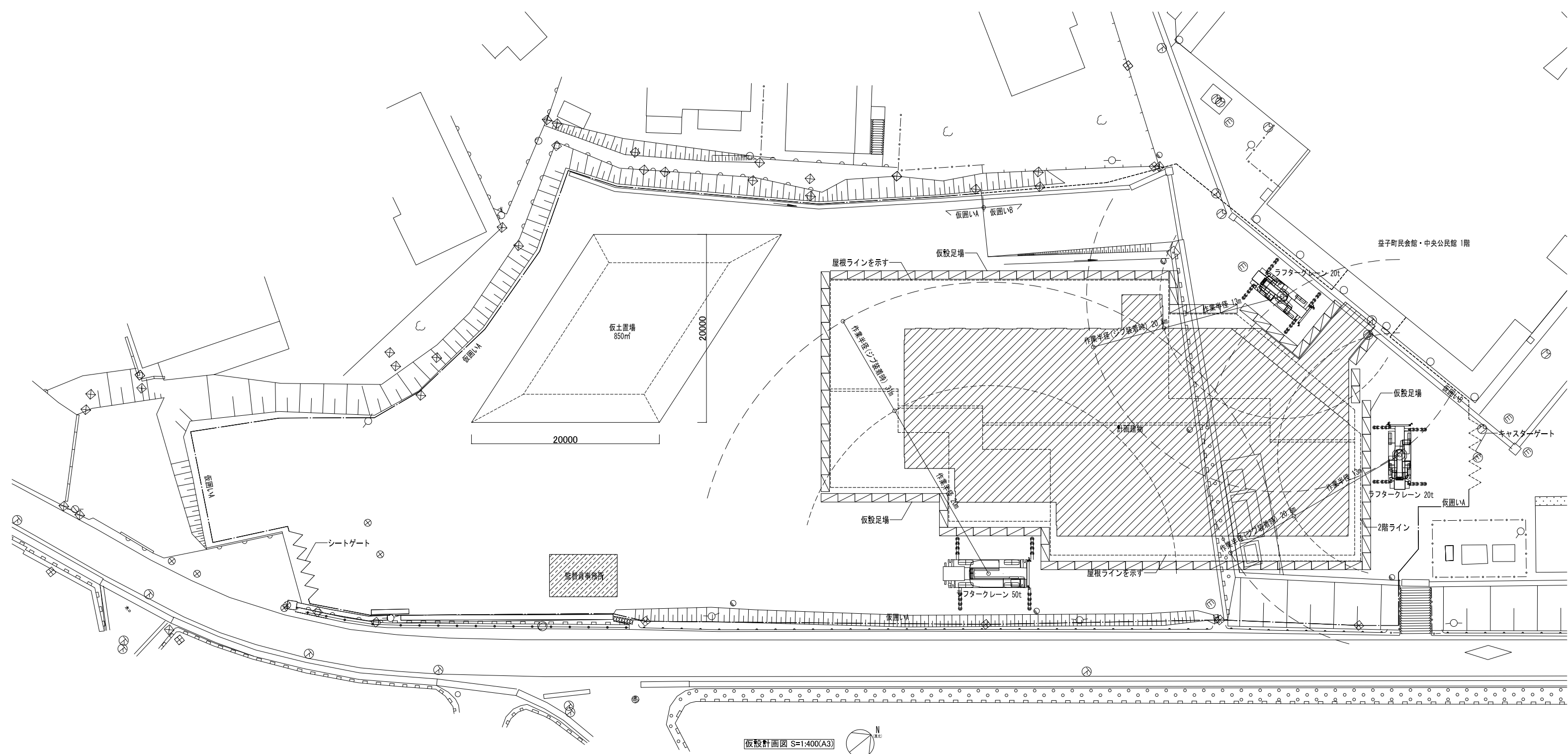
**領域Ⅰ 地盤面計算式**  
 $(68998 \times 50 + 21675 \times 2050) \div 90673$   
 $= 47883650 \div 90673$   
 $= 528$   
 ∴ 領域Ⅰ 地盤面 = 敷計GL + 528

**領域Ⅱ 地盤面計算式**  
 $(21675 \times 1450 \times 1/2 + 36000 \times 1450 + 5400 \times 700 + 18000 \times 700 \times 1/2) \div 117075$   
 $= 7794375 \div 117075$   
 $= 666$   
 ∴ 領域Ⅱ 地盤面 = (敷計GL + 2050) + 604  
 $= 敷計GL + 2654$

**平均地盤面算定式**  
 領域Ⅰ:  $68998 \times 50 = 3449900$   
 領域Ⅱ:  $36000 \times 1450 + 5400 \times 700 + 18000 \times 700 \times 1/2 + 95400 \times 2050 = 257850000$   
 $(257850000 + 3449900) \div (68998 + 95400)$   
 $= 261299900 \div 164398$   
 $= 1589$   
 ∴ 平均地盤面 = 敷計GL + 1589

敷地概要		凡例	
地名地番	栃木県芳賀郡益子町益子3667-3		計画建物
敷地面積	5294.65㎡		敷地内通路(令128条) W1500
用途地域	第一種住居地域 / 非線引き都市計画区域		敷地レベル
防火・準防火地域、22条区域	22条区域内		
指定建蔽率 / 指定容積率	60% / 200%		

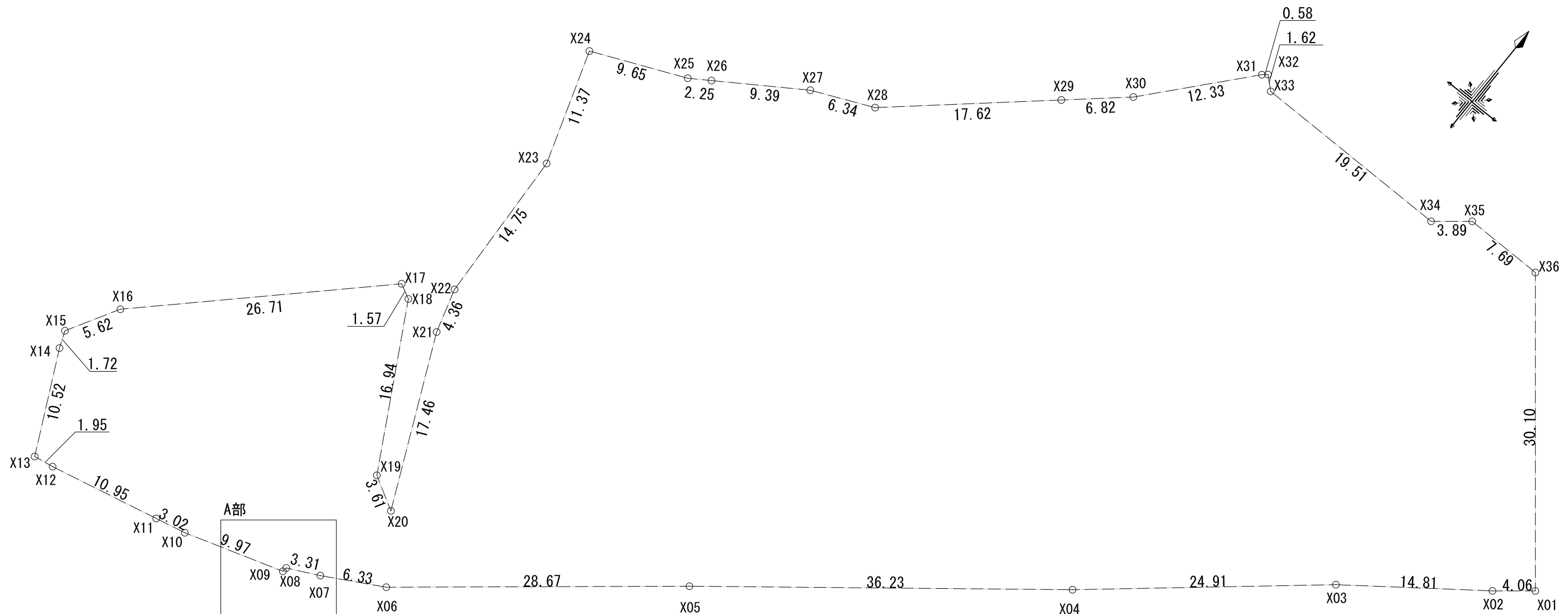
<b>株式会社 三上建築事務所</b> <small>一級建築士事務所(茨城県)知事 登録第A0100号(0504) 茨城県水戸市大町二丁目4番36号</small>	<small>一級建築士登録 234778号</small> <b>益子一彦</b> <small>当該図書の設計者 一級建築士登録 325985号</small> <b>富田武俊</b>	<small>第18版 2023.04改訂</small> <small>作成履歴</small> <small>日付 作成者 概要</small> 251103 建築設計グループ小堀 作図 <small>検図履歴</small> <small>日付 検図者 概要</small> 251203 技術監理室・石井 積算前検図 260309 技術監理室・石井 出前検図	<small>承認</small> <small>部長 技術監理室室長 設計室室長 P.L. 担当者</small>	<small>業務No. 24-09 設計年月 2026.02</small> <small>工事名称</small> <b>益子町既存施設改修及び図書館建設工事</b> <small>図面名称</small> <b>配置図・付近見取図</b>	<small>図番</small> <b>確認(意匠)-02</b> <b>A-02</b> <small>縮尺 A3=1:400</small>
		<small>一級建築士事務所(茨城県)知事 登録第A0100号(0504) 茨城県水戸市大町二丁目4番36号</small>		<small>業務No. 24-09 設計年月 2026.02</small> <small>工事名称</small> <b>益子町既存施設改修及び図書館建設工事</b> <small>図面名称</small> <b>配置図・付近見取図</b>	



凡例	名称	内容	備考
	計画建物	-	-
	監督員事務所	W7200xD4500 程度	-
	仮囲い A	H=2000 フラットパネル	L=256.17m
	仮囲い B	H=1800 ガードフェンス + 目隠しネット張り	L=60.43m
	シートゲート	W7200xD4500 (メイン入口)	-
	キャスターゲート	W4500xD1800	-

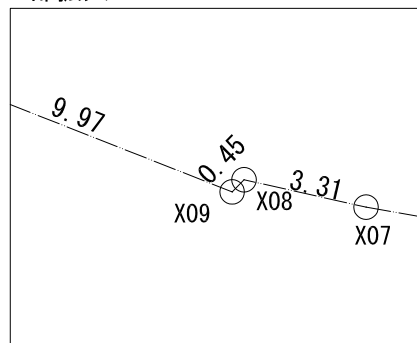
【特記事項】  
 ※周辺道路の舗装については現状維持とすること。破損した場合については現状復旧すること。  
 ※各工事の搬入搬出時は、近隣の通学・通勤時間帯に十分留意すること。  
 ※工事着手に当たり、所轄消防へ確認し、必要な申請・届出等を適宜行うこと。  
 ※大型車両の出入りの際には、交通誘導員を配置すること。  
 ※仮設計画については、監督員と十分な協議の上、仮設計画図を作成し、承諾を得た後、施工を行うこと。  
 ※10人程度が打合せを出来るスペースを確保すること。

<b>株式会社 三上建築事務所</b> <small>一級建築士事務所(茨城県)知事 登録第A0100号(0504) 茨城県水戸市大町三丁目4番36号</small>	<small>第18版 2023.04改訂</small> <small>一級建築士登録 234778号</small> <b>益子一彦</b> <small>当該図書の設計者 一級建築士登録 325985号</small> <b>富田 武俊</b>	<small>作図履歴</small> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>日付</th> <th>作図者</th> <th>概要</th> </tr> <tr> <td>251103</td> <td>建築設計グループ・小堀</td> <td>作図</td> </tr> </table>	日付	作図者	概要	251103	建築設計グループ・小堀	作図	<small>検図履歴</small> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>日付</th> <th>検図者</th> <th>概要</th> </tr> <tr> <td>251203</td> <td>技術監理室・石井</td> <td>積算前検図</td> </tr> <tr> <td>260309</td> <td>技術監理室・石井</td> <td>出荷前検図</td> </tr> </table>	日付	検図者	概要	251203	技術監理室・石井	積算前検図	260309	技術監理室・石井	出荷前検図	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>承認</th> <th>検図</th> <th>確認</th> <th>作図</th> </tr> <tr> <td>部長</td> <td>技術監理室室長</td> <td>設計室室長</td> <td>P.L.</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>担当者</td> </tr> </table>	承認	検図	確認	作図	部長	技術監理室室長	設計室室長	P.L.				担当者	<small>業務No. 24-09 設計年月 2026.02</small> <small>工事名称</small> <b>益子町既存施設改修及び図書館建設工事</b> <small>図面名称</small> <b>仮設計画図</b>	<small>図番</small> <b>A-03</b> <small>縮尺 A3=1:400</small>
	日付	作図者	概要																														
251103	建築設計グループ・小堀	作図																															
日付	検図者	概要																															
251203	技術監理室・石井	積算前検図																															
260309	技術監理室・石井	出荷前検図																															
承認	検図	確認	作図																														
部長	技術監理室室長	設計室室長	P.L.																														
			担当者																														



敷地求積図 S=1:400(A3)

A部拡大



座標求積表

地番	開発区域	測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離
X01			95.572	191.640	-5766.7792386	4.06
X02			95.580	187.578	111.8449646	14.81
X03			96.168	172.777	19.0075340	24.91
X04			95.690	147.871	-21.7582857	36.23
X05			96.021	111.644	26.4471742	28.67
X06			95.927	82.975	83.2373195	6.33
X07			97.024	76.745	139.8555082	3.31
X08			97.749	73.518	29.7297889	0.45
X09			97.429	73.202	243.6860010	9.97
X10			101.078	63.925	319.4026714	3.02
X11			102.425	61.226	382.3550563	10.95
X12			107.323	51.428	300.8977854	1.95
X13			108.276	49.732	557.2166639	10.52
X14			118.527	52.079	619.2342001	1.72
X15			120.166	52.593	193.1338091	5.62
X16			122.199	57.833	256.7257186	26.71
X17			124.605	84.430	82.2933069	1.57
X18			123.174	85.067	-1540.1745241	16.94
X19			106.500	82.087	-1644.5248990	3.61
X20			103.140	83.416	1130.4949974	17.46

地番	開発区域	測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離
X21			120.053	87.742	1836.2081143	4.36
X22			124.068	89.431	1423.8191456	14.75
X23			135.973	98.143	2211.3920236	11.37
X24			146.600	102.188	823.5494501	9.65
X25			144.033	111.487	-310.6219635	2.25
X26			143.814	113.726	-128.8720188	9.39
X27			142.899	123.075	-314.6671219	6.34
X28			141.257	129.202	-119.1642532	17.62
X29			141.977	146.811	146.5783715	6.82
X30			142.256	153.624	366.9410623	12.33
X31			144.366	165.776	353.0153747	0.58
X32			144.385	166.355	-262.7394619	1.62
X33			142.786	166.612	-2312.0907763	19.51
X34			130.508	181.774	-2231.8592191	3.89
X35			130.508	185.667	-898.0026927	7.69
X36			125.671	191.640	-6695.1232340	30.10
			倍面積		-10589.3116473	
			面積		5294.658236	
			地積		5294.65	m <sup>2</sup>

合計 5294.65 m<sup>2</sup>



外部仕上表

床		軒天・見上げ		屋根・庇		外壁		備考									
テラス	厚22 人工木デッキ(無垢材) -X2~X8間(デッキ下ウレタン重膜防水X-2)	軒天	厚5.0 化粧スラグせっこう板(厚9.0 構造用合板下地)	屋根	屋根:粘土瓦葺 下葺:改質アスファルトルーフィング 下地:厚12 構造用合板 断熱材:厚45 フェノールフォーム(ネオマフォーム) 野地板:厚20 不燃木毛セメント板  (北西軒先部) 屋根:厚0.4 カラーガルバリウム鋼板横葺 下葺:改質アスファルトルーフィング 下地:厚12 構造用合板 野地板:厚20 不燃木毛セメント板	1階外壁	コンクリート打放仕上げ 撥水剤塗布	縦樋	アルミ製	インターホンポール	W150xD75xH1500 (タカパネ 仕様 別記 EX07141 同等品以上)						
	厚9.0 床セラミックタイル	軒天	厚0.5 カラーガルバリウム鋼板スパンドレル張			2階外壁	厚0.5 カラーガルバリウム鋼板スパンドレル張 厚0.2 透湿防水シート	軒樋	(北西側) アルミ製 (南東側) ガルバリウム鋼板製			断熱材	外壁:厚50 硬質ウレタンフォーム吹付 鉄骨屋根下:厚45 フェノールフォーム(ネオマフォーム) 陸屋根下:厚50 押出法ポリスチレンフォーム敷込 土間:厚30 押出法ポリスチレンフォーム敷込 (土に面する範囲:ポリスチレンシート)				
エントランススロープ	コンクリート木銀仕上(増し打ちコンクリートH75)	キュービクル置場見上げ	コンクリート打放仕上げ 撥水剤塗布			外部通路	厚6.0 エフジーボード(厚6.0 エフジーボード下地)EP-G コンクリート打放仕上げ 撥水剤塗布	(X15,21通り) 厚1.0 アルミスパンドレル 小波 厚0.2 透湿防水シート	ルーフドレイン	鋼鉄製	外部鉄骨柱	溶融亜鉛メッキ	SOP				
	厚20 益子焼伝統色タイル		外部通路											厚6.0 エフジーボード(厚6.0 エフジーボード下地)EP-G コンクリート打放仕上げ 撥水剤塗布	笠木	アルミ既製品	内部鉄骨柱
外部通路	コンクリート木銀仕上	北側屋根	ウレタン塗膜防水 X2工法	外部手摺・傘立て	溶融亜鉛メッキ									郵便ポスト			
車いす駐車場	コンクリート木銀仕上(増し打ちコンクリートH75) アスファルト舗装(外構工事)	東側庇	厚100 川砂利(ウレタン塗膜防水 X2工法)														

内部仕上表

階	室名	床			壁			巾木			天井				廻縁	備考	
		下地	仕上げ	接合方法	高さ	下地	仕上げ	接合方法	柱型仕上げ	仕上げ	高さ	下地	仕上げ	接合方法			梁型仕上げ
1	風除室1	C (増し打ちコンクリートH75)	浸透性コンクリート表面強化材	塗布	±0	LGS 曲面加工	厚6.0 エフジーボード(厚6.0 エフジーボード下地) EP-G	ジョイントレス	-	アルミ入巾木	21	LGS 曲面加工	厚6.0 エフジーボード(厚6.0 エフジーボード下地) EP-G	ジョイントレス	-	2,535	
	通路 (自販機スペース) (EV前通路)	C (増し打ちコンクリートH75)	浸透性コンクリート表面強化材	塗布	±0	LGS 曲面加工	厚6.0 エフジーボード(厚6.0 エフジーボード下地) EP-G	ジョイントレス	-	アルミ入巾木	21	LGS 曲面加工	厚6.0 エフジーボード(厚6.0 エフジーボード下地) EP-G	ジョイントレス	-	2,535	
	掃除用倉庫	鋼製床	厚2.0 長尺ビニル床シート(厚12+12 構造用合板下地)	接着	±0	カビノン工法 LGS65	(外周壁)厚9.5+12.5 GB-S EP-G (下り壁)厚9.5+12.5 GB-R EP-G	接着併用 タッカーピン 接着併用 タッカーピン	-	ビニル巾木	60	C	厚25 GW-B(ガラスクロス包)	化粧ピン	-	2,100	
	事務室 (BM書庫)	OAフロア(H75)	厚6.5 カーベットタイル	接着	±0	カビノン工法 C	(外周壁)厚8.0 珪酸カルシウム板(V突) EP-G コンクリート打放仕上げ	ビス留 -	-	ビニル巾木	60	C	厚25 GW-B(ガラスクロス包)	化粧ピン	-	2,750	棚:W700 厚20 ポリ合板フラッシュ (棚受:ステンレス製φ600) 雑巾掛 :ステンレス製 W300 フック:ステンレス製 3箇所
	休憩スペース	鋼製床	厚2.0 長尺ビニル床シート(厚12+12 構造用合板下地)	接着	±0	カビノン工法 C	(外周壁)厚9.5+12.5 GB-S EP-G コンクリート打放仕上げ	接着併用 タッカーピン -	-	ビニル巾木	60	C	厚25 GW-B(ガラスクロス包)	化粧ピン	-	3,000	ホワイトボード:W1800xH900 (メタルライン同等品以上)(2箇所)
	更衣室1	C	厚2.0 長尺ビニル床シート	接着	±0	LGS65 カビノン工法	厚9.5+12.5 GB-R EP-G (BM車庫側)厚9.5+12.5 GB-S EP-G	接着併用 タッカーピン	-	ビニル巾木	60	C	厚25 GW-B(ガラスクロス包)	化粧ピン	-	3,000	
	更衣室2	C	厚2.0 長尺ビニル床シート	接着	±0	LGS65 カビノン工法	厚9.5+12.5 GB-R EP-G (外周壁)(BM車庫側)厚9.5+12.5 GB-S EP-G	接着併用 タッカーピン	-	ビニル巾木	60	C	厚25 GW-B(ガラスクロス包)	化粧ピン	-	3,000	
	閉架書庫	C	厚2.0 長尺ビニル床シート	接着	±0	カビノン工法 C	(外周壁)(BM車庫側)厚9.5+12.5 GB-S EP-G コンクリート打放仕上げ	接着併用 タッカーピン -	-	ビニル巾木	60	C	厚25 GW-B(ガラスクロス包)	化粧ピン	-	3,000 (一部 2,925)	
	BM車庫	C	コンクリート剛毛引き	-	-130~-10	C	コンクリート打放仕上げ	-	-	-	-	打込	厚30 押出法ポリスチレンフォーム敷込	-	-	3,200 (一部 2,825) (一部 2,925)	
	倉庫1	C	厚2.0 長尺ビニル床シート	接着	±0	C LGS65	コンクリート打放仕上げ 厚8.0 珪酸カルシウム板(V突) EP-G	- ビス留	-	- ビニル巾木	- 60	C	コンクリート打放仕上げ	-	-	1,195~2,100	
	倉庫2	C	厚2.0 長尺ビニル床シート	接着	±0	C LGS65	コンクリート打放仕上げ 厚8.0 珪酸カルシウム板(V突) EP-G	- ビス留	-	- ビニル巾木	- 60	C	コンクリート打放仕上げ	-	-	3,000	
	階段	C (増し打ちコンクリートH75)	浸透性コンクリート表面強化材	塗布	図示	LGS 曲面加工	厚6.0 エフジーボード(厚6.0 エフジーボード下地) EP-G	ジョイントレス	-	アルミ入巾木	21	LGS 曲面加工	厚6.0 エフジーボード(厚6.0 エフジーボード下地) EP-G	ジョイントレス	-	2,535	

 <p>株式会社 三上建築事務所</p> <p>一級建築士事務所(茨城県)知事 登録第A0100号(0504) 茨城県水戸市大町三丁目4番36号</p>	<p>第18版 2023.04改訂</p> <p>一級建築士登録 234778号 益子一彦 当該図書の設計者 一級建築士登録 325985号 富田 武俊</p>	<p>作図履歴</p> <table border="1"> <tr><th>日付</th><th>作成者</th><th>概要</th></tr> <tr><td>251103</td><td>建築設計グループ/小堀</td><td>作図</td></tr> <tr><td>251203</td><td>技術監理室・石井</td><td>積算前検図</td></tr> <tr><td>260309</td><td>技術監理室・石井</td><td>出図前検図</td></tr> </table>	日付	作成者	概要	251103	建築設計グループ/小堀	作図	251203	技術監理室・石井	積算前検図	260309	技術監理室・石井	出図前検図	<p>検図履歴</p> <table border="1"> <tr><th>日付</th><th>検図者</th><th>概要</th></tr> <tr><td>251203</td><td>技術監理室・石井</td><td>積算前検図</td></tr> <tr><td>260309</td><td>技術監理室・石井</td><td>出図前検図</td></tr> </table>	日付	検図者	概要	251203	技術監理室・石井	積算前検図	260309	技術監理室・石井	出図前検図	承認	検図		検証		作図		<p>業務No. 24-09 設計年月 2026.02</p> <p>工事名称 益子町既存施設改修及び図書館建設工事</p> <p>図面名称 仕上表(1)</p>	<p>図番 確認(意匠)-05 A-06</p>
			日付	作成者	概要																												
251103	建築設計グループ/小堀	作図																															
251203	技術監理室・石井	積算前検図																															
260309	技術監理室・石井	出図前検図																															
日付	検図者	概要																															
251203	技術監理室・石井	積算前検図																															
260309	技術監理室・石井	出図前検図																															
部長	技術監理室室長	設計室室長	P.L.	担当者	作成担当者	縮尺 A3=NON																											

階	室名	床			壁			巾木			天井				廻縁	備考				
		下地	仕上げ	接合方法	高さ	下地	仕上げ	接合方法	柱型仕上げ	仕上げ	高さ	下地	仕上げ	接合方法			梁型仕上げ	天井高さ		
2	風除室2	C (増し打ちコンクリート H75)	浸透性コンクリート表面強化材	塗布	±0	C	コンクリート打放仕上げ	-	-	-	-	LGS25型	天 井：厚25 GW-B(ガラスクロス包:ビス留) 化粧材：杉60×15@90 (木製L-バー) 杉30×15@90 (野縁40×30@450 SOP) (野縁受 C-100×50×20×3, 2@900 SOP)	-	SOP	2,826~4,026				
	一般開架	C (増し打ちコンクリート H75)	浸透性コンクリート表面強化材	塗布	±0	C	コンクリート打放仕上げ	-	鉄骨柱SOP	-	-	鉄骨	天 井：厚25 GW-B(ガラスクロス包:ビス留) 化粧材：杉60×15@90 (木製L-バー) 杉30×15@90 (野縁40×30@450 SOP) (野縁受 C-100×50×20×3, 2@900 SOP)	ビス留	SOP	3,405~7,305 (益子の作家コーナー 2,525)		ピクチャーレール		
	(だんらんスペース) (益子の作家コーナー) (事務作業スペース)	M	厚9.0 床セラミックタイル	改良 圧着張り	±0	カビノン工法	(西面外周壁)厚6.5 シナ合板(目)(準不燃) UC (厚5.5 ラワン合板捨張)	接着+ 隠し釘(ビス)	-	-	-	(EPS部分) ビニル巾木	60							
		図示	厚22 人口木デッキ(無垢材)	ビス留	±0	LGS65	(EPS部分)厚9.5+12.5 GB-R EP-G													
		M	厚3.0 複層ビニル床タイル	接着	±0															
		乾式二重床	厚4.0 シナ合板 UC(厚12+12 構造用合板下地)	接着	+150~+450															
	OAフロア(H75)	厚6.5 カーベットタイル	接着	±0																
	サイレントスペース	C (増し打ちコンクリート H75)	浸透性コンクリート表面強化材	塗布	±0	C	コンクリート打放仕上げ	-	鉄骨柱SOP	-	-	鉄骨	天 井：厚25 GW-B(ガラスクロス包:ビス留) 化粧材：杉60×15@90 (木製L-バー) 杉30×15@90 (野縁40×30@450 SOP) (野縁受 C-100×50×20×3, 2@900 SOP)	ビス留	SOP	4,005~5,205				
	多目的WC	C	厚3.0 複層ビニル床タイル(抗菌仕様)	接着	±0	C	コンクリート打放仕上げ	-	-	-	-	LGS19型	厚9.0 DR(直張り工法)	ビス留	-	2,400	塩ビ(目)			
	男子WC	M	厚9.0 床セラミックタイル	改良 圧着張り	±0	C	コンクリート打放仕上げ	-	-	-	-	LGS19型	厚9.0 DR(直張り工法)	ビス留	-	2,400	塩ビ(目)			
C (増し打ちコンクリート H75)		浸透性コンクリート表面強化材	塗布	±0	-	厚150 大谷石積み(水磨き)	-													
C		厚30 大谷石貼り(水磨き)	接着		C	厚6.5 モザイクタイル張り	接着													
C		厚6.5 モザイクタイル張り	接着		C	厚30 大谷石貼り(水磨き)	接着													
女子WC	M	厚9.0 床セラミックタイル	改良 圧着張り	±0	C	コンクリート打放仕上げ	-	-	-	-	LGS19型	厚9.0 DR(直張り工法)	ビス留	-	2,400	塩ビ(目)				
	C (増し打ちコンクリート H75)	浸透性コンクリート表面強化材	塗布	±0	-	厚150 大谷石積み(水磨き)	-													
	C	厚30 大谷石貼り(水磨き)	接着		C	厚30 大谷石貼り(水磨き)	接着													
	LGS65	厚30 大谷石貼り(水磨き) (厚12構造用合板下地)	接着		C	厚6.5 モザイクタイル貼り	接着													
機械室	C	コンクリート直押えの上 防塵塗装	塗布	±0	C	厚25 GW-B(ガラスクロス包)	化粧ピン	-	-	-	C	厚25 GW-B(ガラスクロス包)	化粧ピン	-	2,975					

【特記事項】

- 天井ふところの高さが1.5m以上の箇所は共通仕様書に基づき補強を行う。
- 壁のクロス貼り(厚12.5 GB-R下地)部分は、入隅部及び開口部の上部(両脇)にビニルジョイナーを取り付ける。
- 浸透性コンクリート表面強化剤はシールハードC-21仕様同等品以上とする。
- 床増し打ちコンクリートはカッター目地(W5 @3600程度)を施工すること。

【下地凡例】

- C：コンクリート、コンクリートブロック、ALC版、セメント板
- SL：セルフレベリング
- M：モルタル
- P：乾式置床パネル(厚20 パーティ)
- LGS：軽量鉄骨壁下地、軽量鉄骨天井下地

【材料凡例】

- GB-R：石膏ボード
- GB-R-H：硬質石膏ボード
- GB-D：化粧石膏ボード
- GB-S：シーリング石膏ボード
- GB-F：強化石膏ボード
- GB-N-C：不燃積層石膏ボード
- TGR：ガラス繊維布繊維入り石膏ボード
- DR：岩綿吸音板

- 特記なき限りVS（ビニル床シート）は厚2.0mmとする。
- 特記なき限りGB-R（石こうボード）は二重張り厚9.5mm+12.5mmとする。
- 特記なき限りGW（グラスウールボード）は厚25mmとする。
- 特記なき限りGB-S（耐水石こうボード）は厚12.5mmとする。
- 特記なき限りDR（岩綿吸音板）は厚9.0mmフラットタイプとする。

【塗装凡例】

- SOP：合成樹脂強合ペイント
  - EP：合成樹脂エマルジョンペイント
  - EP-G：つや有合成樹脂エマルジョンペイント
  - UE：ポリウレタンエナメル塗り
  - DP：耐候性塗料塗り
- 【工法凡例】
- (目)：目隠し工法
  - (J)：ジョイント工法

【認定番号】

- (不燃)
- NM-8612：厚12.5 石膏ボード
- NM-8599：厚9.0 岩綿吸音板
- NM-8578：厚8.0 珪酸カルシウム板
- NM-8424：厚6.0 化粧けい酸カルシウム板
- NM-9645：厚9.5 硬質石膏ボード
- NM-1864：厚9.5 燃積層石膏ボード
- NM-1864：厚9.5 化粧石膏ボード
- NM-9639：厚12.5 シーリング石膏ボード
- NM-8615：厚12.5 強化石膏ボード
- 厚21 強化石膏ボード
- NM-2967：厚6.0 エフジーボード
- NM-0236：厚20 不燃木毛セメント板
- NM-8606：厚25 GW-B(ガラスクロス包)

(準不燃)

- NM-9828：厚9.5 石膏ボード
- NM-9826：厚9.5 シーリング石膏ボード
- NM-9005：厚6.5 シナ合板

(難燃)

- RM-9016：難燃合板

(壁装材料)

- NM-9889：ビニル壁紙(不燃)

(1時間耐火)

- FP06GNP-0174：厚12.5+12.5 強化石膏ボード両面貼
- FP06GNP-0189：厚21+21 強化石膏ボード片面貼
- FP06GNP-0198：厚9.5 硬質石膏ボード+厚21 強化石膏ボード両面貼

【シックハウスに関する事項】

- 塗装類はF☆☆☆☆の認定を受けた材料を使用すること。
- 内装材はF☆☆☆☆の認定を受けた材料を使用すること。

【その他】

- ピクチャーレールは、アルミ既製品(天井埋込式)とする。(吊りフックは3ヶ所/m)

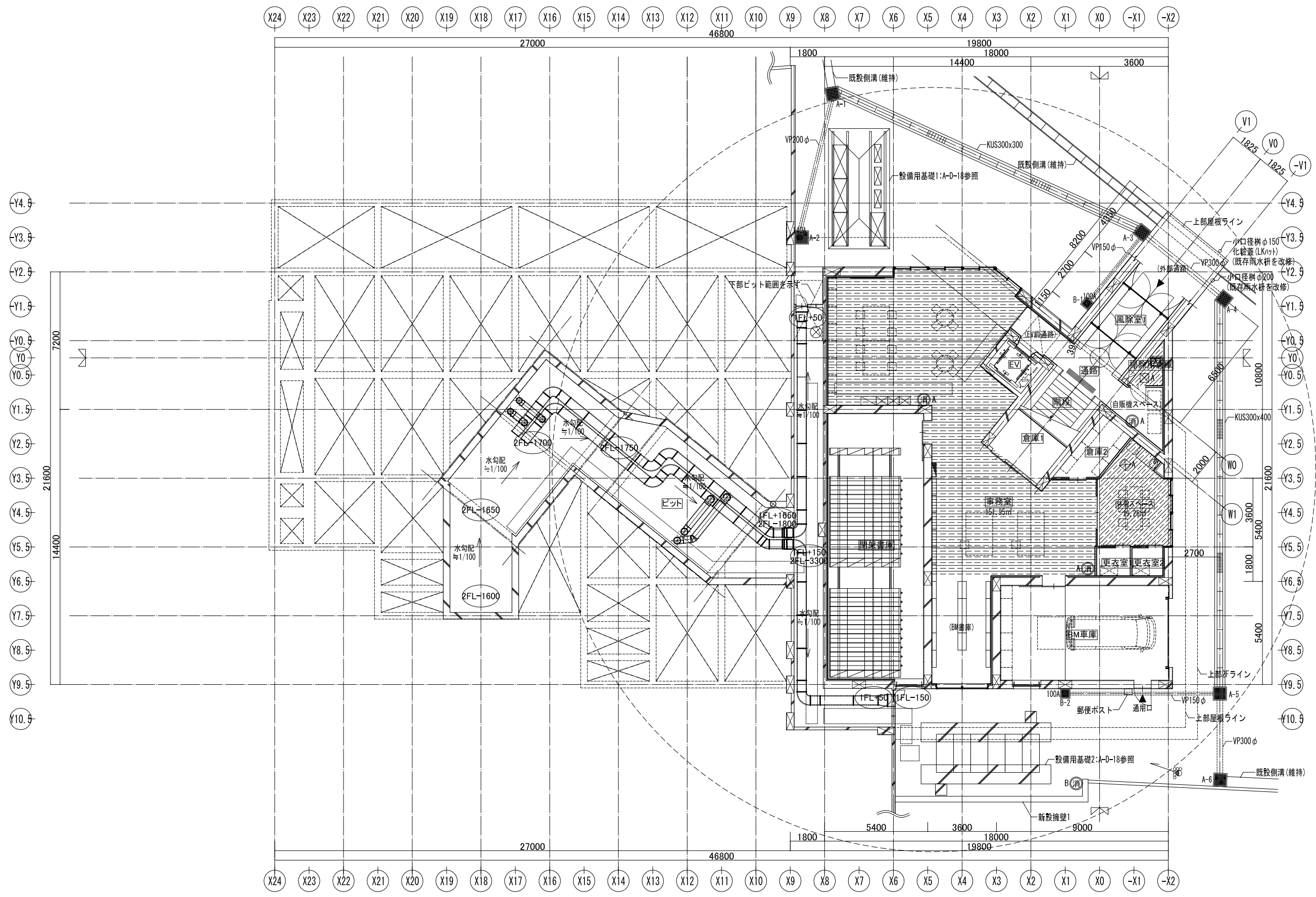
作図履歴

日付	作図者	概要
251103	建築設計グループ/小堀	作図
280309	技術監理室・石井	出荷前検閲

検図履歴

日付	検図者	概要
251203	技術監理室・石井	積算前検閲
280309	技術監理室・石井	出荷前検閲

承認		検図		確認		作図	
部長	技術監理室室長	設計室室長	P.L.	担当者	作図担当者		



**床・スラブ凡例**

凡例	内容
	FAフロア H75
	鋼製床 H650
	埋戻し

**付設物凡例**

凡例	内容
	笠木: アルミ既製品 (特記なし: W200、特記あり: 記載数値)
	横引きドレイン: 鋳鉄製 打込型
	縦樋: φ140 アルミ製鋼管 (バンドレスタイプ) (ドレイン用)
	縦樋: φ100 アルミ製鋼管 (バンドレスタイプ) (ドレイン用)
	集水樹: 600x600 樹蓋: 鋼製グレーチング (細目T-2)
	集水樹: 400x400 樹蓋: 鋼製グレーチング (細目T-2)
	(内部用) 床下点検口 450角 防臭・防水型、化粧蓋・アルミ枠
	φ600 鋳鉄製マニホールド (防臭・防水型)
	消火器ボックス (ユニオンUFB-3F-2501-MBK 同等品以上)
	消火器スタンド (ヤマトプロテック 消火器設置台SGSEC03W1 同等品以上)
	パッケージ型消火設備型 (包含半径20m)
	点字紙 (点紙) ステンレス製 滑り止め付き 300x300
	点字紙 (線紙) ステンレス製 滑り止め付き 300x300
	郵便ポスト W390×D300×H590 前入前出(壁付)、ステンレスHL、壁付
	インターホン W150×D75×H1500 (サンワカンパニー オスボール スリム EX07141)
	カッター目地 R3600 外部総長: 24.3m、内部総長: 33.3m

**階段各種寸法**

凡例	幅員	蹴上	踏面
	2100mm	150mm	300mm

**廊下幅員**

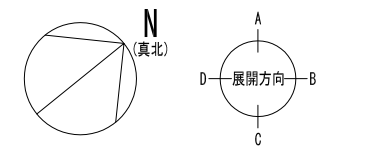
凡例	幅員 / 必要幅員 / 法適合
	2.1m / 1.2m / 適合
	1.39m / 1.2m / 適合

**屋根凡例**

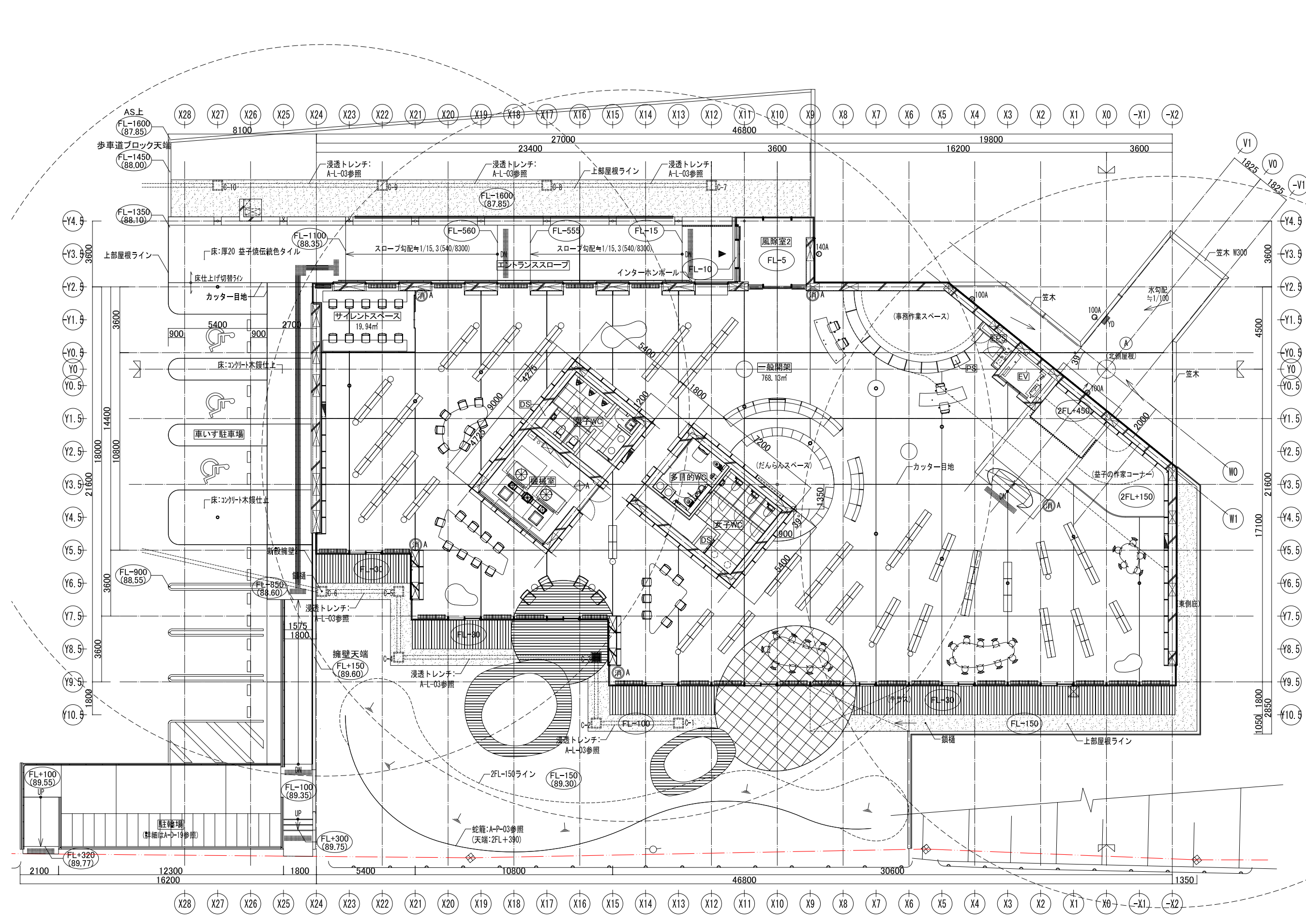
凡例	内容
	ウレタン塗膜防水 X-2

**特記事項**

※1FL = 敷計GL+200 = 86.00  
 ※敷計GL = 85.80  
 ※2FL = 1FL+3450 = 89.45  
 ※室名の下にレベル表記がない場合FL±0とする



<b>株式会社 三上建築事務所</b> <small>一級建築士事務所(茨城県)知事 登録第A0100号(0504) 茨城県水戸市大町三丁目4番36号</small>	<small>一級建築士登録 234778号</small> <b>益子一彦</b> <small>当該図書の設計者 一級建築士登録 325985号</small> <b>富田 武俊</b>	<small>第18版 2023.04改訂</small> <table border="1"> <tr> <th>作図履歴</th> <th>検図履歴</th> </tr> <tr> <td>日付 作成者 概要</td> <td>日付 検図者 概要</td> </tr> <tr> <td>251103 建築設計グループ小堀 作図</td> <td>251203 技術監理室・石井 積算前検図</td> </tr> <tr> <td>260309 技術監理室・石井 出図前検図</td> <td></td> </tr> </table>	作図履歴	検図履歴	日付 作成者 概要	日付 検図者 概要	251103 建築設計グループ小堀 作図	251203 技術監理室・石井 積算前検図	260309 技術監理室・石井 出図前検図		<table border="1"> <tr> <th>承認</th> <th>検図</th> <th>確認</th> <th>作図</th> </tr> <tr> <td>部長</td> <td>技術監理室室長</td> <td>設計室室長</td> <td>P.L.</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>担当者</td> </tr> </table>	承認	検図	確認	作図	部長	技術監理室室長	設計室室長	P.L.				担当者	業務No. 24-09 設計年月 2026.02 工事名称 <b>益子町既存施設改修及び図書館建設工事</b> 図面名称 <b>1階平面図 兼 ピット図</b> 縮尺 A3=1:200	図番 <b>確認(意匠)-07</b> <b>A-08</b>
			作図履歴	検図履歴																					
日付 作成者 概要	日付 検図者 概要																								
251103 建築設計グループ小堀 作図	251203 技術監理室・石井 積算前検図																								
260309 技術監理室・石井 出図前検図																									
承認	検図	確認	作図																						
部長	技術監理室室長	設計室室長	P.L.																						
			担当者																						
1階平面図 兼 ピット図																									



**床・スラブ凡例**

凡例	内容
	FAフロア H75
	鋼製床 H650
	埋戻し

**付設物凡例**

凡例	内容
	笠木: アルミ既製品 (特記なし:W200、特記あり:記載数値)
	横引きドレイン: 鋼鉄製 打込型
	壁樋: φ140 アルミ製鋼管 (バンドレスタイプ) (ドレイン用)
	壁樋: φ100 アルミ製鋼管 (バンドレスタイプ) (ドレイン用)
	集水槽: 600x600 樹蓋: 鋼製グレーチング (細目T-2)
	集水槽: 400x400 樹蓋: 鋼製グレーチング (細目T-2)
	(内部用)床下点検口 450角 防臭・防水型、化粧蓋・アルミ枠
	φ600 鋼製鉄ワネル (防臭・防水型)
	消火器ボックス (ユニオンUFB-3F-2501-MBK 同等品以上)
	消火器スタンド (ヤマトプロテック 消火器設置台SGSEC03W1 同等品以上)
	パッケージ型消火設備J型 (包含半径20m)
	点字紙 (点紙) ステンレス製 滑り止め付き 300x300
	郵便ポスト W390xD300xH590 前入前出(壁付)、ステンレスHL、壁付
	インターホンホール W150xD75xH1500 (サンワカンパニー オスホール スリム EX07141)
	カッター目地R3600 外部総長:24.3m、内部総長:333m

**階段各種寸法**

凡例	幅員	蹴上	踏面
階段	2100mm	150mm	300mm

**廊下幅員**

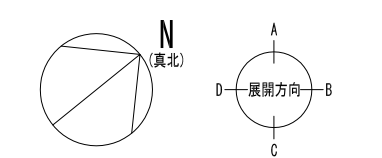
凡例	幅員 / 必要幅員 / 法適合
通路	2.1m / 1.2m / 適合
(EV前通路)	1.39m / 1.2m / 適合

**屋根凡例**

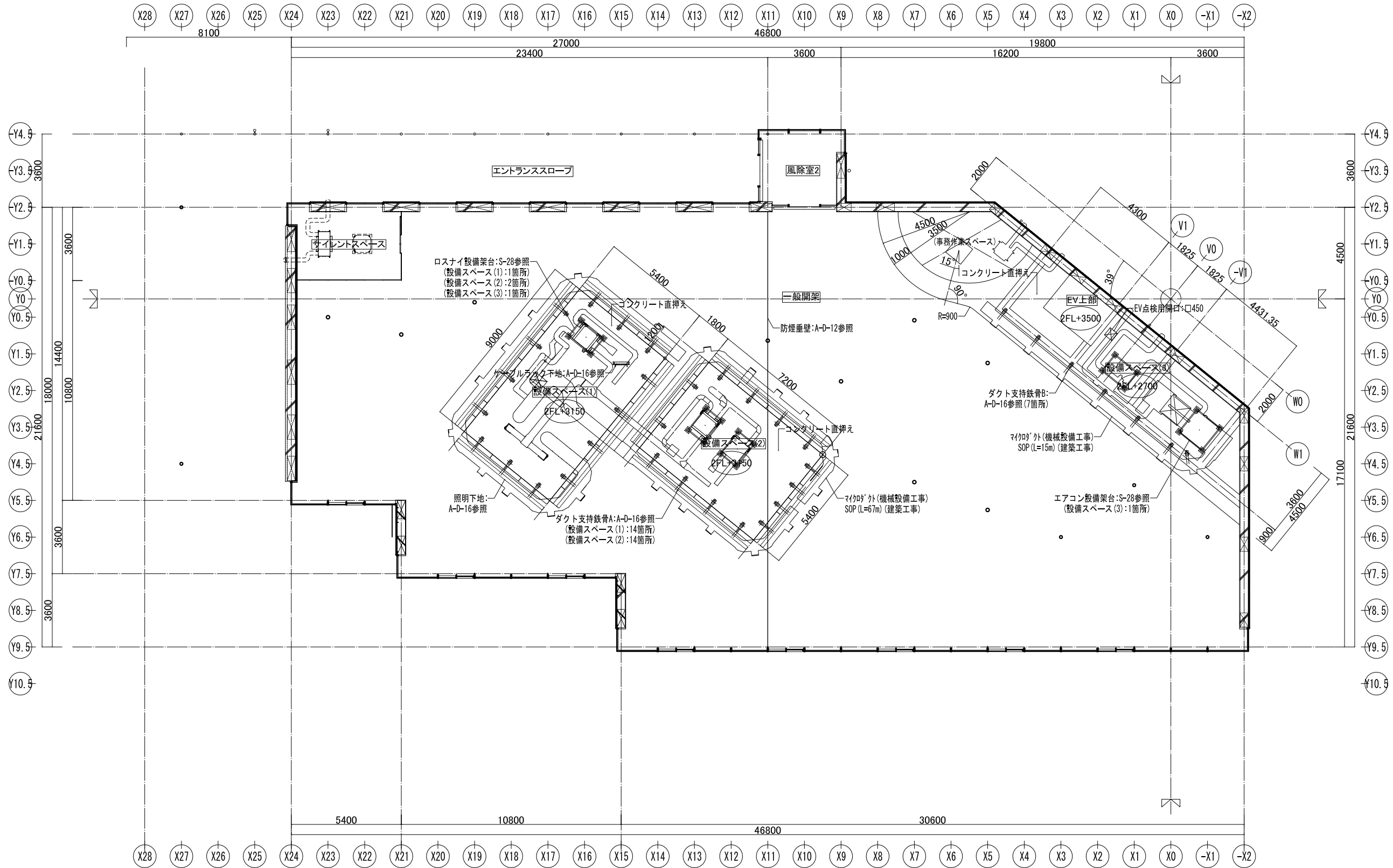
凡例	内容
(A)	ウレタン塗膜防水 X-2

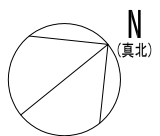
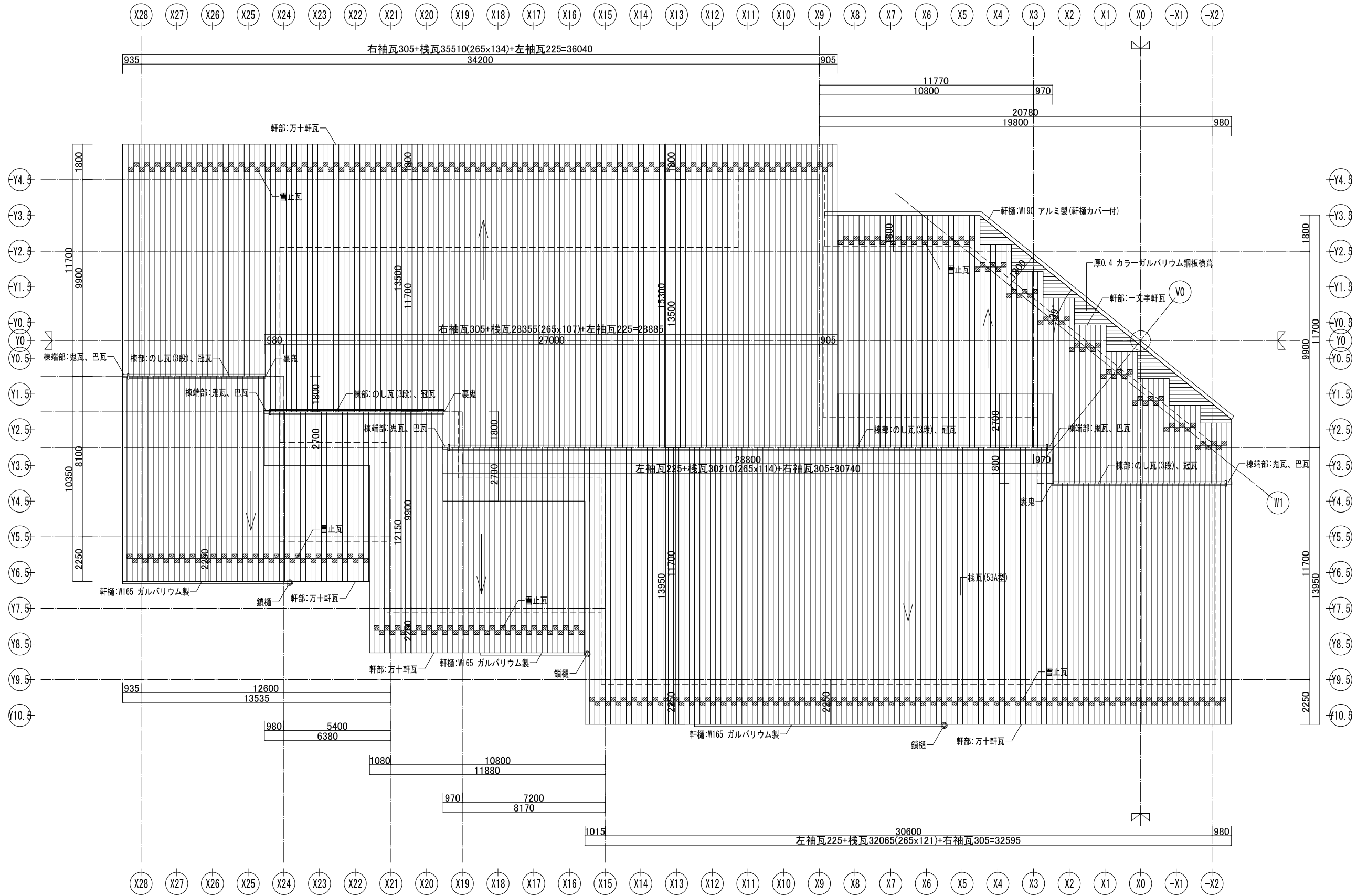
**特記事項**

※1FL = 敷計GL+200 = 86.00  
 ※敷計GL = 85.80  
 ※2FL = 1FL+3450 = 89.45  
 ※室名の下にレベル表記がない場合FL±0とする

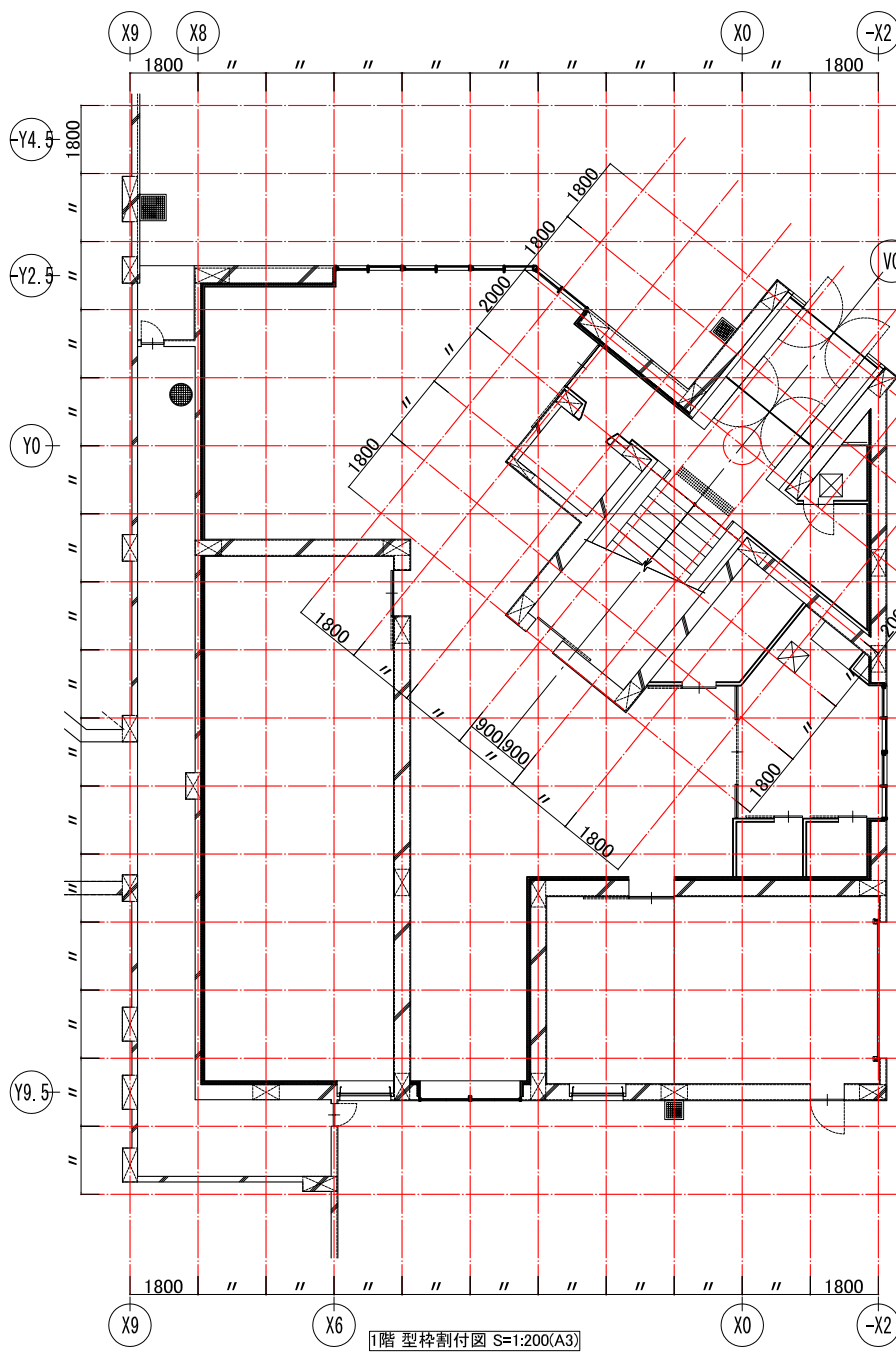


<b>株式会社 三上建築事務所</b> <small>一級建築士事務所(茨城県)知事 登録第A0100号(0504) 茨城県水戸市大町二丁目4番36号</small>	一級建築士登録 234778号 <b>益子一彦</b> <small>当該図書の設計者 一級建築士登録 325985号</small> <b>富田武俊</b>	第18版 2023.04改訂 作図履歴 日付 作成者 概要 251103 建築設計グループ小堀 作図 251203 技術監理室・石井 作図 260309 技術監理室・石井 出図前検閲	検図履歴 日付 検図者 概要 251203 技術監理室・石井 積算前検閲 260309 技術監理室・石井 出図前検閲	承認 部長 技術監理室長 設計室長 P.L. 担当者	業務No. 24-09 設計年月 2026.02 工事名称 <b>益子町既存施設改修及び図書館建設工事</b> 図面名称 <b>2階平面図</b>	図番 <b>確認(意匠)-08</b> <b>A-09</b> 縮尺 A3=1:200

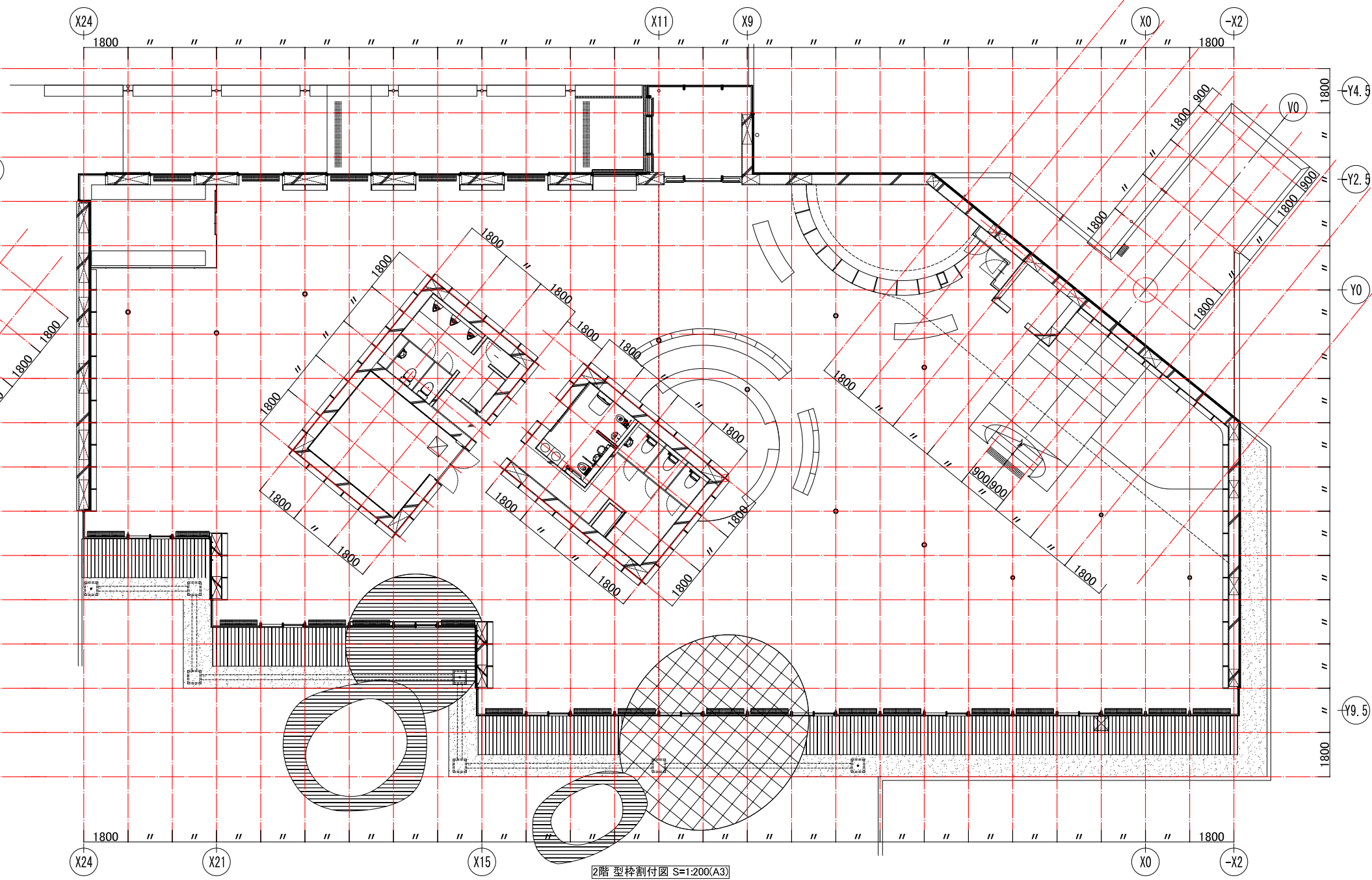




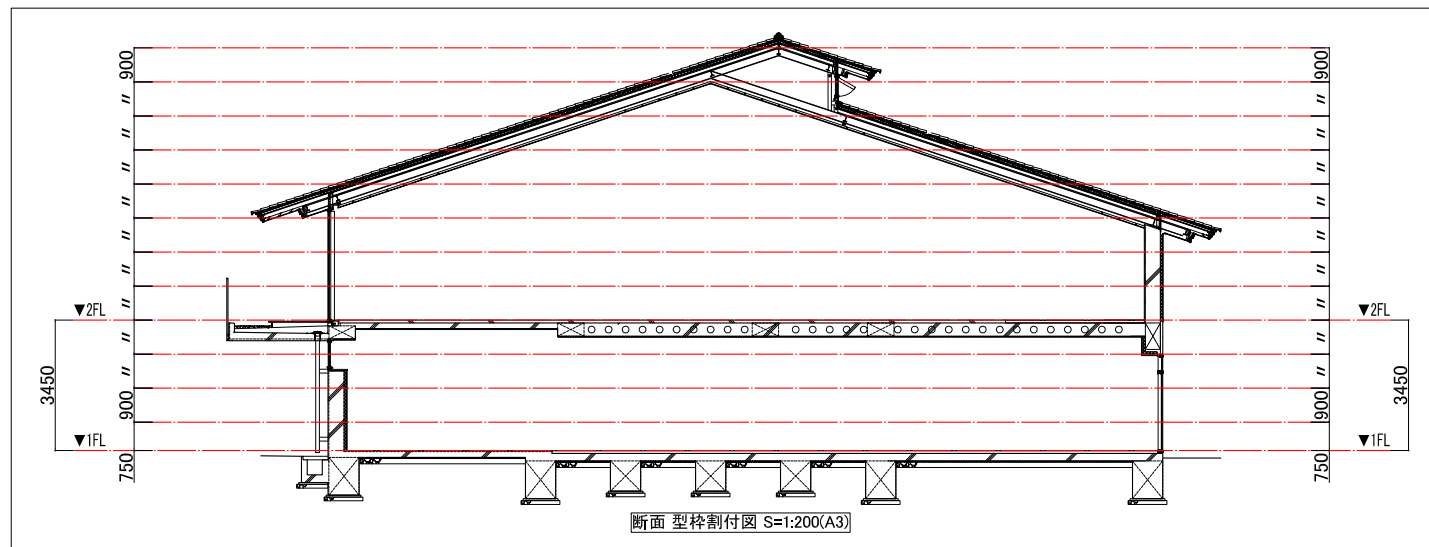
 <b>株式会社 三上建築事務所</b> <small>一級建築士事務所(茨城県)知事 登録第A0100号(0504) 茨城県水戸市大町二丁目4番36号</small>	第18版 2023.04改訂 一級建築士登録 234778号 <b>益子一彦</b> <small>当該図書の設計者 一級建築士登録 325985号</small> <b>富田 武俊</b>	作図履歴 日付 作成者 概要 251103 建築設計グループ小堀 作図 251203 技術監理室・石井 積算前検閲 260309 技術監理室・石井 出荷前検閲	検図履歴 日付 検図者 概要 251203 技術監理室・石井 積算前検閲 260309 技術監理室・石井 出荷前検閲	承認 部長 技術監理室室長 設計室室長 P.L. 担当者	作図 作成担当者	業務No. 24-09 設計年月 2026.02 工事名称 <b>益子町既存施設改修及び図書館建設工事</b> 図面名称 <b>屋根伏図 兼 瓦割付図</b>	図番 <b>確認(意匠)-09</b> <b>A-11</b> 縮尺 A3=1:200
						<small>一級建築士事務所(茨城県)知事 登録第A0100号(0504) 茨城県水戸市大町二丁目4番36号</small>	



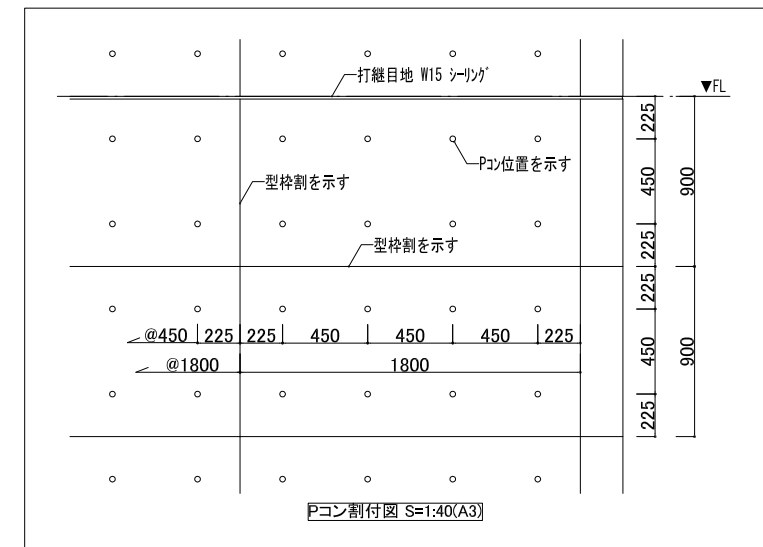
1階 型枠割付図 S=1:200(A3)



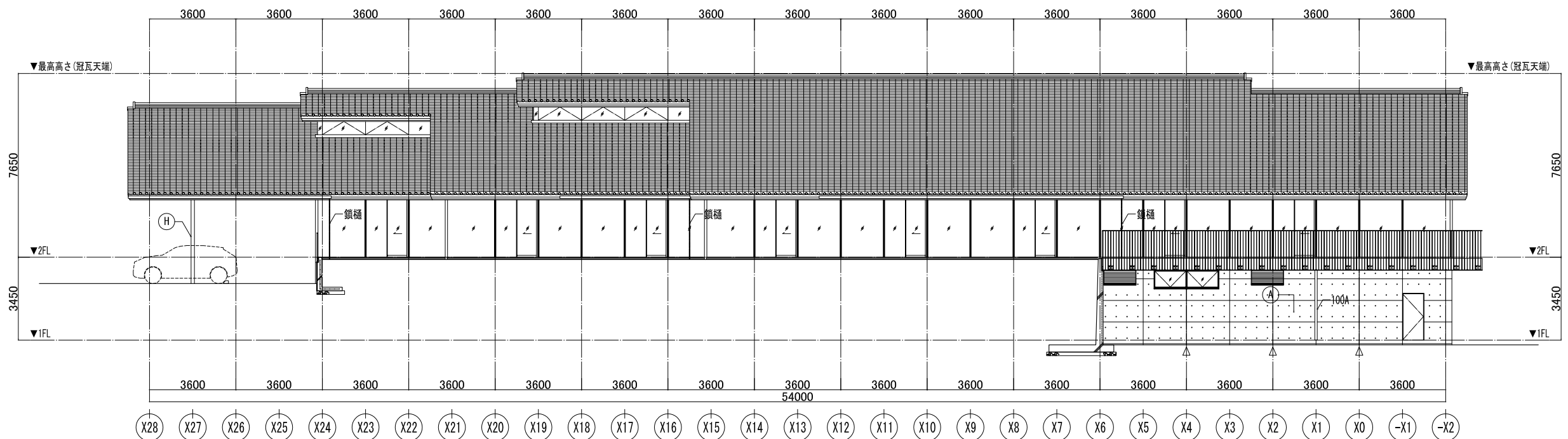
2階 型枠割付図 S=1:200(A3)



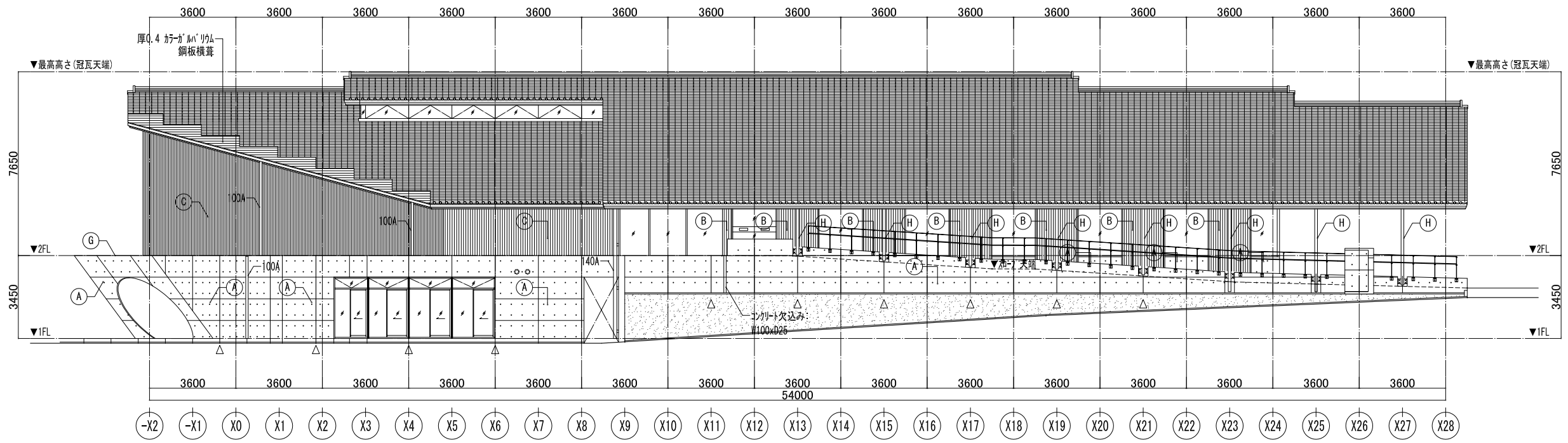
断面 型枠割付図 S=1:200(A3)



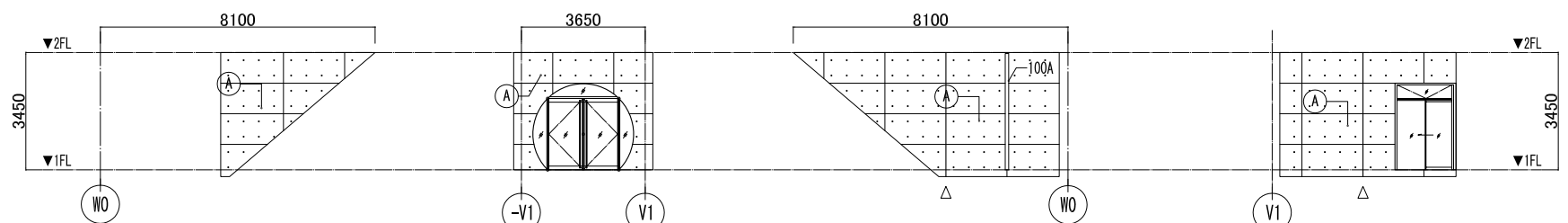
Pコン割付図 S=1:40(A3)



南東側立面図



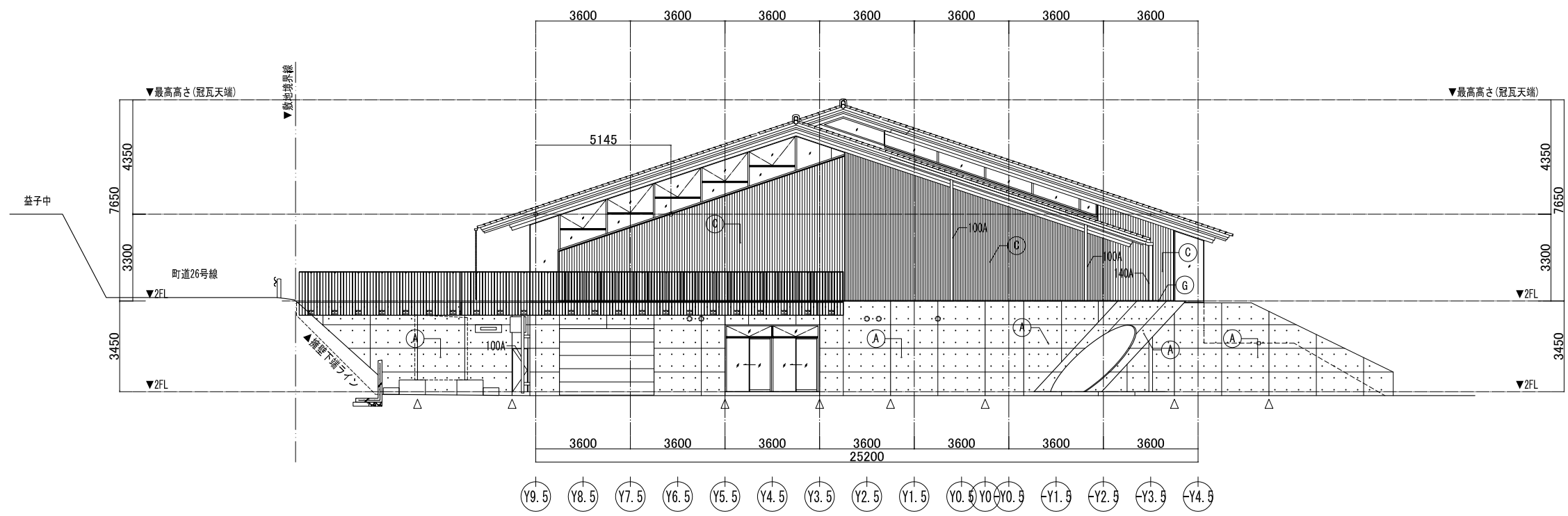
北西側立面図



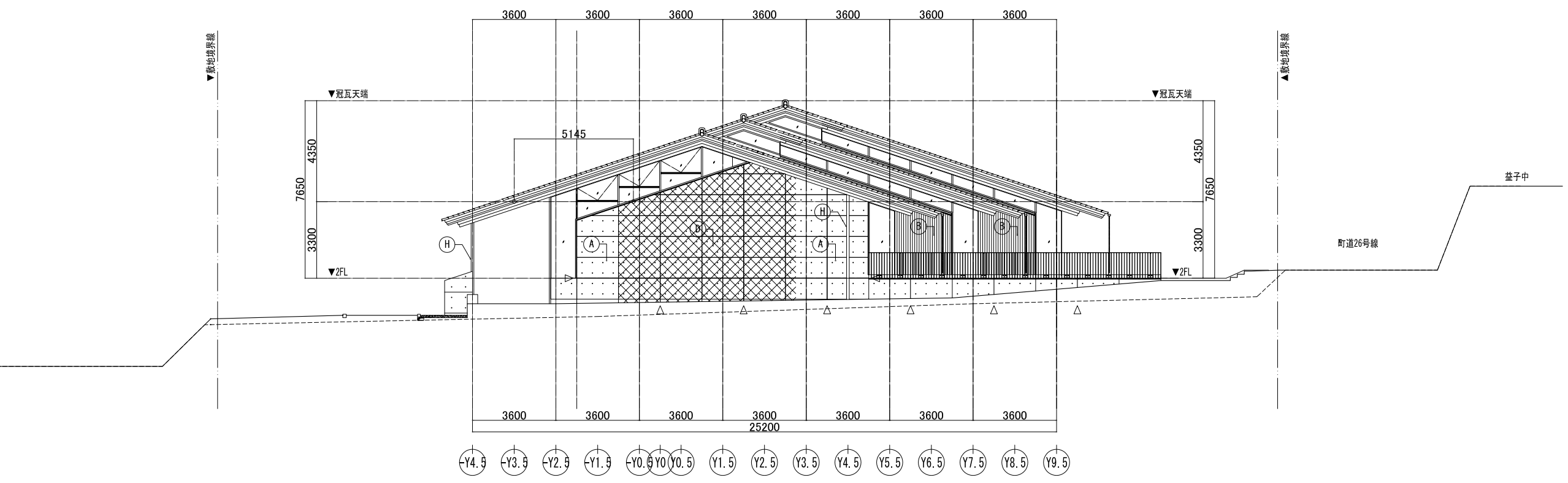
外部通路廻り立面図

凡例		
部位	凡例	仕上げ
外壁	(A)	コンクリート打放仕上げ 撥水剤塗布
	(B)	厚1.0 アルミスパンドレル 小波
	(C)	厚0.5 カラーガルバリウム鋼板 スパンドレル張
	(D)	益子焼伝彩色タイル
縦樋	140A	縦樋:φ140 アルミ製鋼管 (バンドレスタイプ)(ドレイン用)
	100A	縦樋:φ100 アルミ製鋼管 (バンドレスタイプ)(ドレイン用)
	鎖樋	鎖樋:ガルバリウム鋼板製
笠木	(G)	アルミ既製品
鉄骨柱	(H)	溶融亜鉛メッキ
目地	△ ▽	懸垂目地 目地底15 x 深さ20 シーリング
	◁ ▷	打継目地 目地底15 x 深さ20 シーリング
壁付穀物	○	ベントキャップ(機械設備工事)

<b>株式会社 三上建築事務所</b> <small>一級建築士事務所(茨城県)知事 登録第A0100号(0504) 茨城県水戸市大町二丁目4番36号</small>	一級建築士登録 234778号 <b>益子一彦</b> <small>当該図書の設計者 一級建築士登録 325985号</small> <b>富田 武俊</b>	第18版 2023.04改訂 作図履歴 日付 作成者 概要 251103 建築設計グループ小堀 作図 251203 技術監理室・石井 積算前検閲 260309 技術監理室・石井 出前検閲	検図履歴 日付 検図者 概要 251203 技術監理室・石井 積算前検閲 260309 技術監理室・石井 出前検閲	承認 部長 技術監理室室長 設計室室長 P.L. 担当者	作図 作図担当者	業務No. 24-09 設計年月 2026.02 工事名称 <b>益子町既存施設改修及び図書館建設工事</b> 図面名称 <b>立面図(1)</b>	図番 <b>確認(意匠)-10</b> <b>A-13</b> <small>縮尺 A3=1:200</small>								
		株式会社 三上建築事務所		一級建築士登録 234778号 益子一彦 当該図書の設計者 一級建築士登録 325985号 富田 武俊		作図履歴 日付 作成者 概要 251103 建築設計グループ小堀 作図 251203 技術監理室・石井 積算前検閲 260309 技術監理室・石井 出前検閲		検図履歴 日付 検図者 概要 251203 技術監理室・石井 積算前検閲 260309 技術監理室・石井 出前検閲		承認 部長 技術監理室室長 設計室室長 P.L. 担当者		作図 作図担当者		業務No. 24-09 設計年月 2026.02 工事名称 <b>益子町既存施設改修及び図書館建設工事</b> 図面名称 <b>立面図(1)</b>	



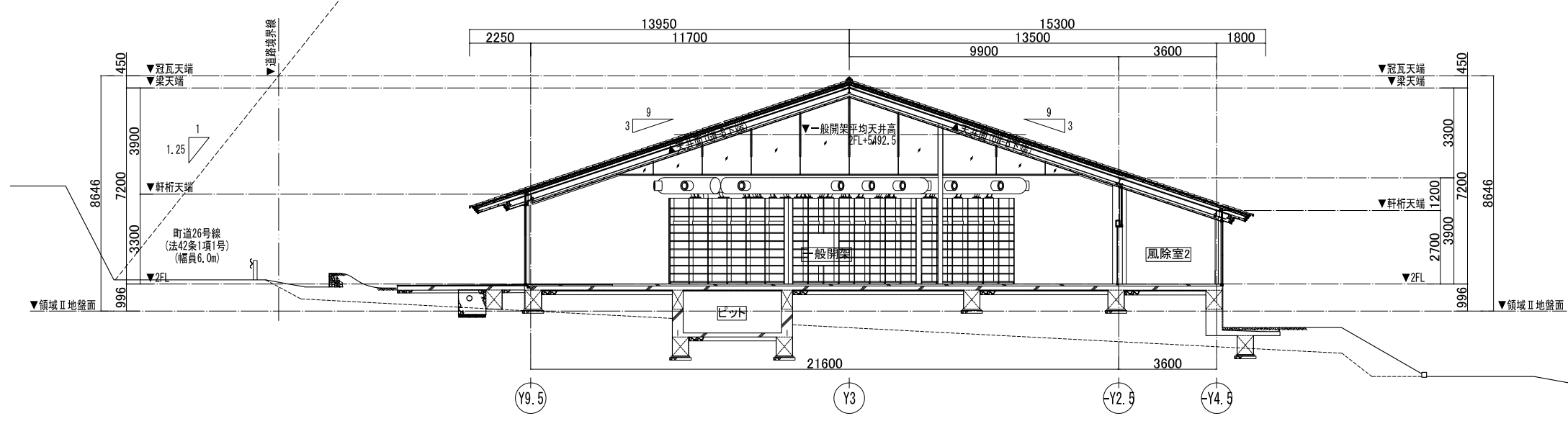
北東側立面図



南西側立面図

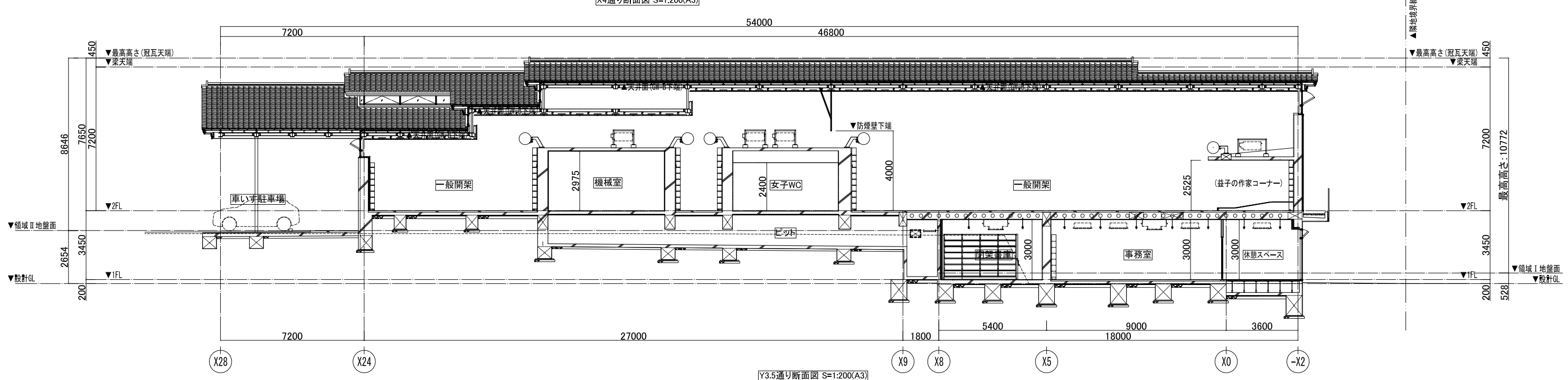
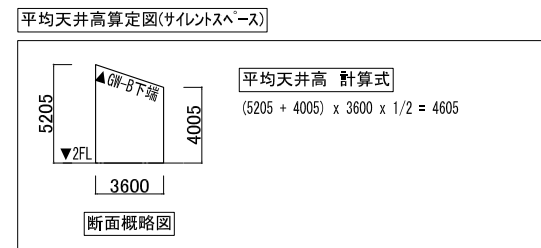
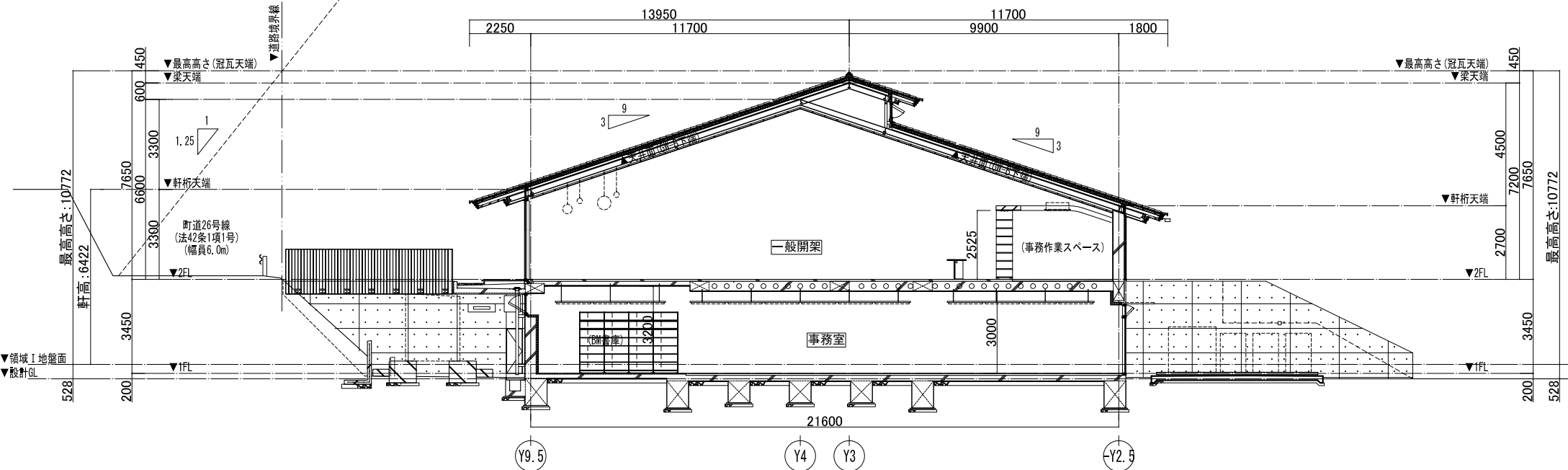
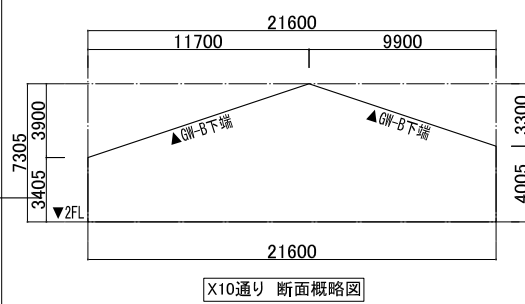
凡例		
部位	凡例	仕上げ
外壁	(A)	コンクリート打放仕上げ 撥水剤塗布
	(B)	厚1.0 アルミスパンドレル 小波
	(C)	厚0.5 カラーガルバリウム鋼板 スパンドレル張
	(D)	益子焼伝統色タイル
屋根	140A	縦樋:φ140 アルミ製鋼管 (バンドレスタイプ)(ドレイン用)
	100A	縦樋:φ100 アルミ製鋼管 (バンドレスタイプ)(ドレイン用)
	鎖樋	鎖樋:ガルバリウム鋼板製
笠木	(G)	アルミ既製品
鉄骨柱	(H)	溶融亜鉛メッキ
目地	△ ▽	懸発目地 目地底15 x 深さ20 シーリング
	◁ ▷	打継目地 目地底15 x 深さ20 シーリング
壁付穀物	○	ベントキャップ(機械設備工事)

<b>株式会社 三上建築事務所</b> <small>一級建築士事務所(茨城県)知事 登録第A0100号(0504) 茨城県水戸市大町二丁目4番36号</small>	<small>一級建築士登録 234778号</small> <b>益子一彦</b> <small>当該図書の設計者 一級建築士登録 325985号</small> <b>富田 武俊</b>	<small>第18版 2023.04改訂</small> <small>作成履歴</small> <table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr><th>日付</th><th>作成者</th><th>概要</th></tr> <tr><td>251103</td><td>建築設計グループ・小堀</td><td>作図</td></tr> <tr><td>251203</td><td>技術監理室・石井</td><td>積算前検閲</td></tr> <tr><td>260309</td><td>技術監理室・石井</td><td>出図前検閲</td></tr> </table>	日付	作成者	概要	251103	建築設計グループ・小堀	作図	251203	技術監理室・石井	積算前検閲	260309	技術監理室・石井	出図前検閲	<small>検図履歴</small> <table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr><th>日付</th><th>検図者</th><th>概要</th></tr> <tr><td>251203</td><td>技術監理室・石井</td><td>積算前検閲</td></tr> <tr><td>260309</td><td>技術監理室・石井</td><td>出図前検閲</td></tr> </table>	日付	検図者	概要	251203	技術監理室・石井	積算前検閲	260309	技術監理室・石井	出図前検閲	<table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr><th>承認</th><th>検図</th><th>検証</th><th>作図</th></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	承認	検図	検証	作図									<small>業務No. 24-09 設計年月 2026.02</small> <small>工事名称</small> <b>益子町既存施設改修及び図書館建設工事</b> <small>図面名称</small> <b>立面図(2)</b> <small>縮尺</small> A3=1:200	<small>図番</small> <b>確認(意匠)-11</b> <b>A-14</b>
			日付	作成者	概要																																		
251103	建築設計グループ・小堀	作図																																					
251203	技術監理室・石井	積算前検閲																																					
260309	技術監理室・石井	出図前検閲																																					
日付	検図者	概要																																					
251203	技術監理室・石井	積算前検閲																																					
260309	技術監理室・石井	出図前検閲																																					
承認	検図	検証	作図																																				
<small>一級建築士事務所(茨城県)知事 登録第A0100号(0504) 茨城県水戸市大町二丁目4番36号</small>																																							

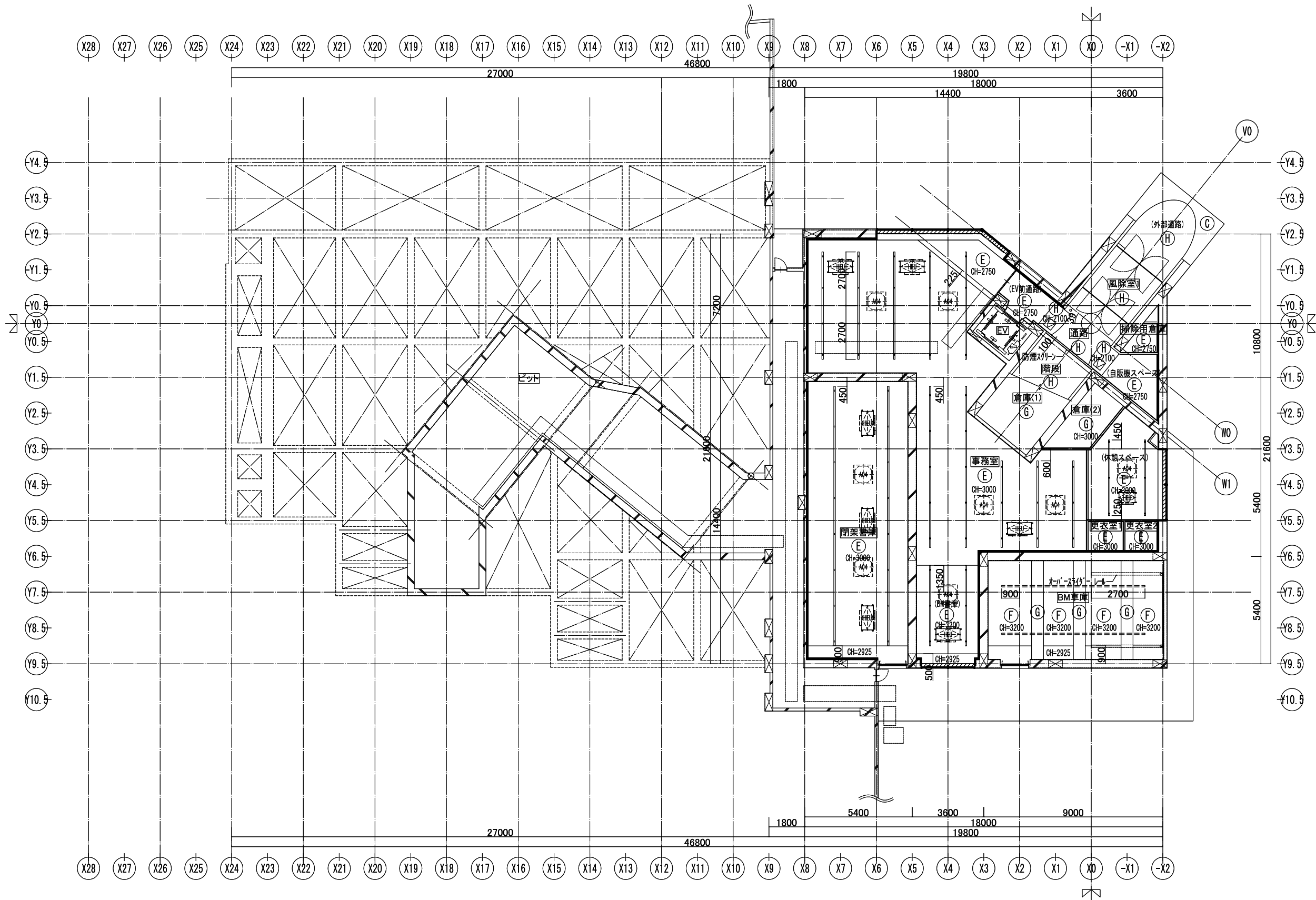


斜線制限		
道路斜線制限	条件	適用距離：20m、勾配：1.25
	備考	断面図参照
隣地斜線制限	条件	立上り：20m、勾配：1.25
	備考	建物高さ≤20mのため、検証を省略
北側斜線制限	条件	-
	備考	第一種住居地域のため適用なし

平均天井高算定図(一般開架)  
 ※計算を簡略化するために、天井面が高いX10通りの断面を基に平均天井高を算定  
 (室容積が実際よりも大きくなるため、必要換気量の計算上は安全側)



 <b>株式会社 三上建築事務所</b> <small>一級建築士事務所(茨城県)知事 登録第A0100号(0504) 茨城県水戸市大町三丁目4番36号</small>	<small>一級建築士登録 234778号</small> <b>益子一彦</b> <small>当該図書の設計者 一級建築士登録 325985号</small> <b>富田武俊</b>	<small>第18版 2023.04改訂</small> <small>作図履歴</small> <small>日付 作成者 概要</small> 251103 建築設計グループ小堀 作図 <small>検図履歴</small> <small>日付 検図者 概要</small> 251203 技術監理室・石井 積算前検図 260309 技術監理室・石井 出荷前検図	<small>承認</small> <small>部長 技術監理室室長 設計室室長 P.L. 担当者</small>	<small>業務No. 24-09 設計年月 2026.02</small> <small>工事名称</small> <b>益子町既存施設改修及び図書館建設工事</b> <small>図面名称</small> <b>断面図</b> <small>縮尺 A3=1:200</small>	<small>図番</small> <b>確認(意匠)-12</b> <b>A-15</b>
		<small>作図</small> <small>作図担当者</small>	<small>業務No. 24-09 設計年月 2026.02</small> <small>工事名称</small> <b>益子町既存施設改修及び図書館建設工事</b> <small>図面名称</small> <b>断面図</b> <small>縮尺 A3=1:200</small>	<small>図番</small> <b>確認(意匠)-12</b> <b>A-15</b>	



内部天井仕上凡例

番号	内容
Ⓐ	天井:厚25 GW-B(ガラスクロス包:ビス留) 化粧材:杉60×15@90 (野線40×30@450) (SOP) (野線受 C-100×50×20×3, 2@900) (SOP)
Ⓑ	天井:厚25 GW-B(ガラスクロス包:ビス留) 化粧材:杉30×15@90 (野線40×30@450) (SOP) (野線受 C-100×50×20×3, 2@900) (SOP)
Ⓒ	Ⓐ + Ⓑ
Ⓓ	厚9.0 DR(直張り工法)
Ⓔ	厚25 GW-B(ガラスクロス包)
Ⓕ	厚30 押出法ポリスチレンフォーム敷込
Ⓖ	コンクリート打放仕上げ
Ⓗ	厚6.0 エフジーボード EP-G (厚6.0 エフジーボード下地)

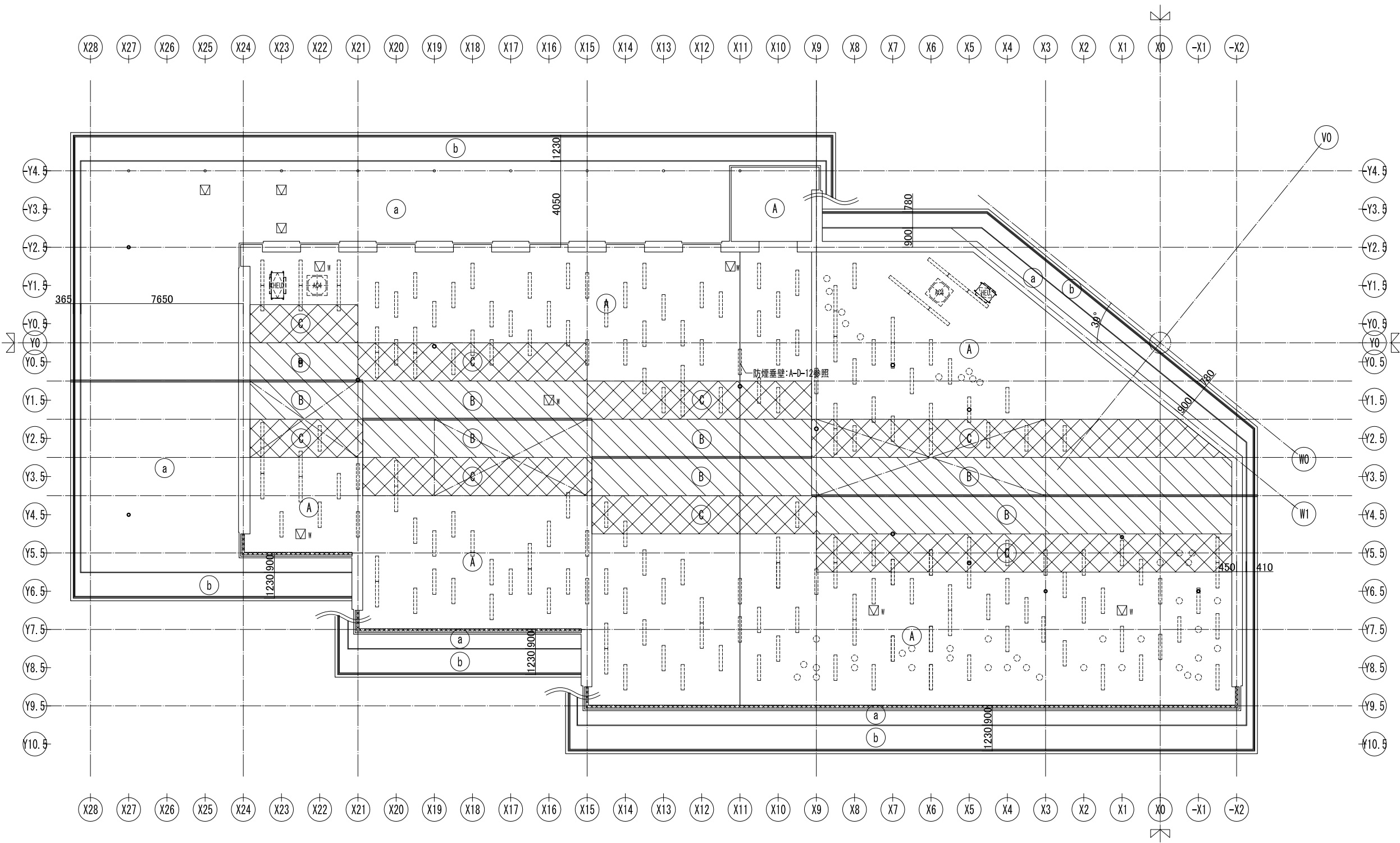
外部天井仕上凡例

凡例	内容
Ⓐ	厚5.0 化粧スラグせつこう板 (厚9.0 構造用合板下地)
Ⓑ	厚0.5 カラーガルバリウム鋼板 スタンドレール張
Ⓒ	コンクリート打放仕上げ 撥水剤塗布

付設物凡例

凡例	内容
☐	天井点検口 450×450 アルミ枠目地タイプ (開口補強共)
☐	天井点検口 450×450 ルーバータイプ
Ⓜ	天井カセット型エアコン4方向(機械設備工事)
Ⓜ	天井カセット型全熱交換器(機械設備工事)
Ⓜ	天井制気口 開口補強
—	直管型照明器具下地(建築工事) ○印は吊りボルト位置を示す
○	ダウンライト用開口(下地)(建築工事)
○ ○ ○	ペンダントライト(電気設備工事)
□	ケーブルラック(電気設備工事)
PR	ビクチャーレール (フックワイヤーハンガー ホワイト)3ヶ所/m 共
—	ロールスクリーンボックス(A-D-01参照)(2階)
///	上懸紐:厚20 メラミンポスフォーム W150(1階)

特記: 天井露出の設備配管は天井材同色のSOP塗装とする

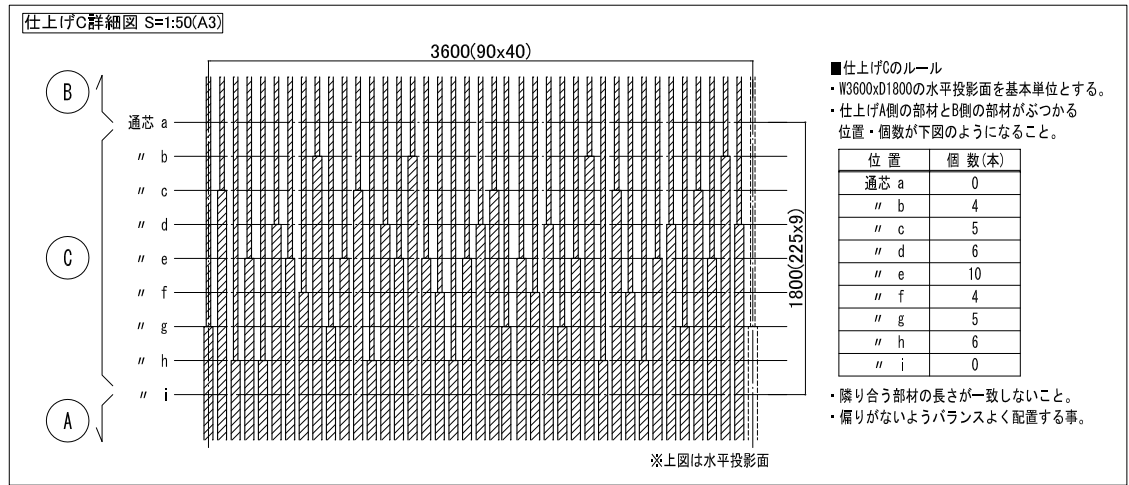


番号	内容
Ⓐ	天井:厚25 GW-B(ガラスクロス包:ビス留) 化粧材:杉60×15@90 (野線40×30@450) (SOP) (野線受 C-100×50×20×3, 2@900) (SOP)
Ⓑ	天井:厚25 GW-B(ガラスクロス包:ビス留) 化粧材:杉30×15@90 (野線40×30@450) (SOP) (野線受 C-100×50×20×3, 2@900) (SOP)
Ⓒ	Ⓐ + Ⓑ
Ⓓ	厚9.0 DR(直張り工法)
Ⓔ	厚25 GW-B(ガラスクロス包)
Ⓕ	厚30 押出法ポリスチレンフォーム敷込
Ⓖ	コンクリート打放仕上げ
Ⓗ	厚6.0 エフジーボード EP-G (厚6.0 エフジーボード下地)

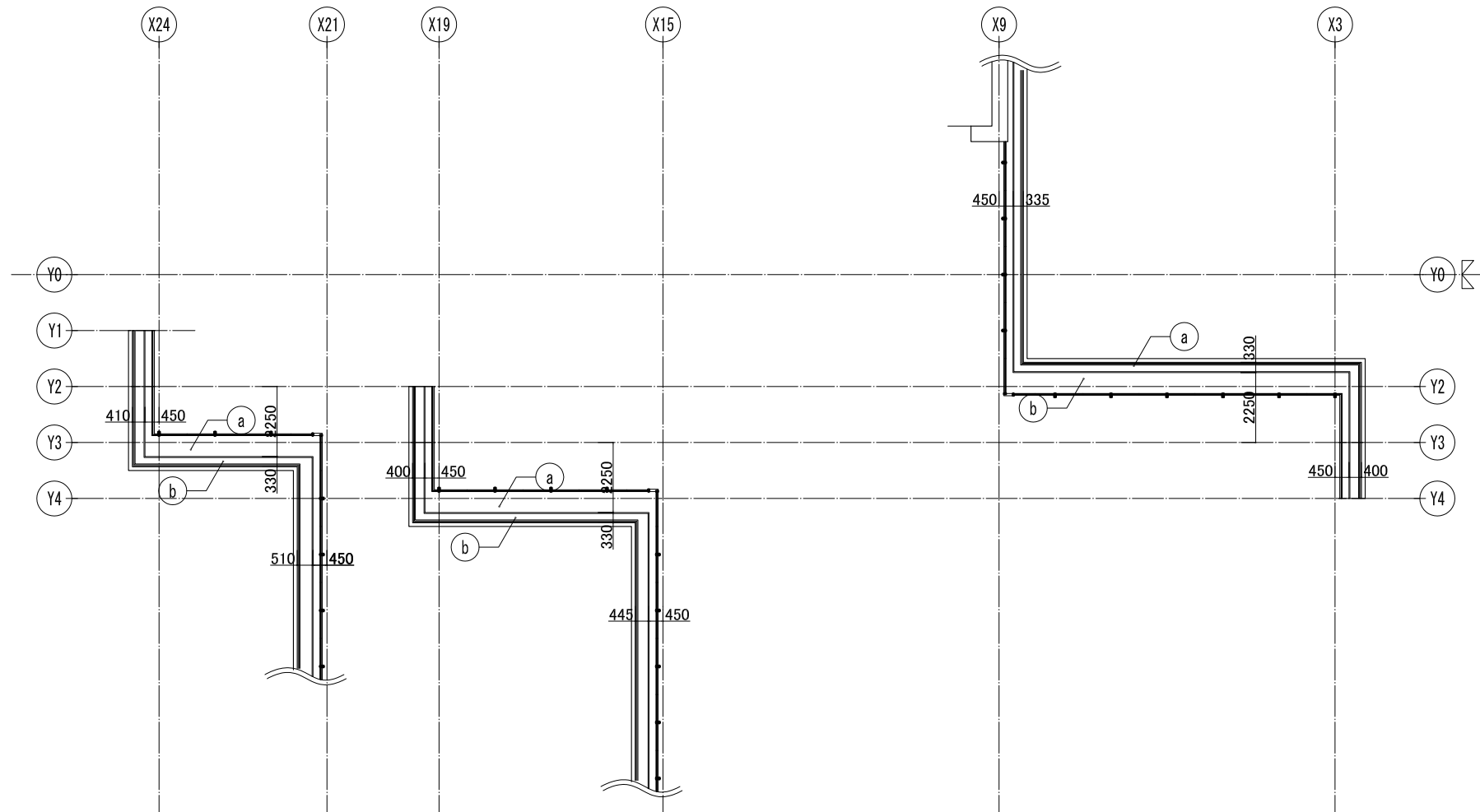
凡例	内容
a	厚5.0 化粧スラグせつこう板 (厚9.0 構造用合板下地)
b	厚0.5 カラーガルバリウム鋼板 スパンドレル張
c	コンクリート打放仕上げ 撥水剤塗布

凡例	内容
☑	天井点検口 450×450 アルミ枠目地タイプ (開口補強共)
☑W	天井点検口 450×450 ルーバータイプ
⊕	天井カセット型エアコン方向(機械設備工事)
⊕	天井カセット型全熱交換器(機械設備工事)
⊗	天井制気口 開口補強
—	直管型照明器具下地(壁工事) ○印は吊りボルト位置を示す
○	ダウンライト用開口(下地)(建築工事)
○ ○ ○	ペンダントライト(電気設備工事)
□	ケーブルラック(電気設備工事)
PR	ピクチャーレール (フック ワイヤハンガー ホワイト)3ヶ所/m 共
—	ロールスクリーンボックス(A-D-01参照)(2階)
▨	上懸紐:厚20 メラミンポストフォーム W150(1階)

特記: 天井露出の設備配管は天井材同色のSOP塗装とする



暖屋根部分 天井伏図



内部天井仕上げ凡例

番号	内容
Ⓐ	天井:厚25 GW-B(ガラスクロス包:ビス留) 化粧材:杉60×15@90 (野線40×30@450) (SOP) (野線受 C-100×50×20×3, 2@900) (SOP)
Ⓑ	天井:厚25 GW-B(ガラスクロス包:ビス留) 化粧材:杉30×15@90 (野線40×30@450) (SOP) (野線受 C-100×50×20×3, 2@900) (SOP)
Ⓒ	Ⓐ + Ⓑ
Ⓓ	厚9.0 DR(直張り工法)
Ⓔ	厚25 GW-B(ガラスクロス包)
Ⓕ	厚30 押出法ポリスチレンフォーム敷込
Ⓖ	コンクリート打放仕上げ
Ⓗ	厚6.0 エフジーボード EP-G (厚6.0 エフジーボード下地)

外部天井仕上げ凡例

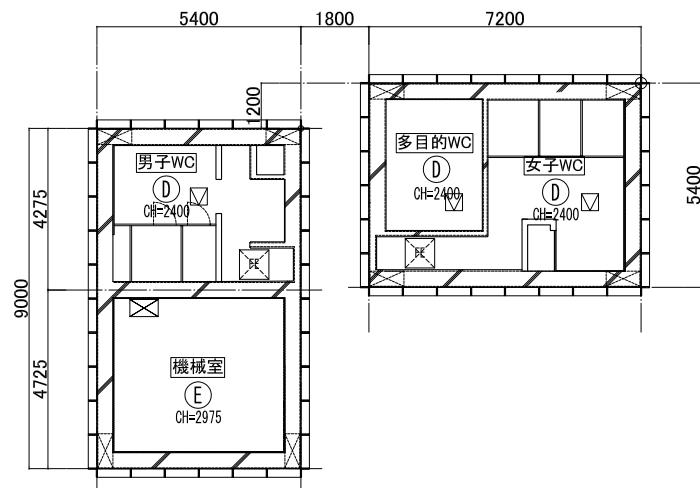
凡例	内容
Ⓐ	厚5.0 化粧スラグせつこう板 (厚9.0 構造用合板下地)
Ⓑ	厚0.5 カラーガルバリウム鋼板 スパンドレル張
Ⓒ	コンクリート打放仕上げ 撥水剤塗布

付設物凡例

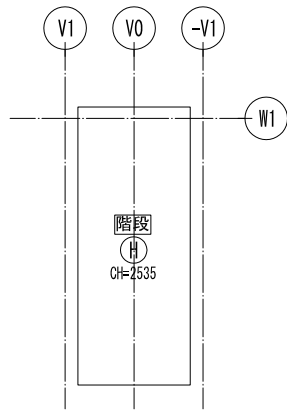
凡例	内容
☑	天井点検口 450×450 アルミ枠目地タイプ (開口補強共)
☑Ⅱ	天井点検口 450×450 ルーバータイプ
Ⓜ	天井カセット型エアコン4方向(機械設備工事)
Ⓜ	天井カセット型全熱交換器(機械設備工事)
Ⓜ	天井制気口 開口補強
—	直管型照明器具下地(建築工事) ○印は吊りボルト位置を示す
○	ダウンライト用開口(下地)(建築工事)
○ ○ ○	ペンダントライト(電気設備工事)
□	ケーブルラック(電気設備工事)
PR	ビクチャーレール (フックワイヤーハンガー ホワイト)3ヶ所/m 共
—	ロールスクリーンボックス(A-0-01参照)(2階)
▨	上懸紐:厚20メラミンボストフォーム W150(1階)

特記:天井露出の設備配管は天井材同色のSOP塗装とする

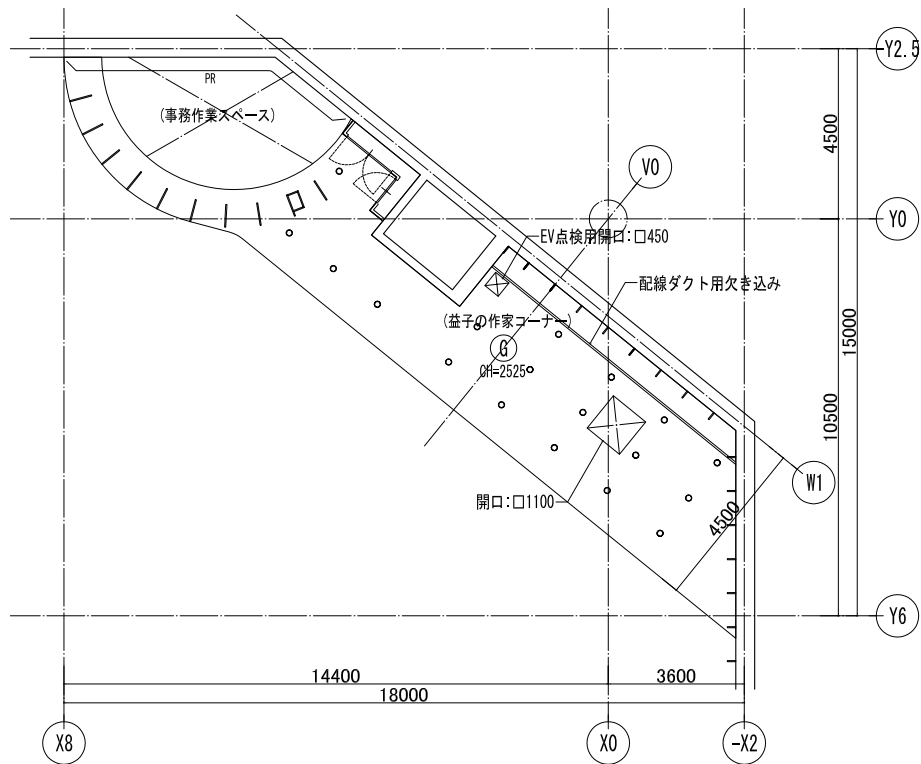
WC・機械室 天井伏図



階段 天井伏図



2階事務作業スペース・益子の作家コーナー 天井伏図

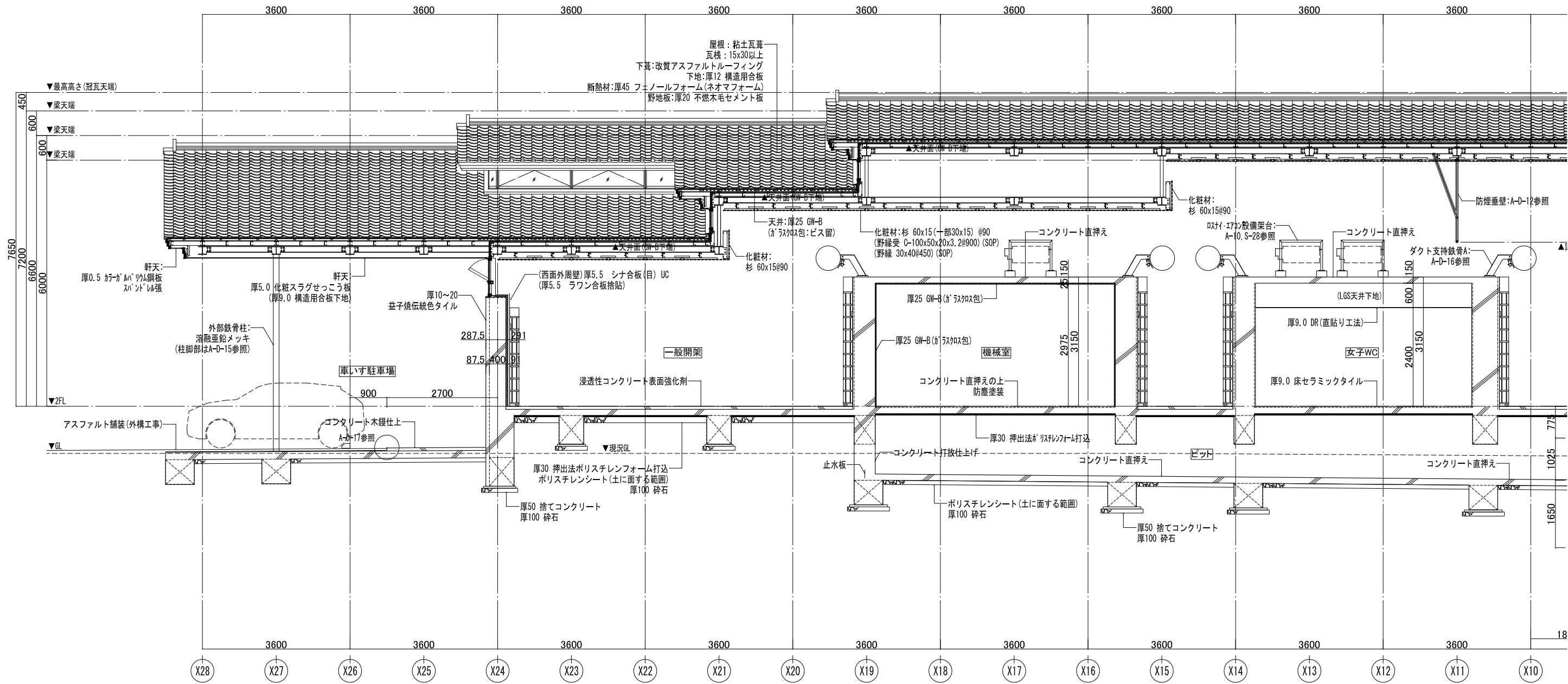


日付	作図者	概要
251103	建築設計グループ小堀	作図
280309	技術監理室・石井	出図前検閲

日付	検図者	概要
251203	技術監理室・石井	精算前検閲
280309	技術監理室・石井	出図前検閲

承認	検図	検証	作図
部長	技術監理室室長	設計室室長	P.L.





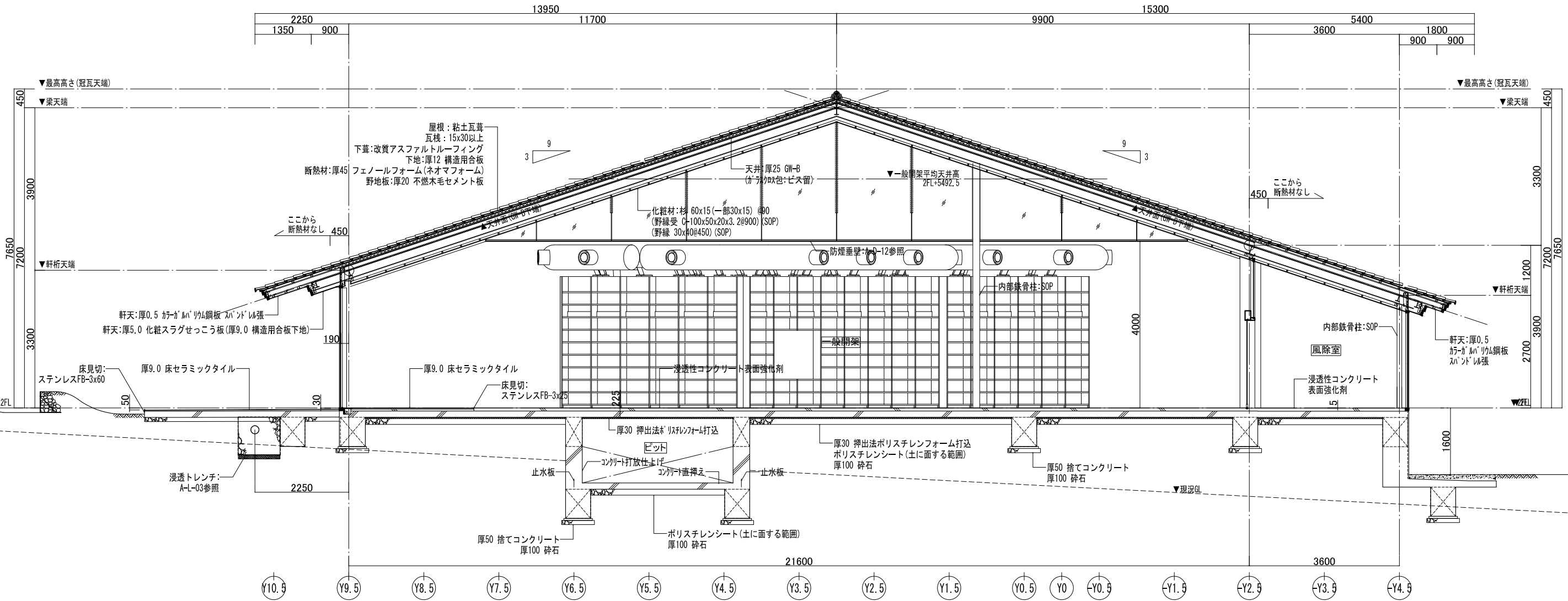
Y3.5通り断面図

 <b>株式会社 三上建築事務所</b> <small>一級建築士事務所(茨城県)知事 登録第A0100号(0504) 茨城県水戸市大町三丁目4番36号</small>	一級建築士登録 234778号 <b>益子一彦</b> <small>当該図書の設計者 一級建築士登録 325985号</small> <b>富田 武俊</b>	第18版 2023.04改訂	<b>作図履歴</b> 日付 作成者 概要 251103 建築設計グループ・小堀 作図 251203 技術監理室・石井 積算前検閲 260309 技術監理室・石井 出荷前検閲	<b>検図履歴</b> 日付 検図者 概要 251203 技術監理室・石井 積算前検閲 260309 技術監理室・石井 出荷前検閲	<b>承認</b> 部長 技術監理室室長 設計室室長 P.L. 担当者	<b>業務No. 24-09</b> 設計年月 2026.02 工事名称 <b>益子町既存施設改修及び図書館建設工事</b> 図面名称 <b>断面詳細図(1)</b>	図番 <b>A-S-01</b> 縮尺 A3=1:100
		業務No. 24-09 設計年月 2026.02 工事名称 <b>益子町既存施設改修及び図書館建設工事</b> 図面名称 <b>断面詳細図(1)</b>	図番 <b>A-S-01</b> 縮尺 A3=1:100				





道路境界線



×10通り断面図

株式会社 三上建築事務所

一級建築士事務所(茨城県)知事 登録第A0100号(0504) 茨城県水戸市大町二丁目4番36号

一級建築士登録 234778号  
益子一彦  
当該図書の設計者 一級建築士登録 325985号  
富田 武俊

第18版 2023.04改訂

作成履歴		検図履歴	
日付	作成者	日付	検図者
251103	建築設計グループ・小堀	251203	技術監理室・石井
	作図	260309	技術監理室・石井
			出図前検図

承認		検図		検証		作図	
部長	技術監理室室長	設計室室長	P.L.	担当者	担当者	作成者	作成者

業務No. 24-09 設計年月 2026.02

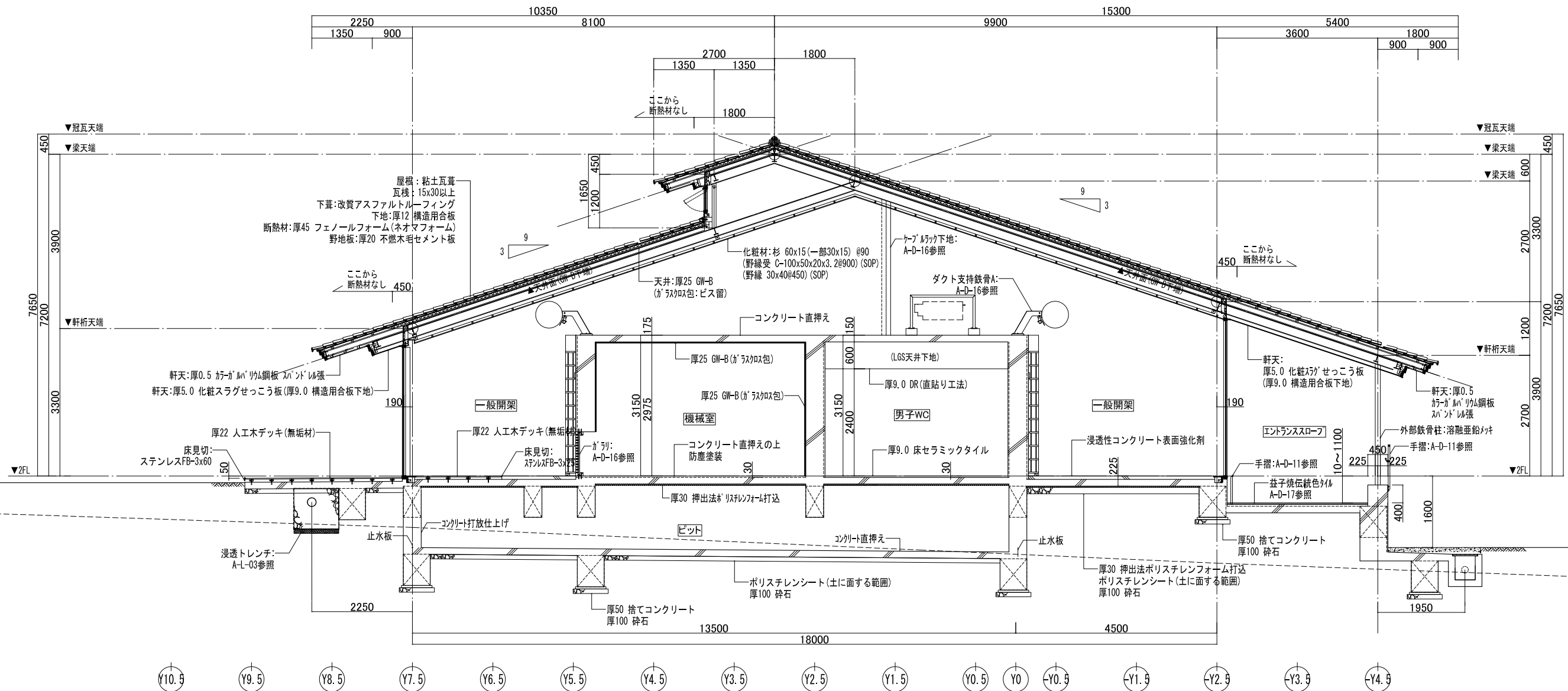
工事名称  
益子町既存施設改修及び図書館建設工事  
図面名称  
断面詳細図(4)

縮尺  
A3=1:100

図番

A-S-04

道路境界線



X17通り断面図

 <b>株式会社 三上建築事務所</b> <small>一級建築士事務所(茨城県)知事 登録第A0100号(0504) 茨城県水戸市大町二丁目4番36号</small>	一級建築士登録 234778号 <b>益子一彦</b> <small>当該図書の設計者 一級建築士登録 325985号</small> <b>富田 武俊</b>	第18版 2023.04改訂	作図履歴 日付 作成者 概要 251103 建築設計グループ小堀 作図 251203 技術監理室・石井 検図 260309 技術監理室・石井 出図前検図	検図履歴 日付 検図者 概要 251203 技術監理室・石井 検図 260309 技術監理室・石井 出図前検図	承認 部長 技術監理室室長 設計室室長 P.L. 担当者	作図 部長 技術監理室室長 設計室室長 P.L. 担当者	業務No. 24-09 設計年月 2026.02 工事名称 <b>益子町既存施設改修及び図書館建設工事</b> 図面名称 <b>断面詳細図(5)</b>	図番 <b>A-S-05</b> 縮尺 A3=1:100
		一級建築士事務所(茨城県)知事 登録第A0100号(0504)	一級建築士登録 325985号	出図前検図	出図前検図	担当者	担当者	設計年月 2026.02

